

松山市内遺跡詳細分布調査

市有公園試掘調査・北条地区（善応寺）踏査

2014

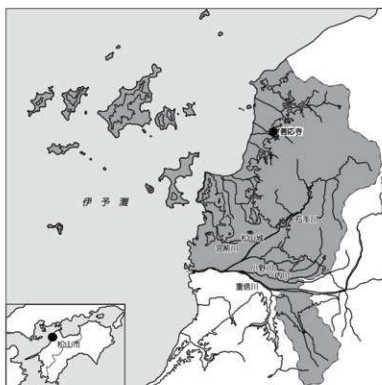
松山市教育委員会

公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団

埋蔵文化財センター

松山市内遺跡詳細分布調査

市有公園試掘調査・北条地区（善応寺）踏査



2014

松山市教育委員会

公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団

埋蔵文化財センター



吉藤公園から出土した墨書土器（須恵器）



善応寺から斎灘を望む

序 文

本書は、平成18年度から22年度にかけて国庫補助事業として実施した松山市内遺跡詳細分布調査の報告書です。

現在、松山市には約380箇所の周知の埋蔵文化財包蔵地が存在していますが、近年の発掘調査等によって、これまで周知されていなかった新規の包蔵地も少なからず知られるようになってきました。このように、現在包蔵地でない箇所においても埋蔵文化財が存在する可能性があり、今回の調査は、これらを新たに確認するために実施したものです。

調査の結果、市内の公園を対象として実施した市有公園試掘調査では、多くの箇所において土器や柱穴等を確認し、また、中世前期の河野氏の拠点と伝えられる善応寺で実施した北条地区（善応寺）踏査では、広範囲において多くの土器や陶磁器を採集するなど、新規の包蔵地の設定につながる情報を多数得ることができました。

このような成果を上げることができたのは、地権者をはじめとする関係各位の埋蔵文化財に対する深いご理解とご協力の賜物であり、心より感謝を申し上げます。最後になりましたが、本書が文化財保護意識の向上と埋蔵文化財調査研究の一助となり、松山市民の皆様をはじめ多くの方々に末永くご活用いただければ幸いに存じます。

平成26年3月

松山市教育長 山本 昭弘

例 言

1. 本書は、財団法人松山市文化・スポーツ振興財団埋蔵文化財センターが平成18年から22年まで屋外調査を実施した松山市市有公園と北条地区（善応寺）の試掘、踏査報告書である。
2. 整理作業と報告書作成作業は、公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団埋蔵文化財センター（埋文センター）が行った。
3. 遺構の略号は、土坑:SK、溝:SD、柱穴:SP、不明遺構:SX、自然流路:SRとし、番号を付記した。
4. 本書で使用した標高地は海拔標高を示し、座標北は磁北である。遺構の測量は、調査担当者と担当者の指示のもと作業員が実施した。
5. 掲載の遺構図、遺物図は、スケール下に縮尺を表記した。
6. 本書報告の遺構埋土、土層の色調は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修の『新版標準土色帖（1996）』に準拠した。
7. 遺物の実測及び掲載図の製図は、武正良浩、高尾和長、小笠原善治、西村直人（松山市教育委員会文化財課）の指示のもと、田崎真理、多知川富美子、木下奈緒美が行った。
8. 写真図版は、遺構撮影は現場担当者、巻頭カラーと遺物の撮影は大西朋子が担当し、図版作成は報告担当者と協議のうえ大西朋子が行った。
9. 本報告書に関する資料は、松山市立埋蔵文化財センターが保管・収蔵している。
10. 本書の執筆及び編集は、西村の協力のもと高尾が行った。
11. 本書で使用した遺物、記録類は松山市立埋蔵文化財センターで保管している。
12. 調査に際しては、松山市都市整備部公園緑地課及び公園管理協会並びに善応寺と本谷の各地域団体及び風早歴史文化研究会の協力をいただいた。
13. 報告書抄録は、巻末に掲載している。

目 次

第1章 はじめに	1
第1節 調査に至る経緯	1
第2節 調査・整理及び刊行組織	2
(1) 調査組織 (2) 出土物等整理組織 (3) 編集・刊行組織	
第2章 市有公園試掘調査	3
第1節 調査の方法と経過	3
(1) 調査の方法 (2) 調査の経過	
第2節 調査の成果	
(1) 平成18年度の調査 (久米・小野地区)	5
(2) 平成19年度の調査 (石井南・浮穴地区)	14
(3) 平成20年度の調査 (新濱・三津・生石北・味生北地区)	23
(4) 平成21年度の調査 (荏原地区)	32
(生石南・味生南・余戸・垣生地区)	
(和気・堀江地区)	
(久枝・潮見・御幸・伊台地区)	
(朝美・雄郡地区)	
(5) 平成22年度の調査 (道後・湯山地区)	80
(素鷲・桑原地区)	
(石井北地区)	
(興居島地区)	
(河野・粟井地区)	
(難波・北条・正岡地区)	
(浅海・立岩地区)	
第3節 まとめ	120
第3章 北条地区(善応寺)踏査	141
第1節 環境	141
(1) 地理的環境 (2) 歴史的環境	
第2節 調査の方法と経過	145
(1) 調査の方法 (2) 調査の経過	
第3節 調査の成果	153
(1) 採集遺物の分類	
(2) 平成21年度の踏査(1区～3区)	
(3) 平成22年度の踏査(4区～10区)	
第4節 まとめ	172

挿図目次

第2章 市有公園試掘調査

- 第1図 地区番号図
- 第2図 平成18年度市有公園調査位置図
- 第3図 北久米七区公園トレンチ位置図・柱状土層図
- 第4図 日尾公園トレンチ位置図・柱状土層図
- 第5図 来住公園トレンチ位置図・柱状土層図
- 第6図 北窪田公園トレンチ位置図・柱状土層図
- 第7図 向井公園トレンチ位置図
- 第8図 向井公園柱状土層図・出土遺物実測図
- 第9図 小野谷公園トレンチ位置図・柱状土層図
- 第10図 北梅本小山公園トレンチ位置図・柱状土層図
- 第11図 平成19年度市有公園調査位置図
- 第12図 椿公園トレンチ位置図・柱状土層図
- 第13図 北土居公園トレンチ位置図
- 第14図 北土居公園柱状土層図・出土遺物実測図
- 第15図 明星公園トレンチ位置図・柱状土層図
- 第16図 南土居公園トレンチ位置図・柱状土層図
- 第17図 土居公園トレンチ位置図・柱状土層図
- 第18図 白山の杜公園トレンチ位置図・柱状土層図
- 第19図 たかい公園トレンチ位置図・柱状土層図
- 第20図 平成20年度市有公園調査位置図
- 第21図 東山公園トレンチ位置図・柱状土層図
- 第22図 蔵川公園トレンチ位置図・柱状土層図
- 第23図 山西公園トレンチ位置図・柱状土層図
- 第24図 飯岡公園トレンチ位置図・柱状土層図
- 第25図 津田公園トレンチ位置図・柱状土層図
- 第26図 北吉田公園トレンチ位置図・柱状土層図
- 第27図 高岡中央公園トレンチ位置図・柱状土層図
- 第28図 高岡第一公園トレンチ位置図・柱状土層図
- 第29図 平成21年度市有公園調査位置図
- 第30図 上野町今市公園トレンチ位置図・柱状土層図
- 第31図 政友公園トレンチ位置図・柱状土層図
- 第32図 恵原公園トレンチ位置図・柱状土層図
- 第33図 上野町中組公園トレンチ位置図・柱状土層図・出土遺物実測図
- 第34図 東方中央公園トレンチ位置図・柱状土層図
- 第35図 南斎院公園トレンチ位置図・柱状土層図

- 第36図 鶴ヶ丘公園トレンチ位置図・柱状土層図
第37図 余戸東竹の宮公園トレンチ位置図・柱状土層図・出土遺物実測図
第38図 余戸西さくら公園トレンチ位置図・柱状土層図
第39図 富久公園トレンチ位置図・柱状土層図・出土遺物実測図
第40図 南吉田中央公園（西）トレンチ位置図・柱状土層図
第41図 南吉田中央公園（東）トレンチ位置図・柱状土層図
第42図 太山寺カシの木公園トレンチ位置図・柱状土層図・出土遺物実測図
第43図 堀江東公園トレンチ位置図・柱状土層図・出土遺物実測図
第44図 堀江中央公園トレンチ位置図・柱状土層図・出土遺物実測図
第45図 権現公園トレンチ位置図
第46図 権現公園 T1 遺構平面図・土層図・T2 柱状土層図・出土遺物実測図
第47図 松尾公園トレンチ位置図
第48図 松尾公園 T1 遺構平面図・土層図・T2 柱状土層図
第49図 内宮公園トレンチ位置図・柱状土層図
第50図 和気公園トレンチ位置図・柱状土層図
第51図 谷町公園トレンチ位置図・柱状土層図・出土遺物実測図
第52図 安城寺西公園トレンチ位置図
第53図 安城寺西公園 T2 遺構平面図・柱状土層図
第54図 西長戸東公園トレンチ位置図・柱状土層図
第55図 吉藤公園トレンチ位置図・柱状土層図
第56図 吉藤公園出土遺物実測図（1）
第57図 吉藤公園出土遺物実測図（2）
第58図 姫原西公園トレンチ位置図・T1 遺構平面図・柱状土層図
第59図 太郎丸公園トレンチ位置図・柱状土層図
第60図 伊台本村公園トレンチ位置図・柱状土層図
第61図 山越公園トレンチ位置図・柱状土層図
第62図 高崎公園トレンチ位置図・柱状土層図
第63図 南味酒公園トレンチ位置図・柱状土層図
第64図 萱町公園トレンチ位置図・柱状土層図・出土遺物実測図
第65図 木屋町公園トレンチ位置図・遺構平面図
第66図 木屋町公園柱状土層図・出土遺物実測図
第67図 日分公園トレンチ位置図・遺構平面図
第68図 日分公園柱状土層図・出土遺物実測図
第69図 愛光公園トレンチ位置図・柱状土層図・出土遺物実測図
第70図 新玉公園トレンチ位置図・T1 柱状土層図
第71図 新玉公園 T2 遺構平面図・土層図・出土遺物実測図
第72図 雄郡土橋公園トレンチ位置図・柱状土層図
第73図 幸町公園トレンチ位置図・T1 遺構平面図・柱状土層図

- 第 74 図 幸町公園 T2 遺構平面図・土層柱状図・出土遺物実測図
第 75 図 小栗公園トレンチ位置図・柱状土層図
第 76 図 平成 22 年度市有公園調査位置図
第 77 図 ｸﾙﾌﾞ-ﾃﾝ公園トレンチ位置図・柱状土層図
第 78 図 中村公園トレンチ位置図・柱状土層図
第 79 図 八坂公園トレンチ位置図・柱状土層図
第 80 図 神前公園トレンチ位置図・柱状土層図
第 81 図 溝辺公園トレンチ位置図・柱状土層図
第 82 図 八白公園トレンチ位置図・柱状土層図
第 83 図 湯山公園トレンチ位置図・柱状土層図
第 84 図 畑寺公園トレンチ位置図・柱状土層図
第 85 図 ひがしの北公園トレンチ位置図・柱状土層図
第 86 図 三福公園トレンチ位置図・柱状土層図
第 87 図 三町三角公園トレンチ位置図・遺構平面図・土層図
第 88 図 天山公園トレンチ位置図・柱状土層図
第 89 図 西石井公園トレンチ位置図・柱状土層図
第 90 図 北古川公園トレンチ位置図・柱状土層図
第 91 図 星岡団地第 2 公園トレンチ位置図・柱状土層図
第 92 図 門田公園トレンチ位置図・柱状土層図
第 93 図 由良公園トレンチ位置図・柱状土層図
第 94 図 ありのきニュータウン緑地トレンチ位置図・柱状土層図
第 95 図 泉団地公園トレンチ位置図・柱状土層図
第 96 図 小川実緑地トレンチ位置図・柱状土層図
第 97 図 久保公園トレンチ位置図・柱状土層図
第 98 図 グリーンハイツ緑地トレンチ位置図・柱状土層図
第 99 図 河野公園トレンチ位置図・柱状土層図
第 100 図 光洋台緑地 (B) トレンチ位置図・柱状土層図
第 101 図 高縄緑地トレンチ位置図・柱状土層図
第 102 図 常竹みんなの公園トレンチ位置図・柱状土層図
第 103 図 夏目団地緑地トレンチ位置図・柱状土層図
第 104 図 和田ニュータウン緑地トレンチ位置図・柱状土層図
第 105 図 明日の公園トレンチ位置図・柱状土層図
第 106 図 新開公園トレンチ位置図・柱状土層図
第 107 図 新開緑地トレンチ位置図・柱状土層図
第 108 図 中通みんどの広場公園トレンチ位置図・柱状土層図
第 109 図 東町浦公園トレンチ位置図・柱状土層図
第 110 図 正岡松尾公園トレンチ位置図・柱状土層図
第 111 図 味栗公園トレンチ位置図・柱状土層図

第112図	柳原末広第一公園トレンチ位置図・柱状土層図	第3章	北条地区(善応寺)踏査
第113図	小山田公園トレンチ位置図・柱状土層図	第129図	北条地区踏査周辺遺跡分布図
第114図	尾儀原公園トレンチ位置図・柱状土層図	第130図	1区・2区位置図
第115図	向井公園周辺遺跡位置図	第131図	3区～5区位置図
第116図	北土居公園周辺遺跡位置図	第132図	6区位置図
第117図	上野中組公園周辺遺跡位置図	第133図	7区位置図
第118図	権現公園周辺遺跡位置図	第134図	8区位置図
第119図	松尾公園周辺遺跡位置図	第135図	9区位置図
第120図	安城寺西公園周辺遺跡位置図	第136図	10区位置図
第121図	吉藤公園周辺遺跡位置図	第137図	1区～3区採集遺物実測図
第122図	吉藤公園出土遺物実測図	第138図	4区～6区採集遺物実測図
第123図	姫原西公園周辺遺跡位置図	第139図	7区～10区採集遺物実測図
第124図	木屋町公園周辺遺跡位置図	第140図	土師質土器Aの分布図
第125図	日分公園周辺遺跡位置図	第141図	須恵質土器の分布図
第126図	新玉公園周辺遺跡位置図	第142図	貿易陶磁器の分布図
第127図	幸町公園周辺遺跡位置図		
第128図	三町三角公園周辺遺跡位置図		

目 次

第2章 市有公園試掘調査

表1	市有公園試掘調査一覧表
表2	平成18年度市有公園調査一覧表
表3	平成19年度市有公園調査一覧表
表4	平成20年度市有公園調査一覧表
表5	平成21年度市有公園調査一覧表
表6	平成22年度市有公園調査一覧表
表7	向井公園出土遺物観察表
表8	北土居公園出土遺物観察表
表9	上野中組公園出土遺物観察表
表10	余戸東竹の宮公園出土遺物観察表
表11	富久公園出土遺物観察表
表12	太山寺カシの本公園出土遺物観察表
表13	堀江東公園出土遺物観察表
表14	堀江中央公園出土遺物観察表
表15	権現公園出土遺物観察表
表16	谷町公園出土遺物観察表
表17	吉藤公園出土遺物観察表
表18	萱町公園出土遺物観察表

表19	木屋町公園出土遺物観察表
-----	--------------

表20	日分公園出土遺物観察表
-----	-------------

表21	愛光公園出土遺物観察表
-----	-------------

表22	新玉公園出土遺物観察表
-----	-------------

表23	幸町公園出土遺物観察表
-----	-------------

第3章 北条地区(善応寺)踏査

表24	1区採集遺物分類表
-----	-----------

表25	2区採集遺物分類表
-----	-----------

表26	3区採集遺物分類表
-----	-----------

表27	4区採集遺物分類表
-----	-----------

表28	5区採集遺物分類表
-----	-----------

表29	6区採集遺物分類表
-----	-----------

表30	7区採集遺物分類表
-----	-----------

表31	8区採集遺物分類表
-----	-----------

表32	9区採集遺物分類表
-----	-----------

表33	10区採集遺物分類表
-----	------------

表34	1区採集遺物観察表(土製品)
-----	----------------

表35	1区採集遺物観察表(石製品)
-----	----------------

表36	2区採集遺物観察表(土製品)
-----	----------------

表 37	3区採集遺物観察表 (土製品)
表 38	3区採集遺物観察表 (石製品)
表 39	4区採集遺物観察表 (土製品)
表 40	5区採集遺物観察表 (土製品)
表 41	6区採集遺物観察表 (土製品)

表 42	7区採集遺物観察表 (土製品)
表 43	8区採集遺物観察表 (土製品)
表 44	9区採集遺物観察表 (土製品)
表 45	10区採集遺物観察表 (土製品)

写真図版目次

巻頭カラー1 吉藤公園から出土した墨書土器 (須恵器)

巻頭カラー2 善応寺から斎灘を望む

図版 1	1. 向井公園土層検出状況 2. 向井公園出土遺物 3. 北土居公園土層検出状況 4. 北土居公園出土遺物 5. 上野中組公園土層検出状況 6. 上野中組公園出土遺物 7. 余戸東竹の宮公園土層検出状況 8. 余戸東竹の宮公園出土遺物	図版 5	1. 日分公園遺構検出状況 2. 日分公園出土遺物 3. 愛光公園土層検出状況 4. 愛光公園出土遺物 5. 新玉公園遺構検出状況 6. 新玉公園出土遺物 7. 幸町公園遺構検出状況 8. 幸町公園出土遺物
図版 2	1. 富久公園土層検出状況 2. 富久公園出土遺物 3. 太山寺カシの木公園土層検出状況 4. 太山寺カシの木公園出土遺物 5. 堀江東公園土層検出状況 6. 堀江東公園出土遺物 7. 堀江中央公園土層検出状況 8. 堀江中央公園出土遺物	図版 6	1. 松尾公園遺構検出状況 2. 安城寺西公園遺構検出状況 3. 姫原西公園遺構検出状況 4. 三町三角公園遺構検出状況 5. 善応寺地区 (西より)
図版 3	1. 権現公園遺構検出状況 2. 権現公園出土遺物 3. 谷町公園土層検出状況 4. 谷町公園出土遺物 5. 吉藤公園遺物出土状況 6. 吉藤公園出土遺物 (1) 7. 吉藤公園出土遺物 (2)	図版 7	1. 1区・2区採集遺物 2. 3区採集遺物 3. 2区採集遺物 4. 4区採集遺物
図版 4	1. 吉藤公園出土遺物 (3) 2. 萱町公園土層検出状況 3. 萱町公園出土遺物 4. 木屋町公園遺構検出状況 5. 木屋町公園出土遺物	図版 8	1. 5区採集遺物 2. 6区採集遺物 3. 7区採集遺物 4. 9区採集遺物 5. 8区採集遺物 6. 10区採集遺物

第1章 はじめに

第1節 調査に至る経緯

松山市教育委員会では、平成18年度から周知の埋蔵文化財包蔵地（以下、「包蔵地」という。）の見直し作業を進めている。松山市の包蔵地は、昭和50年前後に設定されて以来、近年まで大きな改変が行われず、約30年間実施してきた埋蔵文化財調査の記録は、十分に反映されているとは言い難い状況であった。つまり、松山市の包蔵地は、運用と現状とがやや乖離した状態であって、見直し作業はこの状態を整理・改善するために急務であった。

見直し作業には、主にこれまでに実施した本発掘調査及び試掘確認調査の記録を用いることとしたが、その殆どが文化財保護法で工事前に届出（通知）が義務付けられている包蔵地内での調査記録であり、包蔵地外については、多くが公共との工事に係る調査記録が主であるため、情報に不足があった。また、松山市は平成17年1月1日に北条市及び中島町と合併したが、いずれも、包蔵地内外に関係なく情報が少ない。したがって、これらの地域の有効的な包蔵地見直しのためには、追加の分布調査による新たな情報取得が必要と判断した。

まず、旧松山市内の包蔵地外については、任意に試掘調査を実施することとした。しかしながら、民有地については、埋蔵文化財が確認された場合に今後の届出義務が生じることから、同意を得難いと判断し、対象は公有地とした。中でも敷地が広く、比較的作業に支障の無さそうな市有公園を対象とすることとし、これを「市有公園試掘調査」とした。加えて、旧北条市及び旧中島町域については、重点地区を決めた上で優先的に踏査を実施することとした。まず手始めに、これまでの多くの研究によって中世河野氏の拠点とされているにもかかわらず、それに関連する包蔵地の設定されていない善応寺を対象とすることとし、これを「北条地区（善応寺）踏査」とした。

「市有公園試掘調査」は平成18年度より開始し、「北条地区（善応寺）踏査」は平成21年度より開始した。「市有公園試掘調査」においては、松山市公園緑地課と各公園の管理協力会にご協力いただき、「北条地区（善応寺）踏査」においては、善応寺地区及び横谷地区それぞれの地縁団体、並びに風早歴史文化研究会にご協力いただいた。

なお、両調査は、松山市が文化庁の国宝重要文化財等保存整備費補助金（埋蔵文化財緊急調査）を受け、財団法人松山市生涯学習振興財団（現、公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団、平成22年度に合併改称）に委託して実施した。

第2節 調査・整理及び刊行組織

(1) 調査組織 (各年度4月1日時点)

松山市教育委員会

年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
教 育 長	土居 貴美	土居 貴美	土居 貴美	山内 泰	山内 泰
事 務 局 長	石丸 修	石丸 修	石丸 修	藤田 仁	藤田 仁
企 画 官	江戸 通俊	仙波 和典	仙波 和典	古鎌 靖	勝谷 雄三
企 画 官	仙波 和典	田中 郁夫	古鎌 靖	青木 茂	青木 茂
文 化 財 課 長	家久 則雄	家久 則雄	家久 則雄	家久 則雄	駒澤 正憲
執 行 リ ー ダ ー	栗田 正芳	栗田 正芳	森 正経	三好 博文	三好 博文

財団法人松山市生涯学習振興財団(現、公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団)

年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
理 事 長	中村 時広	中村 時広	中村 時広	中村 時広	一色 哲昭
事 務 局 長	吉岡 一雄	吉岡 一雄	吉岡 一雄	松澤 史夫	松澤 史夫
事 務 局 次 長	丹生谷 博一		※1		砂野 元昭
施 設 利 用 推 進 部 長			※2		中越 敏彰
埋 蔵 文 化 財 セ ン タ ー 所 長	丹生谷 博一	丹生谷 博一	丹生谷 博一	白石 修一	重松 佳久
埋 蔵 文 化 財 セ ン タ ー 次 長	田城 武志	田城 武志	重松 佳久	重松 佳久	※3
執 行 リ ー ダ ー	田城 武志	田城 武志	栗田 茂敏	栗田 茂敏	栗田 茂敏
担 当	武正 良浩	武正 良浩	小笠原善治	武正 良浩	武正 良浩 高尾 和長

※1 平成19年度～平成21年度の間は設置せず。

※2 平成22年度合併後に設置。

※3 平成22年度合併後に廃止。

(2) 出土物等整理組織 (各年度4月1日時点)

松山市教育委員会

年 度	平成23年度	平成24年度
教 育 長	山内 泰	山内 泰
事 務 局 長	嶋 啓吾	嶋 啓吾
企 画 官	渡部 満重	渡部 満重
企 画 官	青木 茂	前田 昌一
文 化 財 課 長	駒澤 正憲	駒澤 正憲
執 行 リ ー ダ ー	竹内 明男	篠原 昭二

公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団

年 度	平成23年度	平成24年度
理 事 長	一色 哲昭	一色 哲昭
事 務 局 長	松澤 史夫	松澤 史夫
事 務 局 次 長	近藤 正	砂野 元昭
施 設 利 用 推 進 部 長	中越 敏彰	中越 敏彰
埋 蔵 文 化 財 セ ン タ ー 所 長	田城 武志	重松 佳久
執 行 リ ー ダ ー	栗田 茂敏	栗田 茂敏
担 当	武正 良浩	武正 良浩

(3) 編集・刊行組織 (平成25年4月1日時点)

松山市教育委員会		公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団
教 育 長	山本 昭弘	理 事 長 中山 紘治郎
事 務 局 長	榊田 二郎	事 務 局 長 中西 真也
企 画 官	梶川 明彦	事 務 局 次 長 中野 忠
企 画 官	津田 慎吾	施設利用推進部長 玉井 弘幸
文化財課長	若江 俊二	埋蔵文化財センター所長 田城 武志
執行リーダー	篠原 昭二	執行リーダー 橋本 雄一
		担当 (編集) 高尾 和長
		担当 (写真) 大西 朋子

第2章 市有公園試掘調査

第1節 調査の方法と経過

(1) 調査の方法

調査は、小規模なトレンチ(長さ約2m×幅約1m)によるものである。前章でも述べた通り、本調査の目的は、包蔵地外に所在する市有公園の試掘調査を実施し、包蔵地の見直しのための新たな情報を取得することである。したがって、対象となる市有公園は、遺構の広がりや層序を観察するため、なるべく複数の調査トレンチを設定することが可能な箇所を選定した。また、調査地は公園の無い五明地区、日浦地区及び坂本地区を除き市内をほぼ均等に15地区に地区割りし、一地区に偏在しないようにした。なお、区名は旧村名を用いた。(第1図、表1)

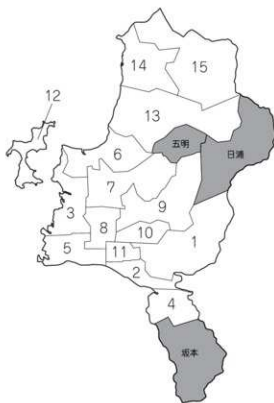
調査前には、各公園の管理協力会と現地にて事前に打合せし、日時とトレンチ設定箇所を決定した。トレンチは、以後の公園利用の支障とならないような場所に設定した。また、実施数日前には公園付近の住宅等に予告チラシを投函するなど事前の周知に努めた。

調査方法は、重機により土層ごとに掘り下げ、遺物が検出される度に人力による精査を行うものである。この際、排出土は層位ごとに分けた。遺構が検出された場合は、文化財課職員の見学会のもとに写真撮影及び測量を行った後に遺構を半掘し、遺物の包含を確認した。遺物が出土しない場合は、さらに掘削して可能な限り遺物を取得し、遺構の時期決定に努めた。調査中は来園者が調査区内に入り怪我をしないように注意し、調査区を安全バーで囲んだ。

調査後は、元の土層ごと転圧しながら埋戻しを行い、現状復旧に努めた。出土した遺物は、洗浄、注記及び接合し、松山市立埋蔵文化財センターに保管した。

(2) 調査の経過 (第1図)

計画当初、期間は平成18年度から同23年度までの間で、範囲は旧松山市域に限り実施する予定であったが、平成20年度の松山市文化財保護審議会第四部会において平成22年度までに終了し、北条地区を追加対象とするよう促され、松山市教育委員会もそれを了承した。21年度から大きく件数が増加しているのはそのためである。調査の経過は以下の通りである。



第1図 地区番号図

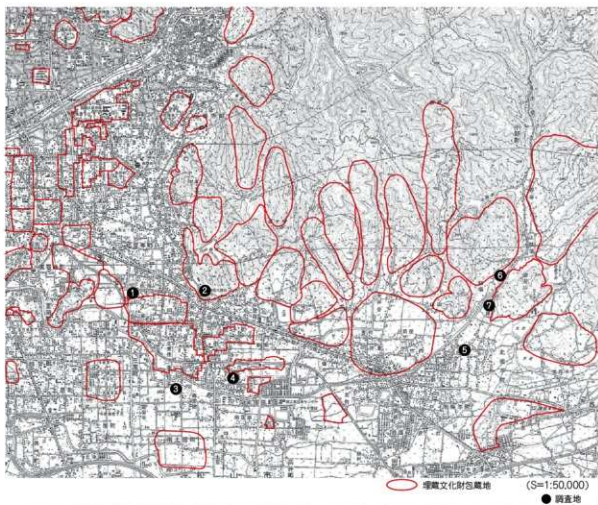
年度	地区番号	地区名	件数	遺構有り	遺物有り
18年度	1	久米・小野地区	7	0	1
19年度	2	石井南・浮穴地区	7	0	1
20年度	3	新濱・三津・生石北・味生北地区	8	0	1
21年度	4	荏原地区	5	0	4
	5	生石南・味生南・余戸・垣生地区	7	0	7
	6	和気・堀江地区	7	2	5
	7	久枝・潮見・御幸・伊台地区	10	3	5
	8	朝美・雄郡地区	8	3	6
22年度	9	道後・湯山地区	6	0	1
	10	素鷺・桑原地区	5	1	2
	11	石井北地区	4	0	4
	12	興居島地区	2	0	0
	13	河野・栗井地区	12	0	3
	14	難波・北条・正岡地区	5	0	1
	15	浅海・立岩地区	4	0	2
		計	97	9	43

第2節 調査の成果

(1) 平成18年度の調査(第2図)

平成18年度は、久米・小野地区の7件の調査を行った。調査期間は平成18年10月26日から12月22日の間で行った。調査の結果、遺物の出土が1ヶ所、遺構は検出されなかった。公園ごとに報告を行う。

地図 No	公園名称	地区 番号	所在地	遺構 の有無	遺物 の有無	面積 (㎡)	調査日
1	北久米七区公園	1	北久米町646他13筆	×	×	2,382.00	H18.12.22(金)
2	日尾公園	1	南久米町1710-2他3筆	×	×	3,152.00	H18.11.9(木)
3	来住公園	1	来住町983-3他2筆	×	×	2,932.00	H18.12.18(月)
4	北窪田公園	1	久米窪田町938-1他5筆	×	×	1,613.00	H18.11.30(木)
5	向井公園	1	北梅本町甲2142-3他3筆	×	○	1,693.34	H18.11.16(木)
6	小野谷公園	1	北梅本町甲2720他2筆	×	×	1,975.00	H18.10.26(木)
7	北梅本小山公園	1	北梅本町甲2472-1他3筆	×	×	2,476.00	H18.11.1(水)



第2図 平成18年度市有公園調査位置図

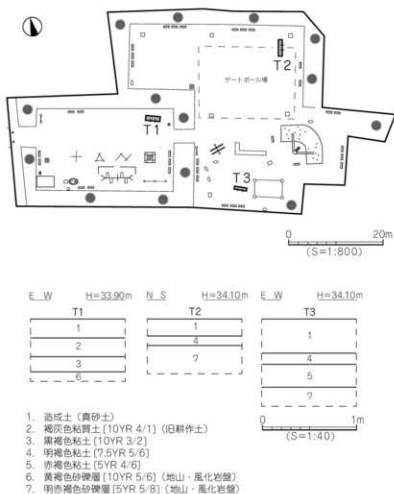
市有公園試掘調査

No.1 北久米七区公園 (第3図)

調査日 平成18(2006)年12月22日(金)
 調査場所・面積 松山市北久米町646 他13筆 (2,382.00㎡)
 試掘調査立会人 北久米七区公園管理協力会 橋本 亀一 氏
 松山市教育委員会 西村 直人
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ3本(T1・T2・T3)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。第6層と第7層は色調が異なるものの、堆積状況及び含有物等から同一層と考える。



第3図 北久米七区公園トレンチ位置図・柱状土層図

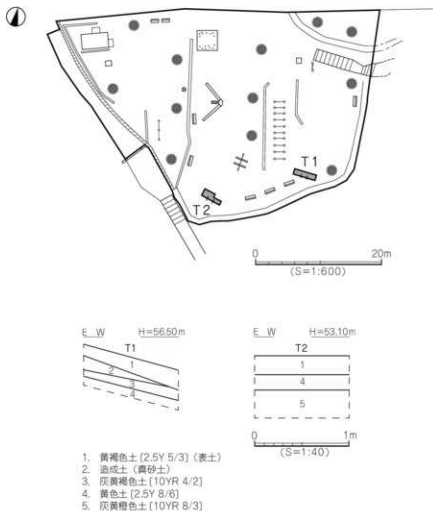
調査の成果

№2日尾公園（第4図）

調査日 平成18（2006）年11月9日（木）
 調査場所・面積 松山市南久米町1710-2 他3筆（3,152.00㎡）
 試掘調査立会人 日尾公園管理協力会 須之内 俊幸 氏
 松山市教育委員会 西村 直人
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管（上下水道、雨水、電気等）の経路を確認後、トレンチ2本（T1・T2）を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容（土色・土質・含有物）の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第4図 日尾公園トレンチ位置図・柱状土層図

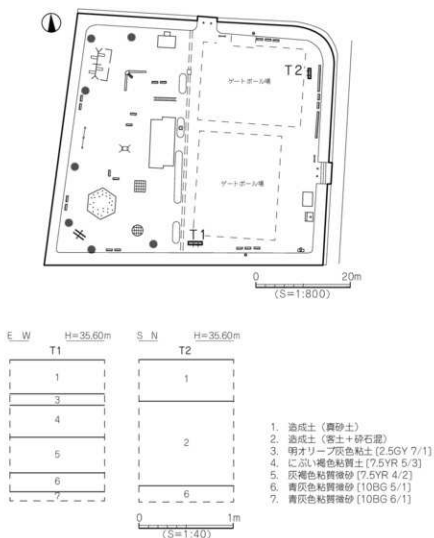
市有公園試掘調査

No 3 来住公園 (第5図)

調査日 平成18(2006)年12月18日(月)
 調査場所・面積 松山市来住町983-3 他2筆 (2,932.00㎡)
 試掘調査立会人 来住公園管理協力会 深井 和男 氏、河本 四郎 氏 外
 松山市教育委員会 西村 直人
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ2本(T1・T2)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第5図 来住公園トレンチ位置図・柱状土層図

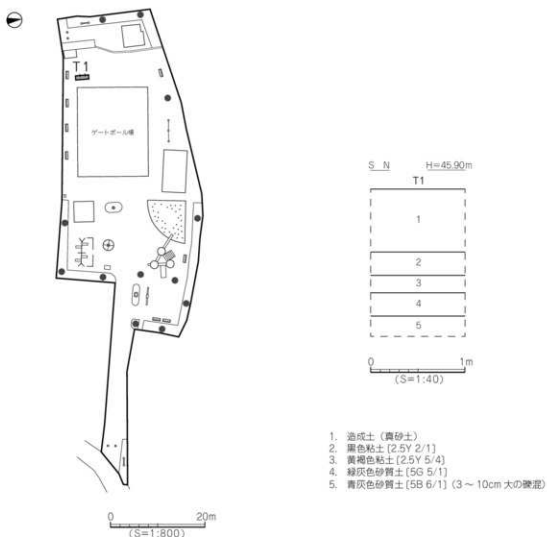
調査の成果

No.4 北窪田公園 (第6図)

調査日	平成18(2006)年11月30日(木)
調査場所・面積	松山市久米窪田町938-1 他5筆 (1,613.00㎡)
試掘調査立会人	北窪田公園管理協力会 塩見 政和 氏、外1名 松山市教育委員会 西村 直人
試掘担当調査員	武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ1本(T1)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第6図 北窪田公園トレンチ位置図・柱状土層図

市有公園試掘調査

No 5 向井公園 (第7・8図、図版1)

調査日	平成18(2006)年11月16日(木)
調査場所・面積	松山市北梅本町甲2142-3 他7筆 (1,693.34㎡)
試掘調査立会人	向井公園管理部長 松本 範良 氏 松山市教育委員会 西村 直人
試掘担当調査員	武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地を確認後、安全対策を施し、重機を使用してトレンチ2本(T1、T2)を掘削した。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量等を実施した。

土層は全部で8層に分けられ、第5層:灰黄褐色土[10YR 4/2]から遺物が出土した。

【T1】第5層は公園グラウンド面下55cmで検出した。層厚は18cmを測る。3～5cm大の河原石状の丸礫が多く混じる。

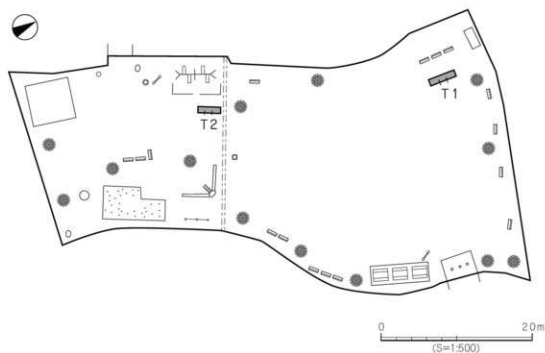
遺物は弥生土器片が少量出土した。

【T2】第5層は公園グラウンド面下110cmで検出した。層厚は30cmを測る。T1同様、丸礫が多く混じる。

遺物は弥生土器の壺、ジョッキ形、胴部片等が比較的多く出土した。

時期は弥生時代中期中葉以降と考える。

【旧地形】T1とT2の土層堆積状況から調査地の北から南へ緩傾斜する。

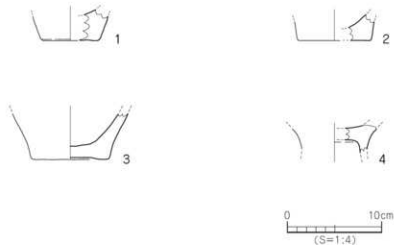
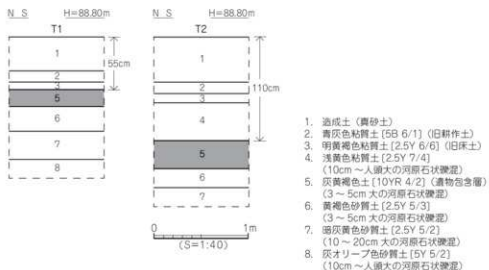


第7図 向井公園トレンチ位置図

調査の成果

【遺構】 T1、T2 共に検出されなかった。

【出土遺物】 遺物は第5層灰黄褐色土から出土した。1～4は弥生土器。1～3は甕形土器の底部片。4は高坏形土器の基部片。



第8図 向井公園柱状土層図・出土遺物実測図

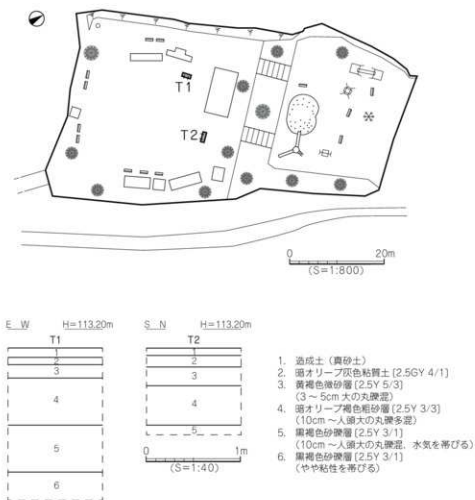
市有公園試掘調査

№6 小野谷公園 (第9図)

調査日 平成18(2006)年10月26日(木)
 調査場所・面積 松山市北梅本町甲2720 他2筆 (1,975.00㎡)
 試掘調査立会人 小野谷公園管理協力会 宮内 保 氏
 松山市教育委員会 西村 直人
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ2本(T1・T2)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第9図 小野谷公園トレンチ位置図・柱状土層図

調査の成果

№7 北梅本小山公園 (第10図)

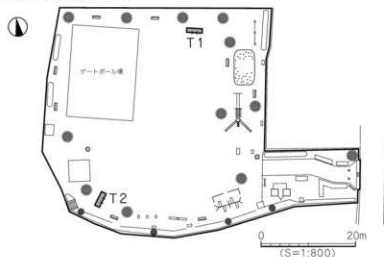
調査日	平成18(2006)年11月1日(水)		
調査場所・面積	松山市北梅本町甲2472-1	他3筆	(2,476.00㎡)
試掘調査立会人	北梅本小山公園管理協定会 八木 直 氏		
	松山市教育委員会 西村 直人		
試掘担当調査員	武正 良浩		

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ2本(T1・T2)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。

【T1】層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。

【T2】遺構・遺物は検出されなかったが、トレンチ南側で第10層:明黄褐色土を確認した。遺跡の地山と成りうる可能性も考えられる。

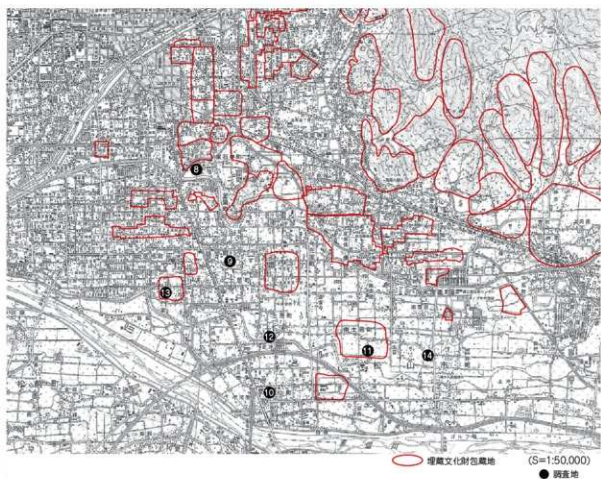


第10図 北梅本小山公園トレンチ位置図・柱状土層図

(2) 平成 19 年度の調査 (第 11 図)

平成 19 年度は、石井・浮穴地区の 7 件の調査を行った。調査期間は平成 20 年 2 月 19 日から 3 月 7 日の間で行った。調査の結果、遺構は検出されず、遺物の出土が 1ヶ所である。公園ごとに報告を行う。

地図 No.	公園名称	地区 番号	所在地	遺構 の有無	遺物 の有無	面積 (㎡)	調査日
8	椿公園	2	居相 4 丁目 274-4	×	×	1,039.81	H20. 2.19 (火)
9	北土居公園	2	北土居町 319-2 他 7 筆	×	○	1,772.91	H20. 2.20 (水)
10	明星公園	2	森松町 725-4	×	×	163.00	H20. 2.21 (木)
11	南土居公園	2	南土居町 239-1	×	×	1,696.00	H20. 3. 3 (月)
12	土居公園	2	土居町 1028-1 他 2 筆	×	×	1,715.00	H20. 2.28 (木)
13	白山の社公園	2	北井門町 1 丁目 94-3 他 4 筆	×	×	2,030.00	H20. 3. 5 (水)
14	たかい公園	2	高井町 1101-1 他 4 筆	×	×	1,743.26	H20. 3. 7 (金)



第 11 図 平成 19 年度市有公園調査位置図

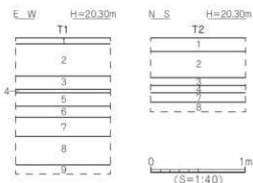
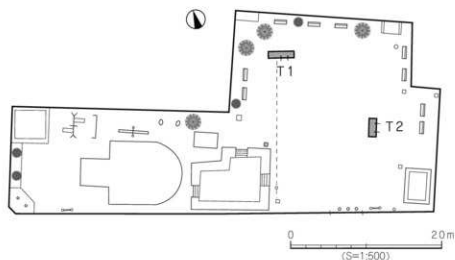
調査の成果

No.8 椿公園 (第12図)

調査日	平成20(2008)年2月19日(火)
調査場所・面積	松山市居相4丁目247-4 (1,039.81㎡)
試掘調査立会人	椿公園管理協会の会長 洲之内 貞治 氏 松山市教育委員会 西村 直人
試掘担当調査員	武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ2本(T1・T2)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



1. 造成土(真砂土)
2. 造成土(埋め戻し土、零土)
3. 黄灰色土 [2.5Y 4/1] (旧耕作土)
4. 黄褐色土 [2.5Y 5/3] (旧保土)
5. 黄褐色微粒土 [2.5Y 3/2]
6. 灰オリーブ色微粒土 [5Y 4/2]
7. 褐灰色粗砂層 [10YR 4/1] (3~5cm 大の丸礫混)
8. 褐灰色粗砂層 [7.5YR 4/1]
9. にぶい黄色粗砂層 [2.5Y 6/3]

第12図 椿公園トレンチ位置図・柱状土層図

市有公園試掘調査

№9 北土居公園 (第13・14図、図版1)

調査日 平成20(2008)年2月20日(水)
 調査場所・面積 松山市北土居町319-2 他7筆 (1,772.91mf)
 試掘調査立会人 北土居公園管理協力会会長 丹下 正勝 氏、外4名
 松山市教育委員会 栗田 正芳
 試掘担当調査員 武正 良浩

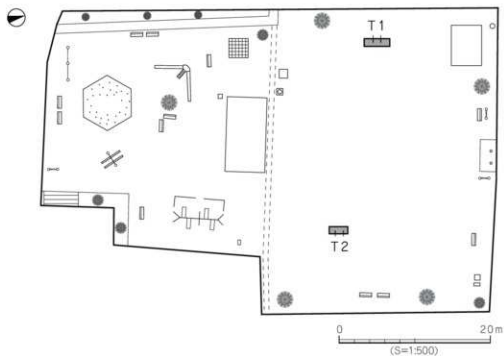
調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ2本(T1・T2)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。

土層は全部で11層に分けられ、上から第1・2層:造成土、第3・4層:耕作土、第5層:明黄褐色粘質土 [25Y 6/6]、第6・7層:遺物包含層、第8層:灰オリーブ色砂層 [5Y 5/2]、第9層:黄灰色粘土 [2.5Y 5/1]、第10層:灰黄色砂層 [2.5Y 6/2]、第11層:黄灰色粗砂層 [2.5Y 4/1] (3~7cm大の丸礫混)である。遺物は第6層及び第7層から土師器、須恵器が検出された。

【第6層】T1・T2から共に検出され、色調は褐灰色 [10YR 4/1] を呈し、土質は若干バサバサした粘質系である。層厚は13~20cmを測る。土師器、須恵器共に細片が多い。出土遺物の時期は、須恵器の坏口縁部の形状から8世紀以降と考える。凸面叩き目が細繩の平瓦片(1点)が出土している。

【第7層】T1・T2から共に検出され、色調は褐灰色 [7.5YR 4/1] を呈し、土質は粘りが強い粘質系である。下にいくほど黄色が強まる。層厚は35~48cmを測る。遺物は全て破片であるが比較的大きい。時期は、出土遺物から7世紀初頭までと考える。

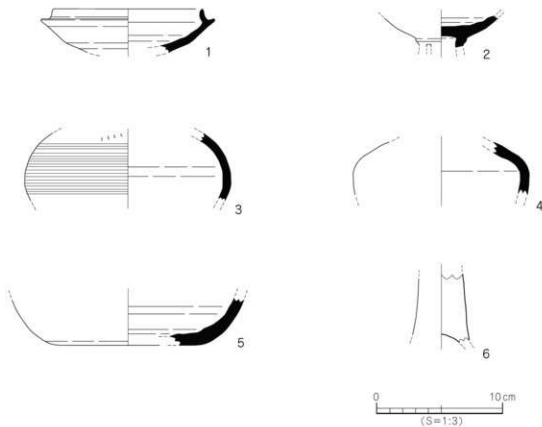


第13図 北土居公園トレンチ位置図

調査の成果

【遺構】遺構は検出していない。

【遺物】1～5は須恵器。1は坏身。受け部は短く水平に伸びる。2は高坏の基部。透かしが3方向と思われる。3・4は壺。3の肩部に刺突列点文。5は鉢と思われる。6は土師器の高坏。中実の柱部。



第 14 図 北土居公園柱状土層図・出土遺物実測図

市有公園試掘調査

No.10 明星公園 (第15図)

調査日 平成20(2008)年2月21日(木)
 調査場所・面積 松山市森松町725-4 (163.00㎡)
 試掘調査立会人 明星公園管理協力会 岡本 佳寿美 氏
 松山市教育委員会 西村 直人
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ1本(T1)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第15図 明星公園トレンチ位置図・柱状土層図

調査の成果

№11 南土居公園（第16図）

調査日	平成20（2008）年3月3日（月）	
調査場所・面積	松山市南土居町 239-1	（1,696.00㎡）
試掘調査立会人	南土居公園管理協会の会長 穂岡 満昭 氏	
	松山市教育委員会	栗田 正芳
試掘担当調査員	武正 良浩	

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管（上下水道、雨水、電気等）の経路を確認後、トレンチ2本（T1・T2）を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容（土色・土質・含有物）の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第16図 南土居公園トレンチ位置図・柱状土層図

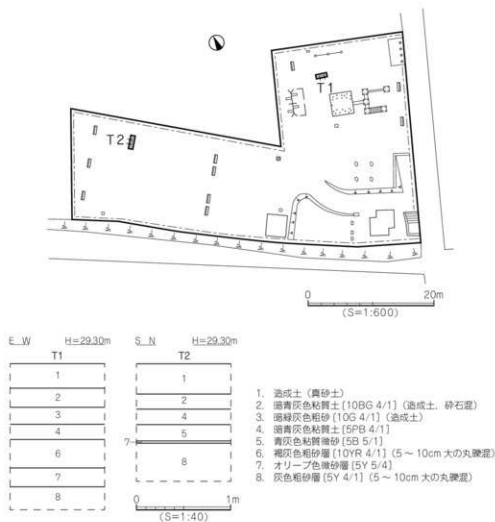
市有公園試掘調査

No.12 土居公園 (第17図)

調査日	平成20(2008)年2月28日(木)	
調査場所・面積	松山市土居町1028-1 他2筆	(1,715.00㎡)
試掘調査立会人	土居公園管理協会会長 永木 綱夫 氏	
	松山市教育委員会	栗田 正芳
	松山市教育委員会	西村 直人
試掘担当調査員	武正 良浩	

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ2本(T1・T2)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第17図 土居公園トレンチ位置図・柱状土層図

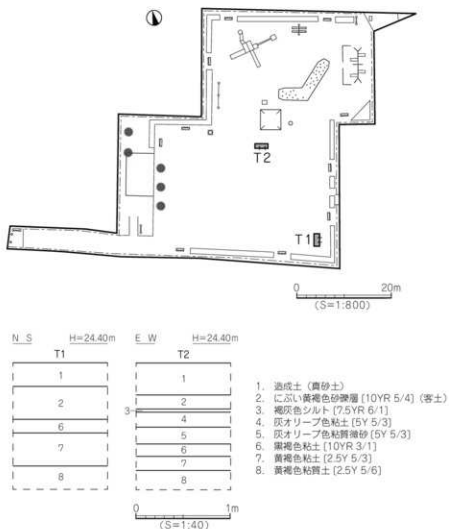
調査の成果

№13 白山の杜公園 (第18図)

調査日 平成20(2008)年3月5日(水)
 調査場所・面積 松山市北井門1丁目94-3 他4筆 (2,030.00㎡)
 試掘調査立会人 白山の杜公園管理協会会長 眞田 穂氏、外
 松山市教育委員会 栗田 正芳
 松山市教育委員会 武田 尊子
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ2本(T1・T2)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第18図 白山の杜公園トレンチ位置図・柱状土層図

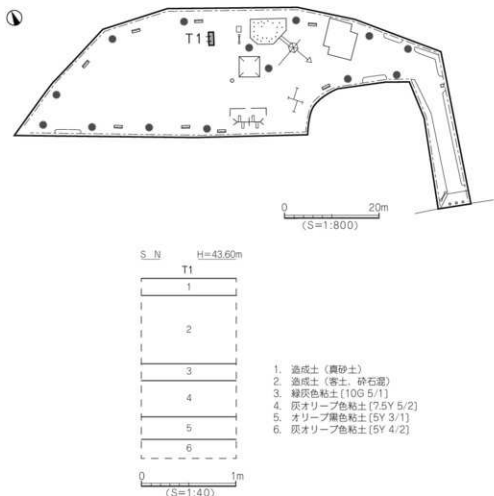
市有公園試掘調査

No.14 たかい公園（第19図）

調査日 平成20（2008）年3月7日（金）
 調査場所・面積 松山市高井町1101-1 他4筆 （1,743.26㎡）
 試掘調査立会人 たかい公園管理協力会会長 中村 駿 氏
 松山市教育委員会 栗田 正芳
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管（上下水道、雨水、電気等）の経路を確認後、トレンチ1本（T1）を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容（土色・土質・含有物）の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。

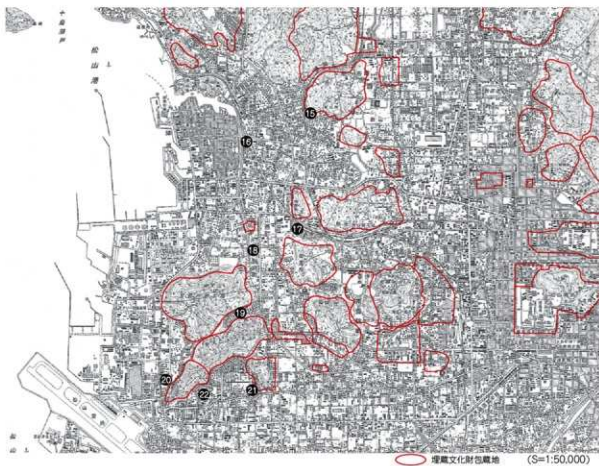


第19図 たかい公園トレンチ位置図・柱状土層図

(3) 平成20年度の調査(第20図)

平成20年度は、新濱、三津・生石北・味生北地区の8件の調査を行った。調査期間は平成20年9月2日から9月30日の間で行った。調査の結果、遺構は検出されていないが、遺物は1ヶ所から出土している。公園ごとに報告を行う。

地図No	公園名称	地区番号	所在地	遺構の有無	遺物の有無	面積(m ²)	調査日
15	東山公園	3	東山4111番12	×	×	1,290.68	H20.9.2(火)
16	蔵川公園	3	蔵川町二丁目2065番86	×	×	1,135.14	H20.9.9(火)
17	山西公園	3	山西町909番	×	○	1,195.10	H20.9.10(水)
18	飯岡公園	3	別府町538番3	×	×	2,019.57	H20.9.17(水)
19	津田公園	3	北斎院町1106番	×	×	1,748.76	H20.9.18(木)
20	北吉田公園	3	北吉田町1203番16	×	×	3,036.82	H20.9.25(木)
21	高岡中央公園	3	高岡町582番5	×	×	1,096.19	H20.9.26(金)
22	高岡第一公園	3	高岡町1126番2	×	×	2,377.97	H20.9.30(火)



第20図 平成20年度市有公園調査位置図

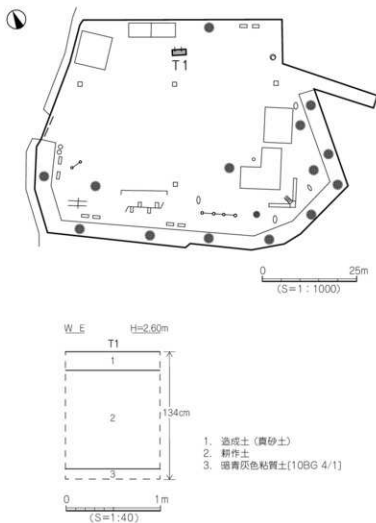
市有公園試掘調査

No.15 東山公園 (第21図)

調査日 平成20(2008)年9月2日(火)
 調査場所・面積 松山市東山4111番12 (1,290.68㎡)
 試掘調査立会人 松尾 繁敏 氏
 松山市教育委員会 加島 次郎
 試掘担当調査員 小笠原 善治

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ1本(T1)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第21図 東山公園トレンチ位置図・柱状土層図

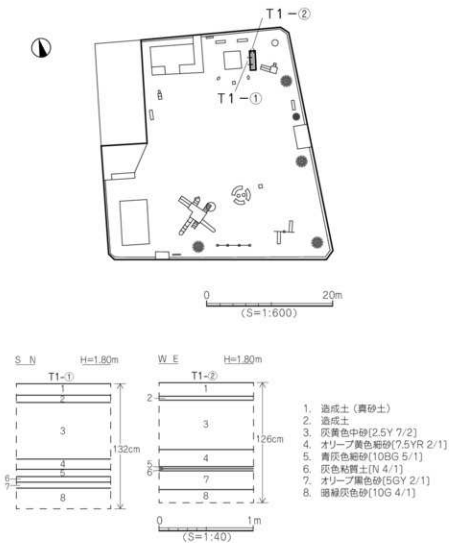
調査の成果

№16 祇川公園（第22図）

調 査 日	平成20（2008）年9月9日（火）
調 査 場 所・面 積	松山市祇川町二丁目2065番86（1,135.14㎡）
試掘調査立会人	野間 衛 氏
	松山市教育委員会 加島 次郎
試掘担当調査員	小笠原 善治

調 査 概 要

立会人のもと調査地の境界、埋設管（上下水道、雨水、電気等）の経路を確認後、トレンチ2本（T1・T2）を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容（土色・土質・含有物）の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第22図 祇川公園トレンチ位置図・柱状土層図

市有公園試掘調査

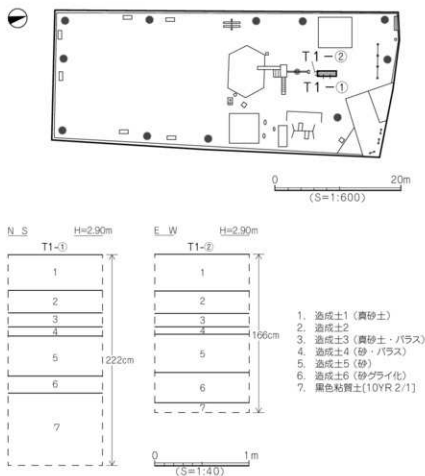
No.17 山西公園 (第23図)

調査日 平成20(2008)年9月10日(水)
 調査場所・面積 松山市山西町909番 (1,195.10㎡)
 試掘調査立会人 横田 一真 氏
 松山市教育委員会 加島 次郎
 試掘担当調査員 小笠原 善治

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ2本(T1・T2)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。

重機により222cmを掘削した後、層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構の検出には至らなかった。遺物は第7層黒色土[10YR 2/1]において土器小破片1点が検出されたが、出土状況から原位置を保った状況ではないと考えられる。



第23図 山西公園トレンチ位置図・柱状土層図

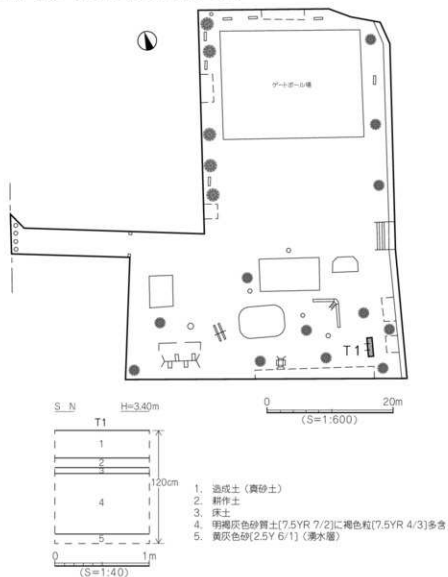
調査の成果

№18 飯岡公園（第24図）

調査日 平成20（2008）年9月17日（水）
 調査場所・面積 松山市別府町538番3 （2019.57㎡）
 試掘調査立会人 堀口 正巳 氏
 松山市教育委員会 加島 次郎
 試掘担当調査員 小笠原 善治

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管（上下水道、雨水、電気等）の経路を確認後、トレンチ1本（T1）を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容（土色・土質・含有物）の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第24図 飯岡公園トレンチ位置図・柱状土層図

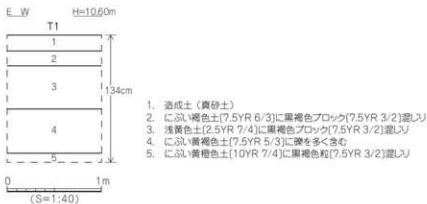
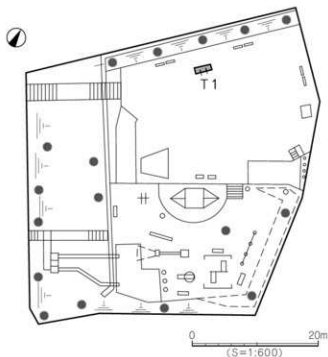
市有公園試掘調査

No.19 津田公園 (第25図)

調査日 平成20(2008)年9月18日(木)
 調査場所・面積 松山市北京院町1106番 (1748.76㎡)
 試掘調査立会人 宗金進氏
 松山市教育委員会 加島次郎
 試掘担当調査員 小笠原善治

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ1本(T1)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第25図 津田公園トレンチ位置図・柱状土層図

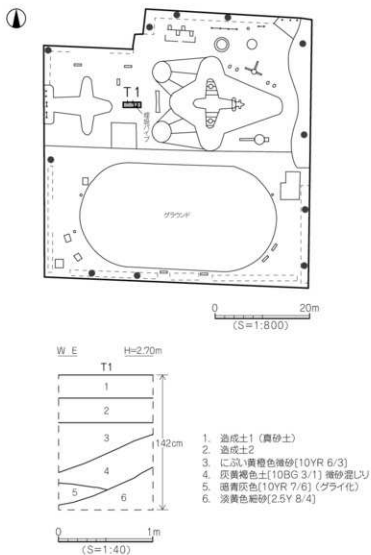
調査の成果

№20 北吉田公園 (第26図)

調査日 平成20(2008)年9月25日(木)
 調査場所・面積 松山市北吉田町1203番16 (3,036.82㎡)
 試掘調査立会人 樋口 政雄 氏
 松山市教育委員会 高尾 和長
 試掘担当調査員 小笠原 善治

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ1本(T1)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第26図 北吉田公園トレンチ位置図・柱状土層図

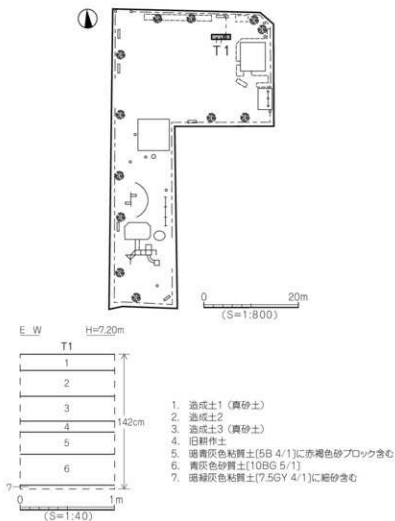
市有公園試掘調査

No 21 高岡中央公園 (第 27 図)

調 査 日 平成 20 (2008) 年 9 月 26 日 (金)
 調 査 場 所・面 積 松山市高岡町 582 番 5 (1,096.19㎡)
 試 掘 調 査 立 会 人 木原 俊則 氏
 松山市教育委員会 加島 次郎
 試 掘 担 当 調 査 員 小笠原 善治

調 査 概 要

立会人のもと調査地の境界、埋設管（上下水道、雨水、電気等）の経路を確認後、トレンチ 1 本（T1）を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容（土色・土質・含有物）の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第 27 図 高岡中央公園トレンチ位置図・柱状土層図

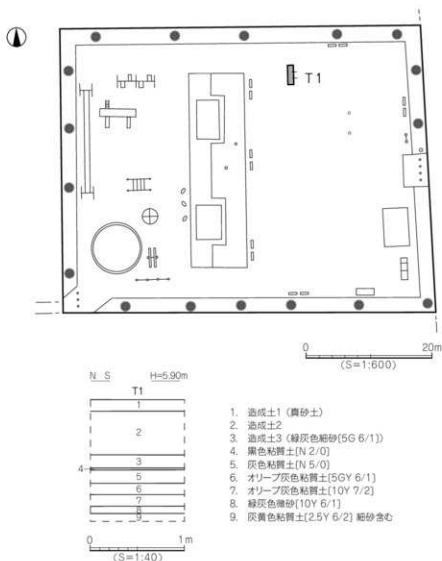
調査の成果

№22 高岡第一公園 (第28図)

調査日 平成20(2008)年9月30日(火)
 調査場所・面積 松山市高岡町1126番2 (2,377.97㎡)
 試掘調査立会人 清光 幸蔵 氏
 松山市教育委員会 加島 次郎
 試掘担当調査員 小笠原 善治

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ1本(T1)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第28図 高岡第一公園トレンチ位置図・柱状土層図

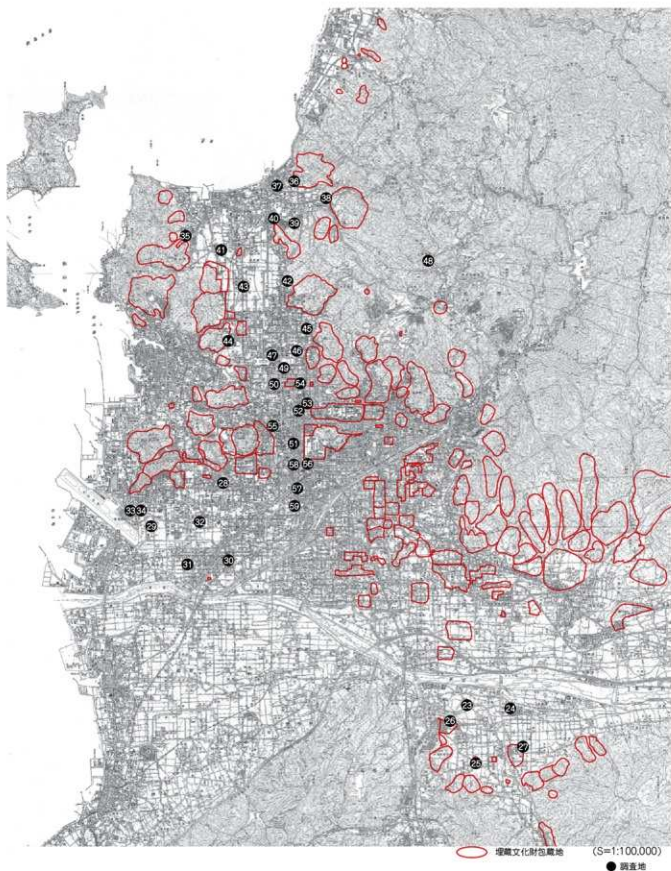
市有公園試掘調査

(4) 平成 21 年度の調査 (第 29 図)

平成 20 年度は、荏原地区・生石・味生・余戸・垣生地区、和気・堀江地区、久枝・潮見・御幸・伊台地区、朝美・雄郡地区の 37 件の調査を行った。調査期間は平成 21 年 7 月 22 日から平成 22 年 1 月 12 日の間で行った。調査の結果、遺構を検出したのが 8ヶ所、遺物が出土したのは 27ヶ所である。公園ごとに報告を行う。

表 5 平成 21 年度市有公園調査一覧表

地図 No.	公園名称	地区 番号	所在地	遺構 の有無	遺物 の有無	面積 (㎡)	調査日
23	上野町今市公園	4	上野町甲 1434 番 2	×	○	1,921.90	H21. 7.22 (水)
24	致友公園	4	東方町甲 2258 番 1	×	○	3,037.37	H21. 7.23 (木)
25	恵原公園	4	恵原町甲 445 番 1	×	○	2,120.04	H21. 7.24 (金)
26	上野町中組公園	4	上野町甲 504 番 4	×	○	1,693.65	H21. 7.31 (金)
27	東方中央公園	4	東方町甲 1481 番 1	×	×	1,732.96	H21. 8. 5 (水)
28	南斎院公園	5	南斎院町 232 番 3	×	○	1,208.72	H21. 8. 6 (木)
29	鶴ヶ丘公園	5	南吉田町 527 番 3	×	○	497.43	H21. 8.12 (水)
30	余戸東竹の宮公園	5	余戸東五丁目 299 番 5	×	○	1,500.00	H21. 8.18 (火)
31	余戸西さくら公園	5	余戸西二丁目 2279 番 1	×	○	2,248.05	H21. 8.20 (木)
32	富久公園	5	富久町 302 番 5	×	○	2,238.16	H21. 8.21 (金)
33	南吉田中央公園 (西)	5	南吉田町 1366 番	×	○	2,793.89	H21. 8.24 (月)
34	南吉田中央公園 (東)	5	南吉田町 1366 番	×	○	2,580.75	H21. 8.26 (水)
35	太山寺カシの木公園	6	太山寺町 2294 番 3	×	○	241.39	H21. 9.11 (金)
36	堀江中央公園	6	堀江町甲 1466 番	×	○	2,272.00	H21. 9.14 (月)
37	堀江中央公園	6	堀江町甲 1559 番 3	×	○	2,562.19	H21. 9.15 (火)
38	権現公園	6	権現町甲 162 番 1	○	○	1,670.00	H21. 9.16 (水)
39	松尾公園	6	福角町乙 842 番	○	×	1,500.00	H21. 9.17 (木)
40	内宮公園	6	内宮町甲 61 番 4	×	×	1,198.00	H21. 9.28 (月)
41	和気公園	6	和気町一丁目 97 番 1	×	○	3,155.00	H21.10. 9 (金)
42	谷町公園	7	谷町地内	×	○	1,800.00	H21.11.16 (月)
43	安城寺西公園	7	安城寺町地内	○	○	1,400.00	H21.11.27 (金)
44	西長戸東公園	7	西長戸町 151 番地 他	×	×	2,400.00	H21.11.18 (水)
45	吉藤公園	7	吉藤二丁目 15 番 3	×	○	800.00	H21.11.24 (火)
46	姫原西公園	7	姫原三丁目 392 番 4	○	○	1,200.00	H21.11.25 (水)
47	太郎丸公園	7	間屋町地内	×	×	1,000.00	H21.11.19 (木)
48	伊台本村公園	7	上伊台町地内	×	×	1,300.00	H21.11.30 (月)
49	山越公園	7	山越五丁目地内	×	×	3,100.00	H21.11.26 (木)
50	高崎公園	7	山越六丁目地内	×	×	3,200.00	H21.12.14 (月)
51	南味酒公園	8	味酒町一丁目 11	×	○	1,700.00	H21.12.15 (火)
52	萱町公園	8	萱町五丁目 10-1	×	○	1,400.00	H21.12.16 (水)
53	木屋町公園	8	木屋町三丁目 4-3	○	○	1,100.00	H21.12.17 (木)
54	日分公園	7	山越一丁目 531-1	○	○	1,300.00	H21.12.21 (月)
55	愛光公園	8	愛光町 395 番 1	×	○	1,400.00	H21.12.22 (火)
56	新玉公園	8	三番町六丁目 4-21 他	○	○	1,400.00	H21.12.24 (木)
57	雄郡土橋公園	8	土橋 83 番地 2 外	×	×	1,000.00	H22. 1. 6 (水)
58	幸町公園	8	千舟町七丁目 6-7	○	○	1,200.00	H22. 1. 7 (木)
59	小栗公園	8	小栗六丁目地内	×	×	2,500.00	H22. 1.12 (火)



第29図 平成21年度市有公園調査位置図

市有公園試掘調査

No 23 上野町今市公園 (第 30 図)

調査日 平成 21 (2009) 年 7 月 22 日 (水)
 調査場所・面積 松山市上野町甲 1434 番 2 (1,921.90㎡)
 試掘調査立会人 上野町今市公園管理協力会 藤岡 暢靖 氏
 松山市教育委員会 西村 直人
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ 2 本 (T1・T2) を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺物は第 2 層(造成土 2・客土)中から土師器の小片 2 点を採取した。遺構は検出されなかった。



第 30 図 上野町今市公園 トレンチ位置図・柱状土層図

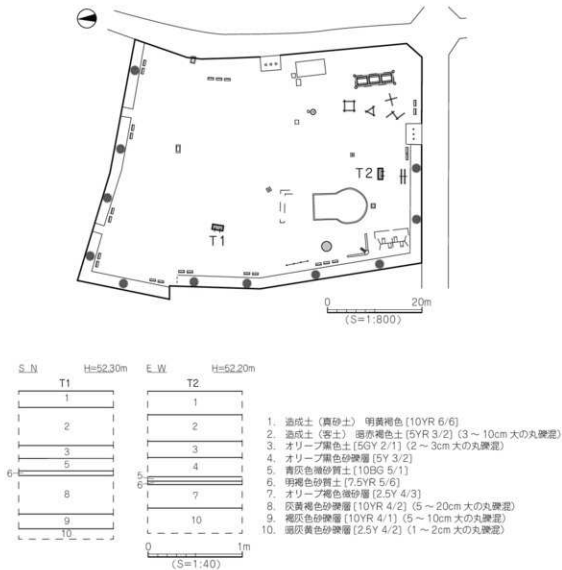
調査の成果

No.24 政友公園 (第31図)

調査日 平成21(2009)年7月23日(木)
 調査場所・面積 松山市東方町甲2258番1 (3,037.37㎡)
 試掘調査立会人 松山市教育委員会 西村 直人
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ2本(T1・T2)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、自然堆積層からの遺構・遺物は検出されなかったが、第2層(造成土・客土)中から陶磁器片1点を採取した。



第31図 政友公園トレンチ位置図・柱状土層図

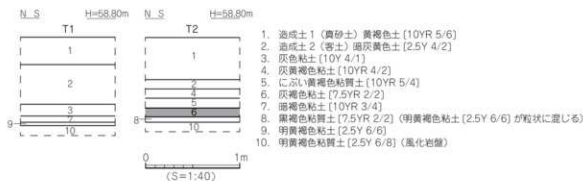
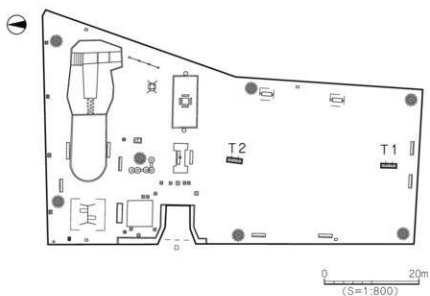
市有公園試掘調査

№25 恵原公園 (第32図)

調査日 平成21(2009)年7月24日(金)
 調査場所・面積 松山市恵原町甲445番1 (2,120.04㎡)
 試掘調査立会人 松山市教育委員会 西村 直人
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ2本(T1・T2)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、第6層(T2)中から瓦片、土師器小片を検出した。遺物の時期は中近世以降と考える。なお、遺構は検出されなかった。



第32図 恵原公園トレンチ位置図・柱状土層図

No.26 上野町中組公園 (第33図、図版1)

調査日 平成21(2009)年7月31日(金)
 調査場所・面積 松山市上野町甲504番4 (1,693.65㎡)
 試掘調査立会人 松山市教育委員会 西村 直人
 試掘担当調査員 武正 良浩

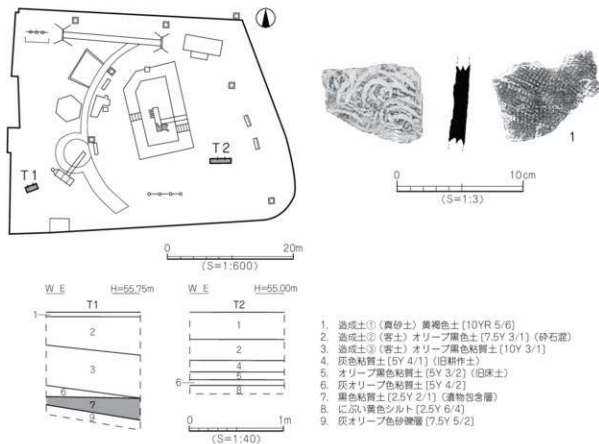
調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ2本(T1・T2)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、土層は全部で9層に分けられ、上から第1～3層:造成土、第4～5層:耕作土、第6層:灰オリーブ色粘質土 [5Y 4/2]、第7層:遺物包含層、第8層:にぶい黄色シルト [2.5Y 6/4]、第9層:灰オリーブ色砂礫層 [7.5Y 5/2] である。遺物は第7層から弥生土器小片を検出した。

【第7層】T1のみで確認した。色調は黒色 [2.5Y 2/1] を呈し、土質はやや粘性を帯びる。層厚は19～23cmを測る。

【客土】第2～3層中から中世～近現代の遺物(須恵器片、陶磁器片等)を採取した。

【遺物】1は須恵器の甕胴部片。内面に同心円タタキ、外面に自然釉がかかる。



第33図 上野町中組公園トレンチ位置図・柱状土層図・出土遺物実測図

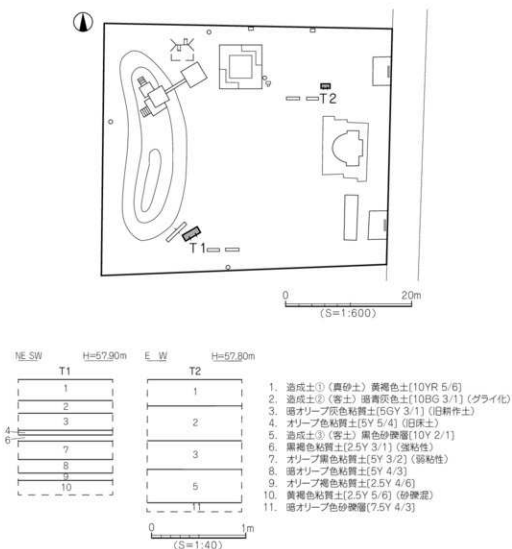
市有公園試掘調査

No 27 東方中央公園 (第 34 図)

調査日 平成 21 (2009) 年 8 月 5 日 (水)
 調査場所・面積 松山市東方町甲 1481 番 1 (1,732,96㎡)
 試掘調査立会人 東方中央公園管理協力会 豊福 秀雄 氏
 松山市教育委員会 西村 直人
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ 2 本 (T1・T2) を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第 34 図 東方中央公園トレンチ位置図・柱状土層図

調査の成果

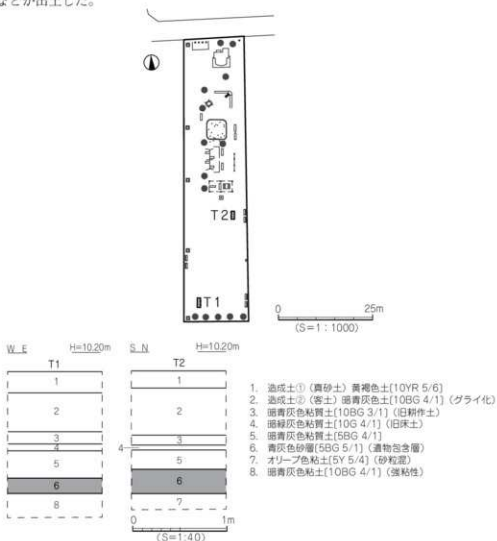
No.28 南斎院公園 (第35図)

調査日 平成21(2009)年8月6日(木)
 調査場所・面積 松山市南斎院町232番3 (1,208.72㎡)
 掘調査立会人 南斎院公園管理協会の会 本郷 照國 氏
 松山市教育委員会 西村 直人
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ2本(T1・T2)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、自然堆積層から遺物を検出した。遺構は検出されなかった。

【第6層】層厚はT1で17cm、T2で26cmを測る。色調は青灰色を呈し、土質はやや粘り気のある粗砂質である。遺物は上位からの出土であり、土師質土器の土釜口唇部片や瓦片と考えられる肉厚の土器片などが出土した。



第35図 南斎院公園トレンチ位置図・柱状土層図

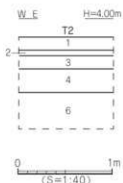
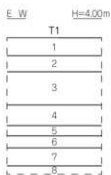
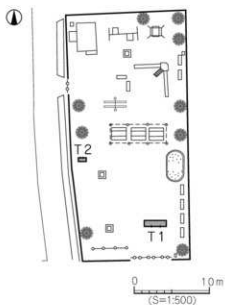
市有公園試掘調査

№29 鶴ヶ丘公園 (第36図)

調査日 平成21(2009)年8月12日(水)
 調査場所・面積 松山市南吉田町527番3 (497.43㎡)
 試掘調査立会人 鶴ヶ丘公園管理協力会 乗松 純雄 氏
 松山市教育委員会 西村 直人
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ2本(T1・T2)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、自然堆積層中からの遺構・遺物は検出されなかったが、第2層(造成土2・客土)中から弥生土器片と思われる小片1点を採取した。



1. 造成土①(真砂土) 黄褐色土[10YR 5/6]
2. 造成土②(客土) 弱青灰色土[10BG 4/1] (グライ化)
3. 弱い黄褐色砂質土[10YR 6/3]
4. 灰黄褐色砂質土[10YR 4/2]
5. 褐灰色砂層[10YR 5/1]
6. 褐灰色粗砂層[10YR 5/1]
7. 弱青灰色粘土層[10BG 4/1]
8. 黄灰色粗砂層[10BG 5/1]

第36図 鶴ヶ丘公園トレンチ位置図・柱状土層図

調査の成果

No.30 余戸東竹の宮公園 (第37図、図版1)

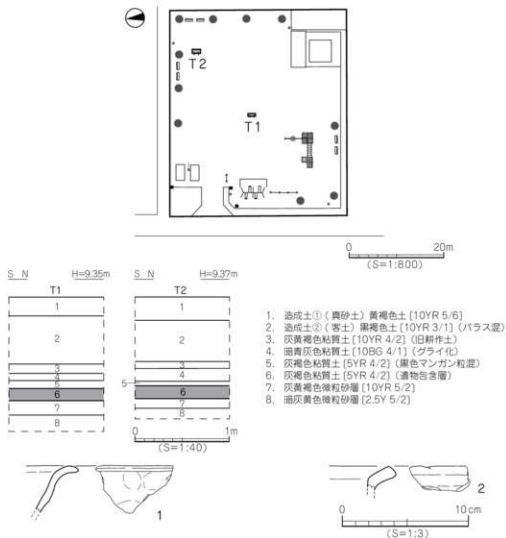
調査日	平成21(2009)年8月18日(火)	
試掘場所・面積	松山市余戸東五丁目299番5	(1,500㎡)
試掘調査立会人	松山市教育委員会	高尾 和長
試掘担当調査員	武正 良浩	

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ2本(T1・T2)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、自然堆積層中(第6層)から遺物を検出した。遺構は検出されなかった。

【第6層】層厚はT1で13cm、T2で14cmを測る。色調は灰褐色を呈し、土質はやや粘り気の強い粘質土である。T1からは土師質土器と思われる小片が出土した。また、T2からは緑色片岩片と土鍋の口縁部が出土した。

【遺物】1は瓦質土器の焙烙鍋、煤が付着。2は土師器の焙烙鍋。



第37図 余戸東竹の宮公園トレンチ位置図・柱状土層図・出土遺物実測図

市有公園試掘調査

№31 余戸西さくら公園 (第38図)

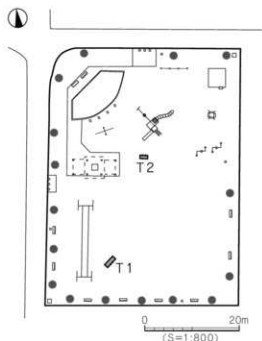
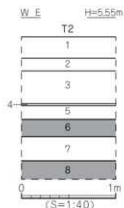
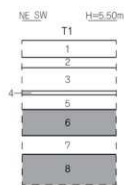
調査日 平成21(2009)年8月20日(木)
 調査場所・面積 松山市余戸西二丁目2279番1 (2,248.05㎡)
 試掘調査立会人 余戸西さくら公園管理協力会 百合田 博 氏
 松山市教育委員会 吉岡 和哉
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ2本(T1・T2)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、自然堆積層中(第6・8層)から遺物を検出した。遺構は検出されなかった。

【第6層】層厚はT1で27cm、T2で17cmを測る。色調は暗緑灰色を呈し、土質は粘質を帯びた微砂である。T2から土師質土器の皿底片が出土した。

【第8層】層厚はT1で33cm以上、T2で21cmを測る。色調はにぶい黄褐色を呈し、土質はやや粘性の弱い粘土である。T1から土師質土器皿の口縁片が出土した。



1. 造成土①(真砂土) 褐色土 [10YR 4/4]
2. 造成土②(真砂土) 黄褐色土 [10YR 5/8]
3. 造成土③ 暗緑灰色土 [10GY 4/1] (3~5cm 大の礫混)
4. 暗灰色土 [N 3/0]
5. 暗緑灰色粘土 [10GY 4/1] (旧耕作土)
6. 暗緑灰色粘質微砂層 [7.5GY 4/1] (遺物包き層)
7. 面オリーブ灰色粘砂層 [5GY 4/1] (落水層)
8. にぶい黄褐色粘土 [10YR 5/3] (遺物包き層)

第38図 余戸西さくら公園トレンチ位置図・柱状土層図

調査の成果

№32 富久公園（第39図、図版2）

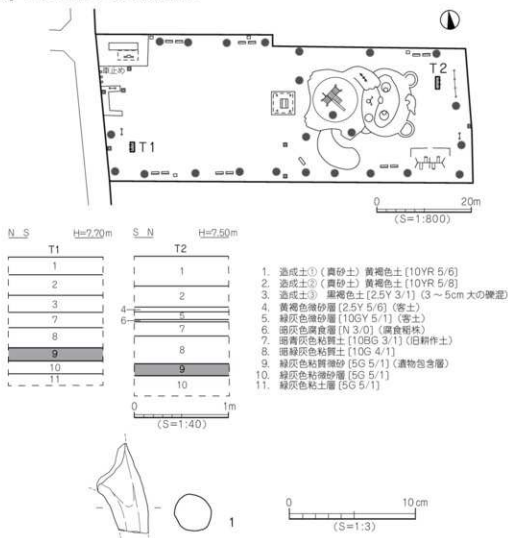
調査日 平成21（2009）年8月21日（金）
 調査場所・面積 松山市富久町302番5（2,238.16㎡）
 試掘調査立会人 松山市教育委員会 吉岡 和哉
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管（上下水道、雨水、電気等）の経路を確認後、トレンチ2本（T1・T2）を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容（土色・土質・含有物）の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、自然堆積層中（第9層）から遺物を検出した。T2の第4層（客土）から土師質土器の土鍋脚部、第7層（旧耕作土）から陶磁器片等が出土した。遺構は検出されなかった。

【第9層】層厚はT1で14cm、T2で13cmを測る。色調は緑灰色を呈し、土質は粘質を帯びた微砂である。T1から土師器片が出土した。

【遺物】1は土師器の三足釜の脚部片。



第39図 富久公園トレンチ位置図・柱状土層図・出土遺物実測図

市有公園試掘調査

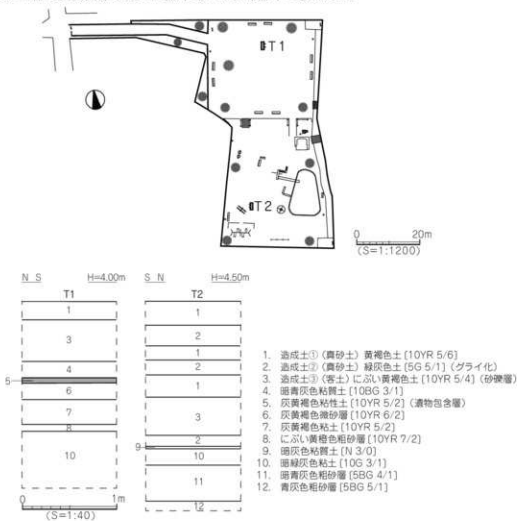
No 33 南吉田中央公園 (西) (第 40 図)

調査日 平成 21 (2009) 年 8 月 24 日 (月)
 調査場所・面積 松山市南吉田町 1366 番 (2,793.89㎡)
 試掘調査立会人 南吉田中央公園管理協力会 中村 健二 氏
 松山市教育委員会 楠 寛輝
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ 2 本 (T1・T2) を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、自然堆積層中(第 5 層)から遺物を検出した。遺構は検出されなかった。

【第 5 層】T1 のみで検出された層で厚さ 6cm を測る。色調は灰黄褐色を呈し、土質はやや粘性を帯びる。出土した土器は実測困難で弥生土器片或いは土師器片と思われる。



第 40 図 南吉田中央公園 (西) トレンチ位置図・柱状土層図

調査の成果

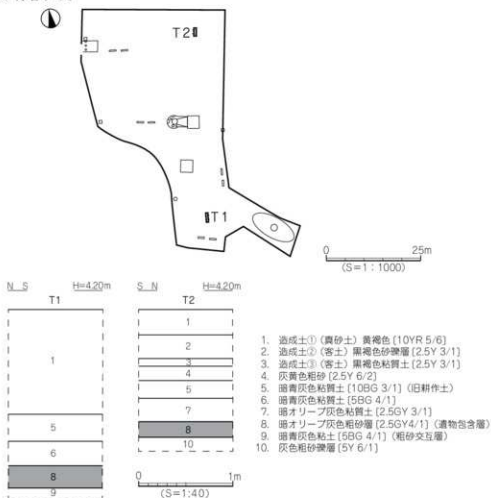
No.34 南吉田中央公園（東）（第41図）

調査日 平成21（2009）年8月26日（水）
 調査場所・面積 松山市南吉田町1366番（2,580.75㎡）
 試掘調査立会人 南吉田中央公園管理協会の 中村 健二 氏
 松山市教育委員会 高尾 和長
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管（上下水道、雨水、電気等）の経路を確認後、トレンチ2本（T1・T2）を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容（土色・土質・含有物）の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、自然堆積層中（第8層）から遺物を検出した。遺構は検出されなかった。

【第8層】層厚はT1で25cm、T2で16cmを測る。色調は暗オリーブ灰色を呈し、土質は粗い砂である。出土した遺物は焙烙鍋と思われる土師質土器の胴部片と陶磁器皿の口縁部である。土師質土器片の外面上には煤が付着する。



第41図 南吉田中央公園（東）トレンチ位置図・柱状土層図

市有公園試掘調査

№35 太山寺カシの木公園 (第42図、図版2)

調査日 平成21(2009)年9月11日(金)
 調査場所・面積 松山市太山寺町2294番3 (241.39㎡)
 試掘調査立会人 太山寺カシの木公園管理協力会 西川 鐵雄 氏
 松山市教育委員会 高尾 和長
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

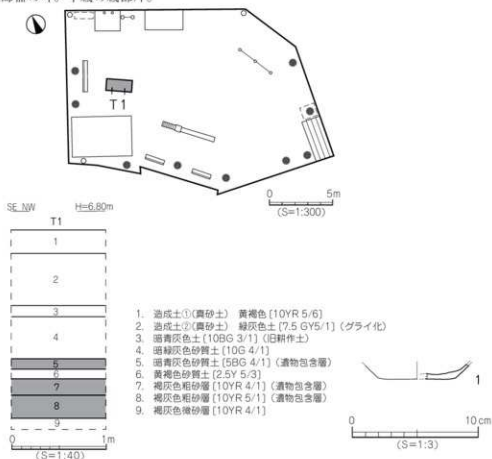
立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ1本(T1)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、自然堆積層中(第5・7・8層)から遺物を検出した。遺構は検出されなかった。

【第5層】層厚は12cmを測る。色調は暗青灰色、土質は砂質を呈する。遺物は土師質土器の小片が6点出土した。器面は全て摩耗が顕著である。

【第7層】層厚は18cmを測る。色調は褐灰色、土質は粗目の砂である。遺物は土師質土器の皿と思われる小片が2点出土した。

【第8層】層厚は25cmを測る。色調は褐灰色、土質は粗目の砂である。遺物は土師質土器の皿底部片が出土した。

【遺物】1は土師器の坏。平底の底部片。



第42図 太山寺カシの木公園トレンチ位置図・柱状土層図・出土遺物実測図

調査の成果

No.36 堀江東公園 (第43図、図版2)

調査日 平成21(2009)年9月14日(月)

調査場所・面積 松山市堀江町甲1466番 (2,272.00㎡)

試掘調査立会人 堀江東公園管理協力会 高野 照政 氏

松山市教育委員会 高尾 和長

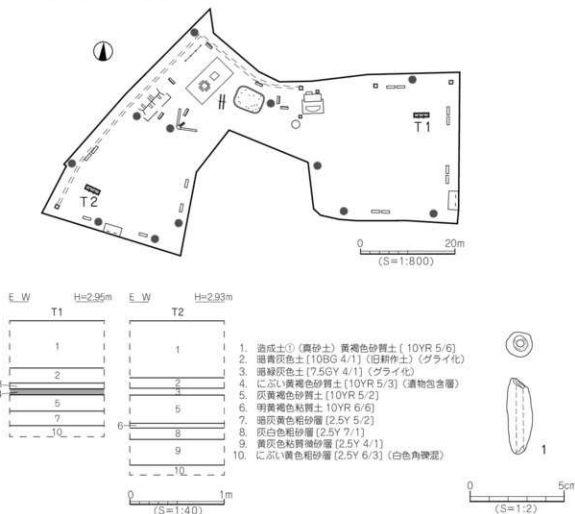
試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ2本(T1・T2)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、自然堆積層中(第4層)から遺物を検出した。遺構は検出されなかった。

【第4層】T1で確認した第4層は層厚は7cmを測る。色調はにぶい黄褐色を呈し、土質は砂粒である。遺物は土師質土器片、厚みのある土器片(小塊)、管状土錘が出土した。土錘は小型で細長く、重さ約5.51gを量る。

【遺物】1は土錘。重量は5.51gを測る。



第43図 堀江東公園トレンチ位置図・柱状土層図・出土遺物実測図

No 37 堀江中央公園 (第 44 図、図版 2)

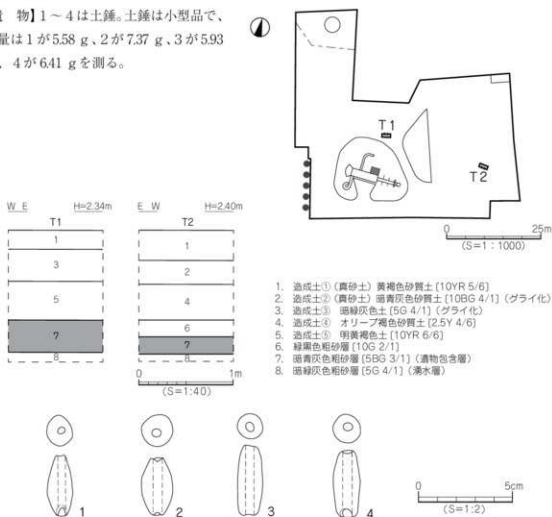
調査日 平成 21 (2009) 年 9 月 15 日 (火)
 調査場所・面積 松山市堀江町甲 1559 番 3 (2,562.19m²)
 試掘調査立会人 堀江中央公園管理協会の 高橋 孝 氏
 松山市教育委員会 高尾 和長
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ 2 本 (T1・T2) を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、自然堆積層中(第 7 層)から遺物を検出した。遺構は検出されなかった。

【第 7 層】層厚は T1 で 34cm、T2 で 18cm を測る。色調は暗青灰色を呈し、土質は粗い砂粒である。遺物は陶磁器片、土師質土器片、管状土錘、古銭が出土した。古銭には「寛永通寶」(対読)の文字が明瞭に残る。

【遺物】1～4 は土錘。土錘は小型品で、重量は 1 が 5.58 g、2 が 7.37 g、3 が 5.93 g、4 が 6.41 g を測る。



第 44 図 堀江中央公園トレンチ位置図・柱状土層図・出土遺物実測図

№38 権現公園（第45-46図、図版3）

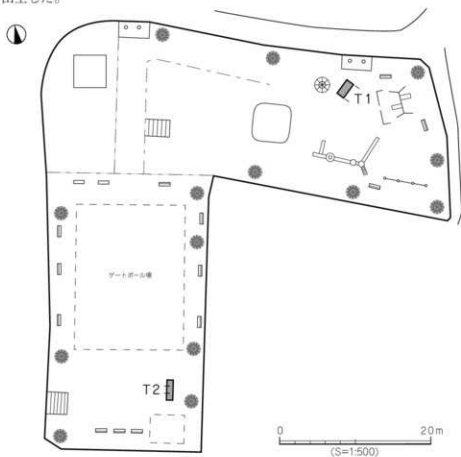
調査日 平成21（2009）年9月16日（水）
 調査場所・面積 松山市権現町甲162番1 （1,670.00㎡）
 試掘調査立会人 権現公園管理協力会 森川 勇 氏
 松山市教育委員会 高尾 和長
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管（上下水道、雨水、電気等）の経路を確認後、トレンチ2本（T1・T2）を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容（土色・土質・含有物）の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、自然堆積層中（T1の第5-6層）から遺物を検出した。また、T1の第7層上面にて溝（SD）1条、柱穴（SP）3基を確認した。なお、T2では遺構・遺物共に検出されなかった。

【第5層】層厚は5～10cmを測る。色調は黄褐色を呈し、土質は砂質である。遺物は陶磁器片、瓦質土器片、土師質土器片、須恵器片が出土した。

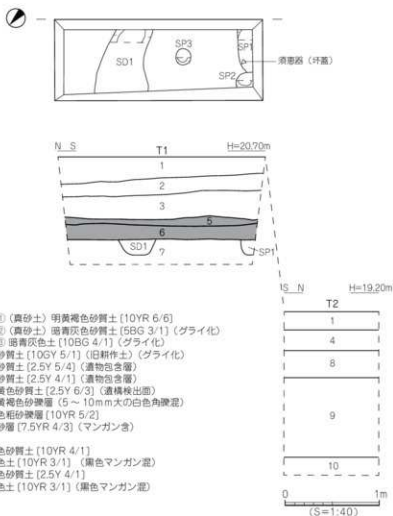
【第6層】層厚は14～18cmを測る。色調は黄灰色を呈し、土質は砂質である。遺物は土師質土器片、須恵器片が出土した。



第45図 権現公園トレンチ位置図

【遺構】全て第7層上面にて検出・確認した。SD1の検出規模は長さ68cm、幅57cm、深さ6cmを測る。埋土は褐灰色砂質土である。遺物は検出されなかった。SP1の検出規模は長さ45cm、幅15cm、深さ16cmを測る。SP2に先行する。埋土は黒褐色土である。遺物は土師器片、須恵器の坏蓋片が出土した。SP2の検出規模は長さ18cm、幅16cm、深さ10cmを測る。埋土が黄灰色砂質土で直上の第6層と同質であることから、同層中からの掘り込みと考えられる。SP3の検出規模は径17cm、深さ9cmを測る。埋土は黒褐色土である。SP2・3共に遺物の検出はなかった。

【遺物】1～3は須恵器。1は坏蓋。扁平な天井部。2・3は甕。胴部の小片。



第46図 権現公園 T1 遺構平面図・土層図・T2 柱状土層図・出土遺物実測図

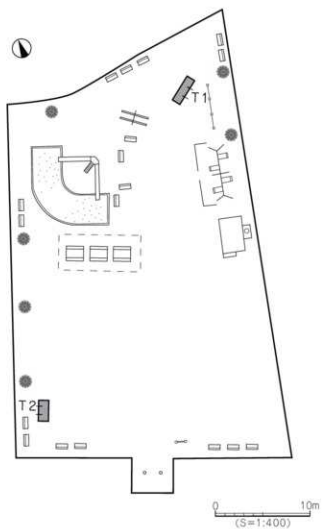
調査の成果

№39 松尾公園（第47・48図、図版6）

調査日	平成21（2009）年9月17日（木）
調査場所・面積	松山市福角町乙842番（1,500.00㎡）
試掘調査立会人	松山市教育委員会 高尾 和長
試掘担当調査員	武正 良浩

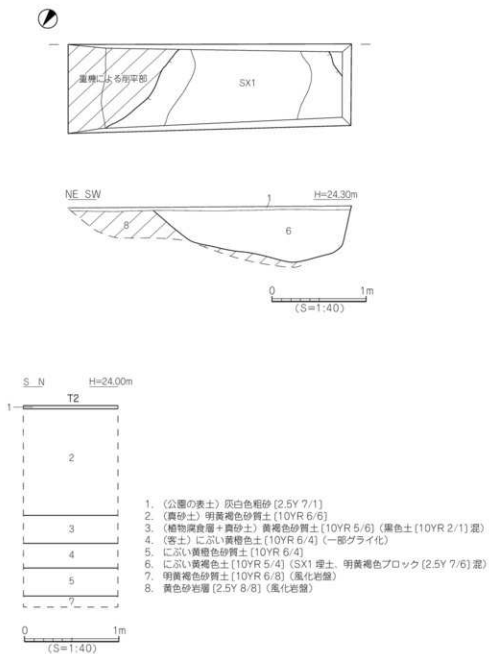
調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管（上下水道、雨水、電気等）の経路を確認後、トレンチ2本（T1・T2）を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容（土色・土質・含有物）の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、T1において溝状の窪みSX1（性格不明遺構）が検出された。なお、遺物はT1・T2共に検出されなかった。



第47図 松尾公園トレンチ位置図

【SX1】 SX1の検出規模は長さ78cm、幅2.5m、深さ55cmを測る。埋土は、にぶい黄褐色土で明黄褐色の小ブロックが混じる。遺物は検出されなかった。平面プランは、やや湾曲する溝状を呈するものと思われる。



第 48 図 松尾公園 T1 遺構平面図・土層図・T2 柱状土層図

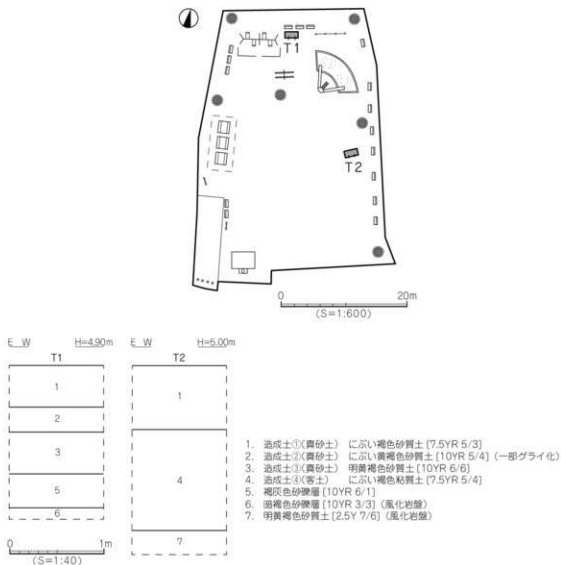
調査の成果

No 40 内宮公園 (第 49 図)

調 査 日 平成 21 (2009) 年 9 月 28 日 (月)
 調 査 場 所・面 積 松山市内宮町甲 61 番 4 (1,198.00mf)
 試 掘 調 査 立 会 人 松山市教育委員会 高尾 和長
 試 掘 担 当 調 査 員 武正 良浩

調 査 概 要

立会人のもと調査地の境界、埋設管（上下水道、雨水、電気等）の経路を確認後、トレンチ 2 本（T1・T2）を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容（土色・土質・含有物）の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物は検出されなかった。



第 49 図 内宮公園トレンチ位置図・柱状土層図

No 41 和気公園 (第 50 図)

調査日 平成 21 (2009) 年 10 月 9 日 (金)
 調査場所・面積 松山市和気町一丁目 97 番 1 (3,155.00㎡)
 試掘調査立会人 松山市教育委員会 高尾 和長
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ 2 本 (T1・T2) を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、自然堆積層中 (T1) から遺物を検出した。遺構は T1・T2 共に検出されなかった。

【第 4 層】 T1 で層厚は 9cm を測る。色調は暗緑灰色を呈し、土質は弱い粘性を帯びる。遺物は土師質の小片が出土した。T2 で層厚 17cm を測るが遺物は出土しなかった。

【第 6 層】 T1 で層厚は 23cm を測る。色調は青灰色を呈し、土質は粗い砂である。遺物は須恵器片、土師質土器片 (回転糸切り皿 1 点を含む) が出土した。



第 50 図 和気公園トレンチ位置図・柱状土層図

調査の成果

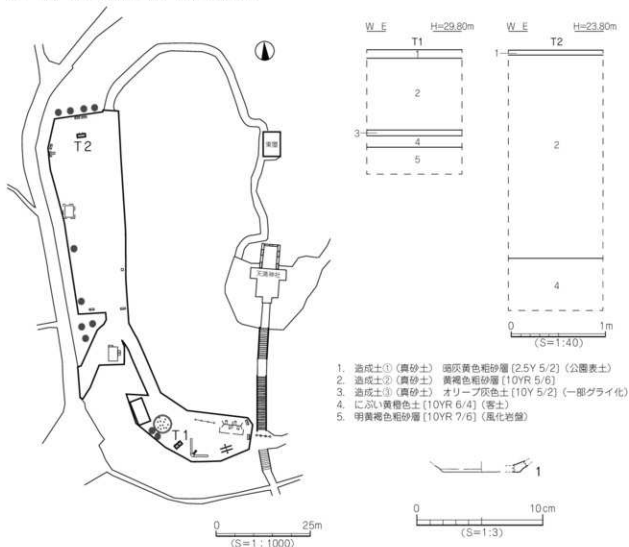
No.42 谷町公園（第51図、図版3）

調査日 平成21（2009）年11月16日（月）
 調査場所・面積 松山市谷町地内（1,800.00㎡）
 試掘調査立会人 松山市教育委員会 高尾 和長
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管（上下水道、雨水、電気等）の経路を確認後、トレンチ2本（T1・T2）を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容（土色・土質・含有物）の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、自然堆積層中からの遺構・遺物は検出されなかった。なお、第4層（客土）中から土師質土器の皿底部片、瓦片を採取した。

【遺物】1は土師器の皿。平底の底部片。



第51図 谷町公園トレンチ位置図・柱状土層図・出土遺物実測図

市有公園試掘調査

No.43 安城寺西公園（第52-53図、図版6）

調査日 平成21（2009）年11月27日（金）
 調査場所・面積 松山市安城寺町地内（1,400.00㎡）
 試掘調査立会人 安城寺西公園管理協力会 矢野 中 氏、外3名
 松山市教育委員会 高尾 和長
 試掘担当調査員 武正 良浩

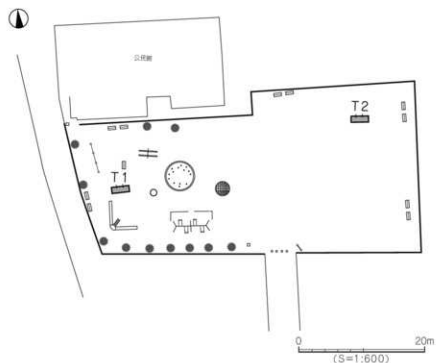
調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管（上下水道、雨水、電気等）の経路を確認後、トレンチ2本（T1・T2）を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容（土色・土質・含有物）の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、自然堆積層中（第6-10層）から遺物を検出した。また、T2の第9層上面にて柱穴（SP）8基を確認した。

【第6層】層厚は10～13cmを測る。色調は灰オリーブ色を呈し、土質は粘質である。遺物は土師器片が出土した。

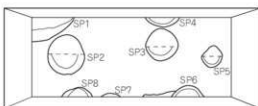
【第10層】層厚は22cmを測る。色調はにぶい黄橙色を呈し、土質は砂質である。遺物は土師器片が出土した。

【遺構】T2の第9層上面にて8基の柱穴を検出・確認した。柱穴の検出規模は径21cm～42cm、深さ37cm～31cmを測る。埋土はSP4が青灰色粘質土[5PB 5/1]で、それ以外は全て黒褐色粘質土[25Y 3/1]である。柱穴内からは土師器の小片が検出された。



第52図 安城寺西公園トレンチ位置図

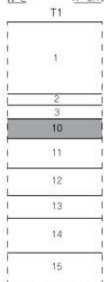
調査の成果



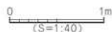
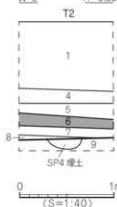
SP1～3、5～8. 黒褐色粘質土 [2.5Y 3/1]
 SP4. 青灰色粘質土 [5PB 5/1]



W_E H=5.10m



W_E H=5.00m



1. 造成土①(真砂土) 黄褐色粗砂層 [10YR 5/6]
2. 赤褐色粘質土 [5YR 4/6] (旧耕作土)
3. 墨灰色土 [2.5Y 5/2] (旧耕作土)
4. 墨青灰色粘質土 [5B 3/1] (旧耕作土)
5. 墨青灰色粘土 [5B 4/1] (旧耕作土)
6. 灰オリーブ色粘土 [7.5Y 5/2] (遺物包含層)
7. 緑灰色粘土 [10GY 5/1] (砂粒混)
8. 墨灰色粘土 [2.5Y 4/2]
9. 黄褐色粘土 [2.5Y 5/4] (地山)
10. にぶい黄褐色砂質土 [10YR 6/4] (遺物包含層)
11. 灰黄褐色粘質粗砂層 [10YR 6/2]
12. 灰褐色粘質土 [7.5YR 5/2]
13. 灰褐色砂層 [7.5YR 5/2]
14. 灰褐色粘土 [7.5YR 5/2] (粘性が強い)
15. 灰褐色粘質土 [7.5YR 5/2] (粘性を帯びる)

SP4. 青灰色粘質土 [5PB 5/1]

第 53 図 安城寺西公園 T2 遺構平面図・柱状土層図

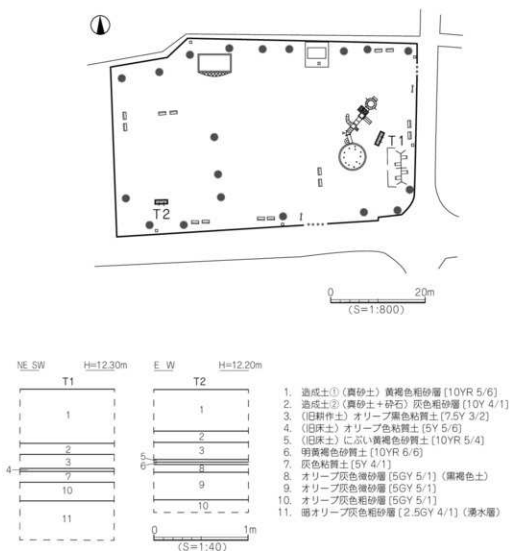
市有公園試掘調査

No.44 西長戸東公園 (第54図)

調査日 平成21(2009)年11月18日(水)
 調査場所・面積 松山市西長戸町151番地 他 (2,400.00㎡)
 試掘調査立会人 松山市教育委員会 高尾 和長
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ2本(T1・T2)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、自然堆積層中からの遺構・遺物は検出されなかった。



第54図 西長戸東公園トレンチ位置図・柱状土層図

No.45 吉藤公園 (第55・56・57図、図版3・4)

調査日	平成21(2009)年11月24日(火)	
調査場所・面積	松山市吉藤二丁目15番3 (800.00㎡)	
試掘調査立会人	吉藤公園管理協力会	中西 恒博 氏
	松山市教育委員会	高尾 和長
試掘担当調査員	武正 良浩	

調査概要

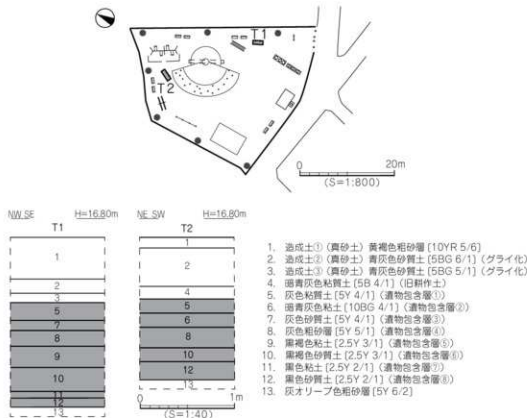
立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ2本(T1・T2)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、自然堆積層中(第5～12層)から遺物が出土した。遺構は検出されなかった。

【第5層】両トレンチで検出し、層厚は14～18cmを測る。色調は灰色、土質は粘質を呈する。遺物は土師器片、須恵器片が出土した。

【第6層】T2で検出され、層厚は15cmを測る。色調は暗青灰色、土質は粘土である。遺物は土師器片が出土した。

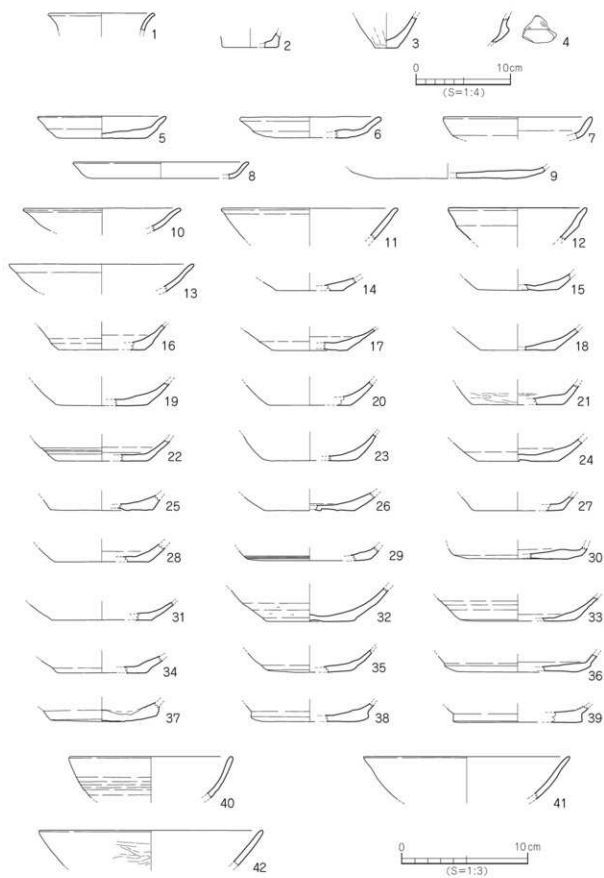
【第7層】T1で検出し、層厚は11cmを測る。色調は灰色、土質は砂質を呈する。遺物は土師器片が出土した。

【第8層】両トレンチで検出し、層厚は17～22cmを測る。色調は灰色、土質は粗砂層である。遺物



第55図 吉藤公園トレンチ位置図・柱状土層図

市有公園試掘調査



第 56 図 吉藤公園出土遺物実測図 (1)

は土師器片、須恵器片、緑釉陶器片が出土した。

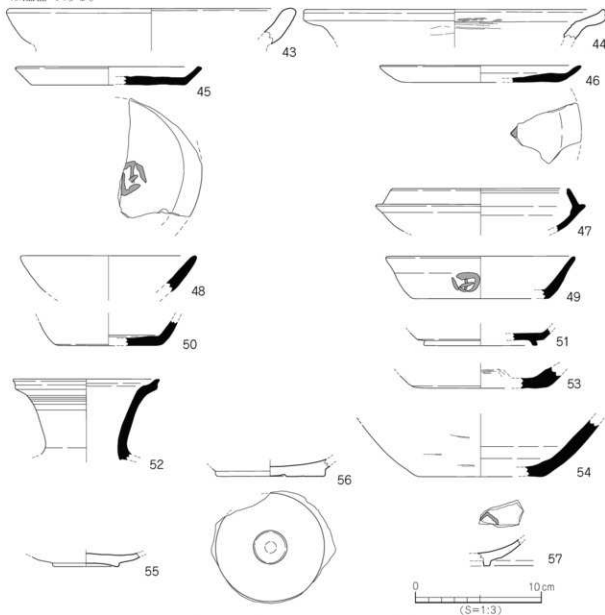
【第9層】 T1で検出され、層厚は22cmを測る。色調は黒褐色を呈し、土質は強い粘性を帯びる。遺物は土師器片、須恵器片、灰釉陶器片が出土した。

【第10層】 両トレンチで検出し、層厚は14～26cmを測る。色調は黒褐色を呈し、土質は砂質である。遺物は土師器片、須恵器片が出土した。

【第11層】 T1で検出し、層厚は7cmを測る。色調は黒色を呈し、土質は強い粘性を帯びる。遺物は土師器片、須恵器片が出土した。

【第12層】 両トレンチで検出し、層厚は9～19cmを測る。色調は黒色を呈し、土質は砂質である。遺物は弥生土器片、土師器片、須恵器片が出土した。

【遺物】 1～4は弥生土器。1～3は甕。4は高坏。5～44は土師器。5～9は皿。10～39は坏。40～42は碗。43は甕。44は鍋。45～54は須恵器。45・46・49は墨書土器。55・56は緑釉陶器。57は磁器である。



第57図 吉藤公園出土遺物実測図(2)

市有公園試掘調査

No.46 姫原西公園 (第58図、図版6)

調査日 平成21(2009)年11月25日(水)
 調査場所・面積 松山市姫原三丁目392番4 (1,200.00㎡)
 試掘調査立会人 姫原西公園管理協力会 河本 能樹 氏
 松山市教育委員会 高尾 和長
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

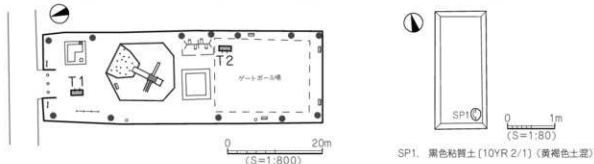
立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ2本(T1・T2)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、自然堆積層中(第6・9・10層)から遺物を検出した。また、T1の第11層上面にて柱穴(SP)1基を確認した。

【第6層】 層厚は21～22cmを測る。色調はオリーブ黄色を呈し、土質は粘質である。遺物は土師質土器片が出土した。

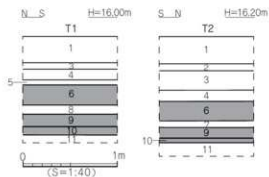
【第9層】 層厚は12～13cmを測る。色調は灰黄褐色を呈し、土質は強い粘性を帯びる。遺物は土師器片、土師質土器片が出土した。

【第10層】 層厚は5～9cmを測る。色調は褐色を呈し、土質は粘性を帯びる。遺物は土師器片、土師質土器片が出土した。

【遺構】 第11層上面にて検出・確認した。柱穴の検出規模は長さ25cm、幅20cm、深さ7.5cmを測る。埋土は黒色粘質土である。遺物は土師器或いは土師質土器と思われる極小の破片が検出された。



SP1. 黒色粘質土[10YR 2/1](黄褐色土混)



1. 造成土①(真砂土) 黄褐色粗砂層[10YR 5/6]
2. 造成土②(客土) 灰褐色粘質土[7.5YR 4/2]
3. 造成土③(真砂土) 暗緑灰色砂質土[10GY 4/1](グライ化)
4. 暗青灰色砂質土[5B 3/1](グライ化)
5. 緑灰色土[5G 5/1](グライ化)
6. オリーブ黄色粘質土[5Y 6/4](遺物包含層①)
7. 黄褐色粘質土[2.5 Y5/6]
8. 緑灰色粗砂層[7.5GY 5/1]
9. 灰黄褐色粘土[10YR 4/2](遺物包含層②)
10. 褐色粘土[7.5YR 4/1](灰色粘土混、遺物包含層③)
11. 明褐色粘土[7.5YR 5/6](灰色粘土混)

第58図 姫原西公園トレンチ位置図・T1 遺構平面図・柱状土層図

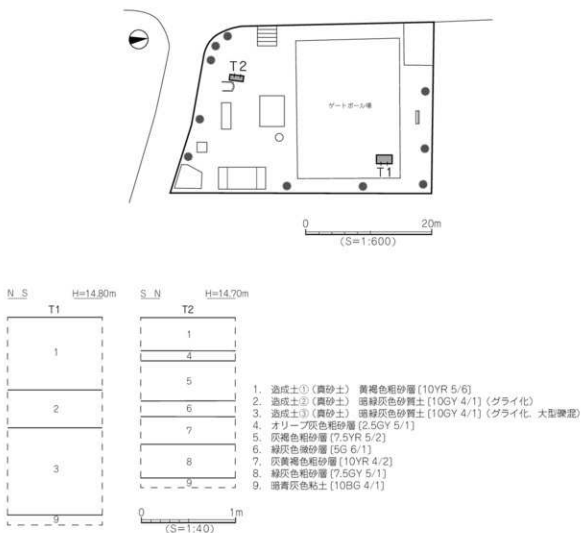
調査の成果

No.47 太郎丸公園 (第59図)

調査日	平成21(2009)年11月19日(木)
調査場所・面積	松山市間屋町地内 (1,000.00㎡)
試掘調査立会人	松山市教育委員会 高尾 和長
試掘担当調査員	武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ2本(T1・T2)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物は検出されなかった。



第59図 太郎丸公園トレンチ位置図・柱状土層図

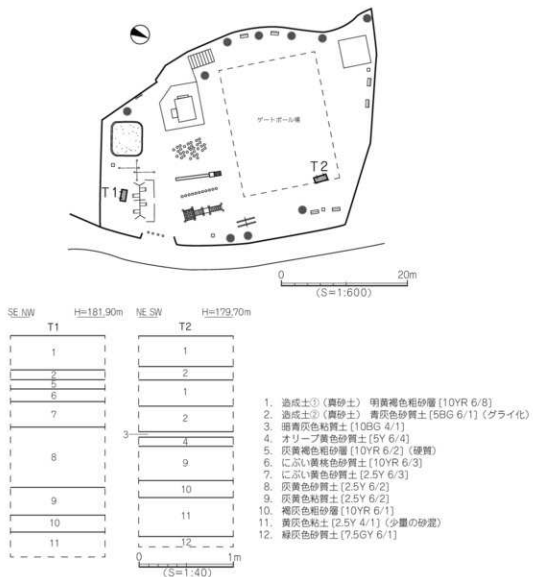
市有公園試掘調査

No.48 伊台本村公園 (第60図)

試掘日 平成21(2009)年11月30日(月)
 調査場所・面積 松山市上伊台町地内 (1,300.00㎡)
 試掘調査立会人 伊台本村公園管理協会の 中野 博 氏
 松山市教育委員会 高尾 和長
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ2本(T1・T2)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第60図 伊台本村公園トレンチ位置図・柱状土層図

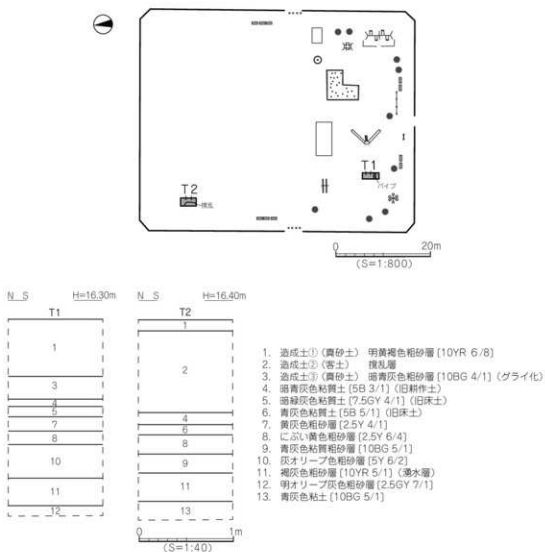
調査の成果

No.49 山越公園 (第61図)

調査日	平成21(2009)年11月26日(木)
調査場所・面積	松山市山越五丁目地内 (3,100.00㎡)
試掘調査立会人	松山市教育委員会 高尾 和長
試掘担当調査員	武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ2本(T1・T2)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物は検出されなかった。



第61図 山越公園トレンチ位置図・柱状土層図

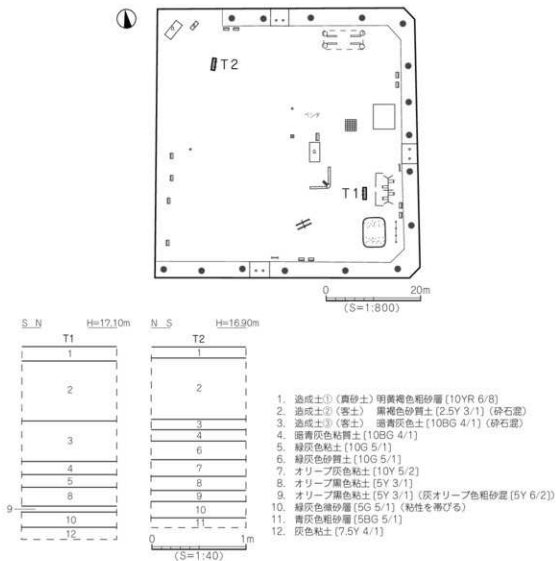
市有公園試掘調査

No 50 高崎公園 (第 62 図)

調査日 平成 21 (2009) 年 12 月 14 日 (月)
 調査場所・面積 松山市山越六丁目地内 (3,200.00m²)
 試掘調査立会人 高崎公園管理協会 平岡 征司 氏
 松山市教育委員会 高尾 和長
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ 2 本 (T1・T2) を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第 62 図 高崎公園トレンチ位置図・柱状土層図

調査の成果

№51 南味酒公園（第63図）

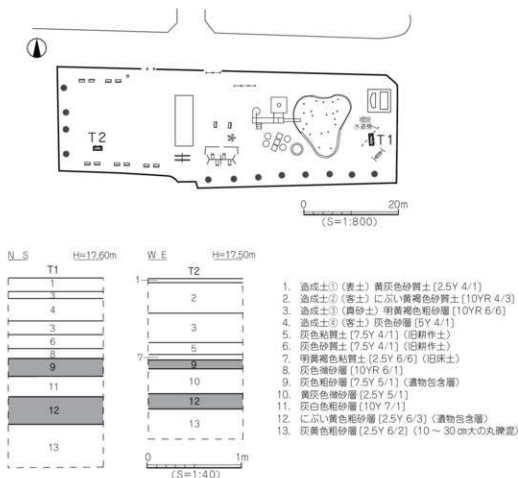
調査日	平成21（2009）年12月15日（火）
調査場所・面積	松山市味酒町一丁目11（1,700.00mf）
試掘調査立会人	南味酒公園管理協力会 藤田 保 氏
	松山市教育委員会 高尾 和長
試掘担当調査員	武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管（上下水道、雨水、電気等）の経路を確認後、トレンチ2本（T1・T2）を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容（土色・土質・含有物）の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、自然堆積層中（第9・12層）から少量の遺物が出土した。遺構は検出されなかった。

【第9層】層厚は9～19cmを測る。色調は灰色を呈し、土質は粗砂である。層中から土師器小片が出土した。

【第12層】層厚は16～29cmを測る。色調はにぶい黄色を呈し、土質は粗砂である。層中から土師器小片、瓦片が出土した。



第63図 南味酒公園トレンチ位置図・柱状土層図

No 52 萱町公園 (第 64 図、図版 4)

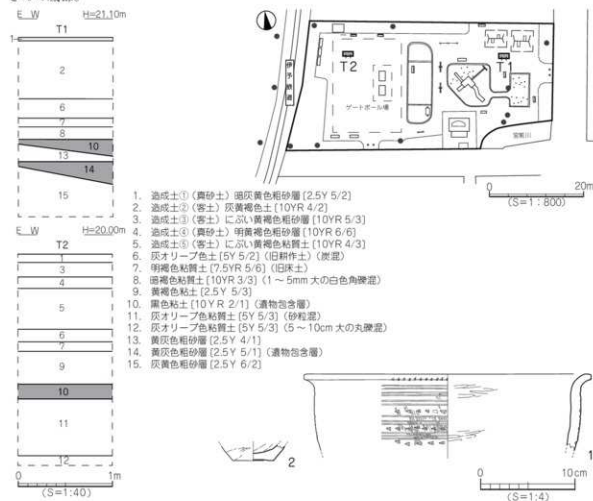
調査日	平成 21 (2009) 年 12 月 16 日 (水)
調査場所・面積	松山市萱町五丁目 10-1 (1,400.00m ²)
試掘調査立会人	松山市教育委員会 高尾 和長
試掘担当調査員	武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ 2 本 (T1・T2) を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、自然堆積層中(第 10・14 層)から少量の遺物が出土した。遺構は検出されなかった。**【第 10 層】**T1 においては斜行堆積状況を呈し、層厚は 5～18cm を測る。色調は黒色、土質は粘土である。層中から弥生土器片が出土した。

【第 14 層】斜行堆積状況を呈し、層厚は 6～24cm を測る。色調は黄灰色、土質は粗砂である。層中から弥生土器片が出土した。

【遺物】1・2 は弥生土器の甕。1 は折り曲げ口縁。外面に沈線文と刺突文を施す。2 は平底の小さな甕の底部。



第 64 図 萱町公園トレンチ位置図・柱状土層図・出土遺物実測図

調査の成果

№53 木屋町公園 (第65-66図、図版4)

調査日 平成21(2009)年12月17日(木)

調査場所・面積 松山市木屋町三丁目4-3 (1,100.00㎡)

試掘調査立会人 木屋町公園管理協会の 吉村 政夫 氏、外

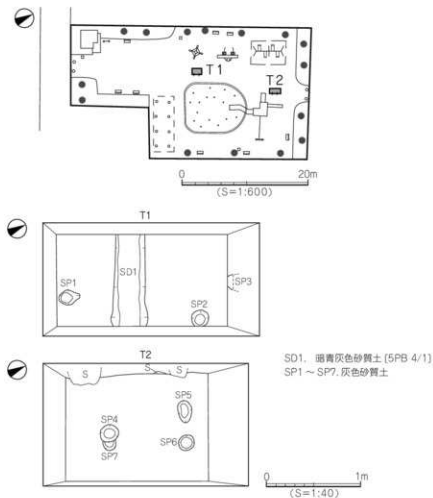
松山市教育委員会 高尾 和長

試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ2本(T1・T2)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、両トレンチから遺構・遺物が検出された。

【T1】第8層上面にて溝(SD1)1条、柱穴(SP1~3)3基を検出した。SD1の検出規模は、長さ98cm、幅39cm、深さ18cmを測る。埋土は暗青灰色砂質土で、土師質土器片を検出した。SP1は長さ23cm、幅16cm、深さ22cmを測る。埋土は灰色砂質土で、土師器片を検出した。SP2・3の埋土

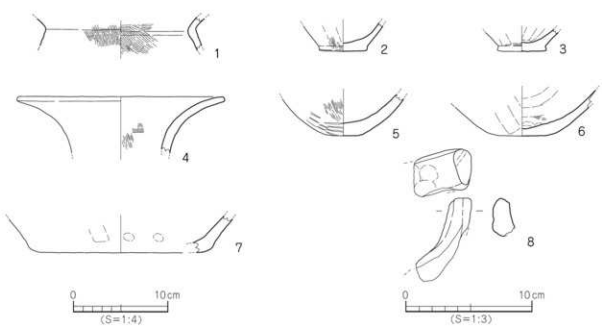
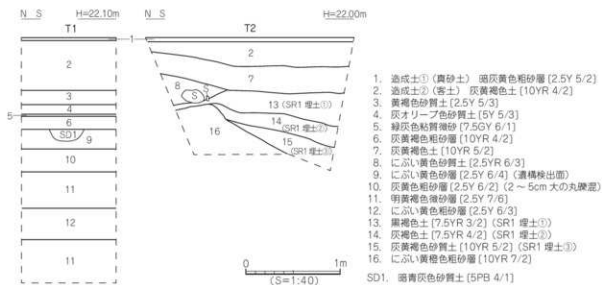


第65図 木屋町公園トレンチ位置図・遺構平面図

は共に灰褐色砂質土である。なおトレンチ北側を掘り下げ過ぎた為、SP3はトレンチ壁での検出である。

【T2】第13層（SR1埋土①）の上面にて柱穴（SP4～7）を検出した。検出規模は径13～18cm、深さ8～15cmを測る。SP7はSP4に先行し、両柱穴内から土師器片が出土した。なお、SP5・6から遺物は検出されなかった。SR1はトレンチの壁面観察より北東から南西方向へ流れていると思われ、3層の埋土を確認した。各層中からは弥生土器片が出土した。なお、トレンチ西壁で近世以降のものと思われる石組み（石列）を検出した。

【遺物】1～7は弥生土器。1～3は甕。1は口縁部、2・3は底部片。4～7は壺。4は口縁部、5～7は底部。8は土師器の支脚の角状突起部分。



第66図 木屋町公園柱状土層図・出土遺物実測図

調査の成果

№54 日分公園（第67-68図、図版5）

調査日 平成21（2009年12月21日）（月）

調査場所・面積 松山市山越一丁目531-1 （1,300.00㎡）

試掘調査立会人 日分公園管理協会の 岩田 忠克 氏の代理人（配偶者）

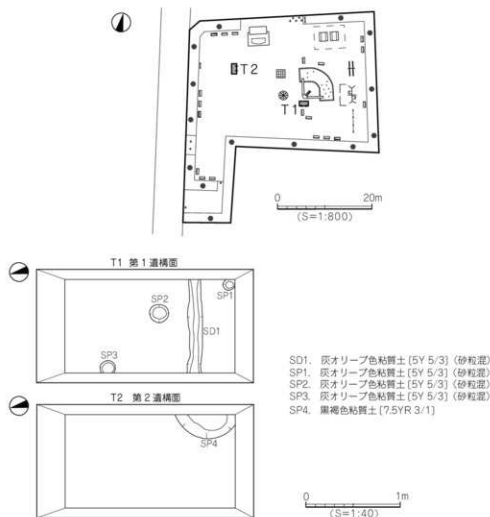
松山市教育委員会 高尾 和長

試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管（上下水道、雨水、電気等）の経路を確認後、トレンチ2本（T1・T2）を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容（土色・土質・含有物）の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、トレンチ内から遺構・遺物が検出された。

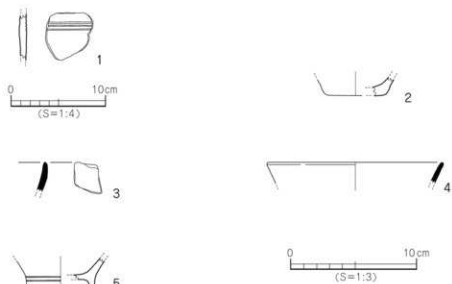
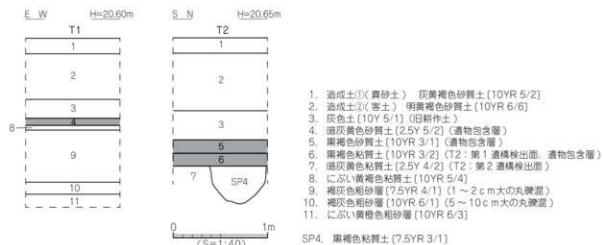
【T1】第4層は遺物包含層である。層厚8cmを測り、色調は暗灰黄色、土質は砂質を呈する。少量の土師器片、須恵器片、陶磁器片が検出された。何れも小片である。



第67図 日分公園トレンチ位置図・遺構平面図

【T2】2面（第6層上面、第7層上面）の遺構検出面を確認した。（第1遺構面）柱穴3基（SP1～3）、溝1条（SD1）を確認した。埋土は全て灰オリーブ色粘質土で少量の砂粒が混じる。柱穴の検出規模は径12～21cm、深さ2～7cmを測る。SP1内から土師質土器片、須恵器片が出土した。SD1の検出規模は長さ100cm、幅16cm、深さ5cmを測る。埋土中から土師器片、須恵器片が出土した。（第2遺構面）柱穴（SP4）を確認した。検出規模は長さ62cm、幅26cm、深さ40cmを測る。埋土は黒褐色粘質土を呈し、土師器片が出土した。

【遺物】1は弥生土器の甕胴部片、外面に沈線文を施す。2は土師器の皿。3・4は須恵器の坏身。5は磁器の瓶と思われる。



第 68 図 日分公園柱状土層図・出土遺物実測図

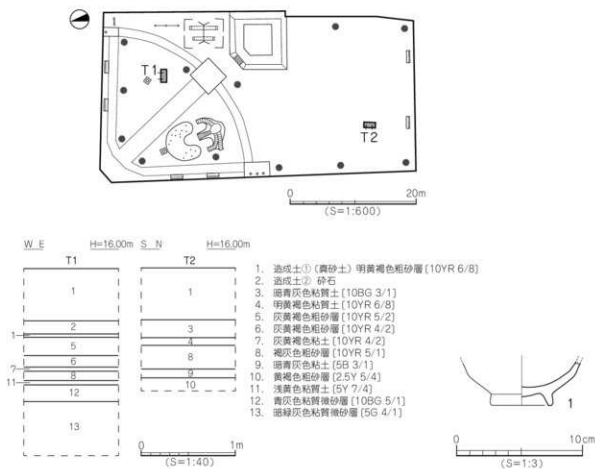
調査の成果

No.55 愛光公園（第69図、図版5）

調査日 平成21（2009）年12月22日（火）
 調査場所・面積 松山市愛光町395番1（1,400.00㎡）
 試掘調査立会人 松山市教育委員会 高尾 和長
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管（上下水道、雨水、電気等）の経路を確認後、トレンチ2本（T1・T2）を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容（土色・土質・含有物）の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構は検出されなかった。遺物は陶器の碗と T2 から土師質の土器片が1点出土した。**【遺物】**1は陶器の碗。焼成不良で軸が濁り表面は凸凹である。



第69図 愛光公園トレンチ位置図・柱状土層図・出土遺物実測図

No 56 新玉公園 (第70-71図、図版5)

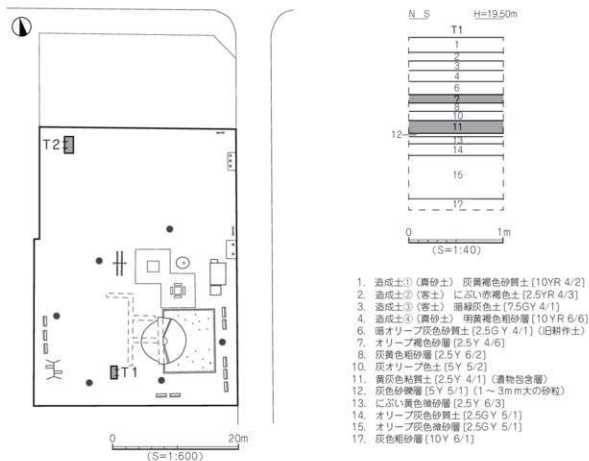
調査日 平成21(2009)年12月24日(木)
 調査場所・面積 松山市三番町六丁目4-21 他 (1,400.00㎡)
 試掘調査立会人 新玉公園管理協会 黒川 朝市 氏 外6名
 松山市教育委員会 高尾 和長
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ2本(T1・T2)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、トレンチ内から遺構・遺物が検出された。

[T1] 第11層は遺物包含層である。層厚14cmを測り、色調は黄灰色、土質は粘質を呈する。少量の土師器片、須恵器片、瓦質土器片が出土した。何れも小片である。

[T2] 2層の遺物包含層(第7層、第9層)と2基の土坑(SK1・2)を確認した。第7層:層厚13~26cmを測り、色調はオリーブ褐色、土質は砂質を呈する。土師器片、須恵器(中世)片、瓦質土



第70図 新玉公園トレンチ位置図・T1柱状土層図

調査の成果

器片、陶磁器片、瓦片が出土した。何れも小片である。第9層：層厚14～23cmを測り、色調は灰オリーブ色を呈する。土師器片、陶器片が出土した。何れも小片である。2基の土坑は第16層上面で検出した。

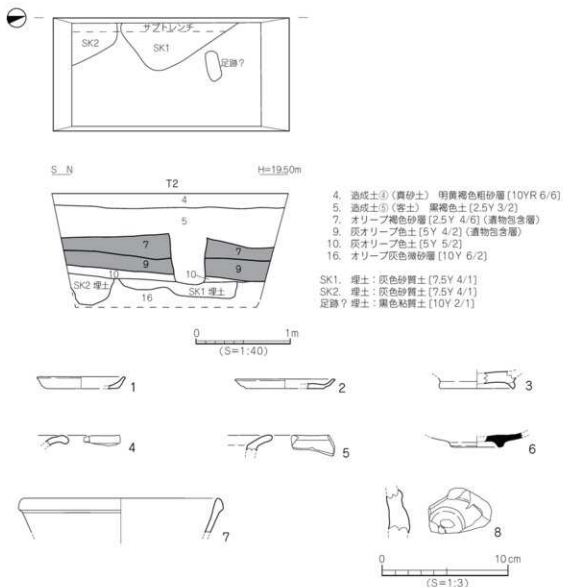
SK1：平面形は隅丸長方形を呈すると思われる、検出規模は長さ90cm、幅62cm、深さ17cmを測る。埋土は灰色砂質土である。遺物は土師器の小片が出土した。

SK2：平面形は隅丸方形或いは長方形を呈すると思われる。検出規模は長さ53cm、幅40cm、深さ31cmを測る。埋土はSK1と同じく灰色砂質土である。遺物は釘と思われる鉄製品が出土した。

【遺物】1～5は土師器。1・2は皿。2の底部に板状圧痕が残る。3は塊、「ハ」字状の低い高台を持つ。4・5は焙烙鍋である。6は須恵器の塊。7は白磁の碗。中国産。8は軒丸瓦。

※調査地は明治44（1911）年4月28日発行の松山市全図には、「市役所 松山武揚会」の記載がある。

※町内会の方から調査地には「以前、教育施設があった」とのご指示を受けた。



第71図 新玉公園 T2 遺構平面図・土層図・出土遺物実測図

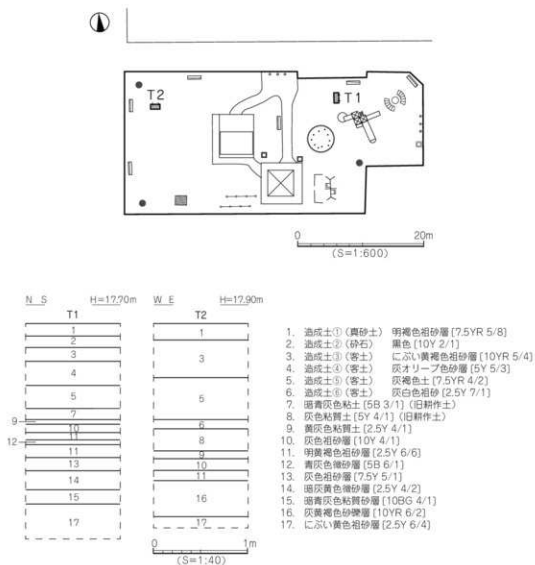
市有公園試掘調査

No 57 雄郡土橋公園 (第 72 図)

調査日 平成 22 (2010) 年 1 月 6 日 (水)
 調査場所・面積 松山市土橋 83 番地 2 外 (1,000.00㎡)
 試掘調査立会人 松山市教育委員会 高尾 和長
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ 2 本(T1・T2)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第 72 図 雄郡土橋公園トレンチ位置図・柱状土層図

調査の成果

№58 幸町公園（第73-74図、図版5）

調査日 平成22（2010）年1月7日（木）

調査場所・面積 松山市千舟町七丁目6-7（1,200.00㎡）

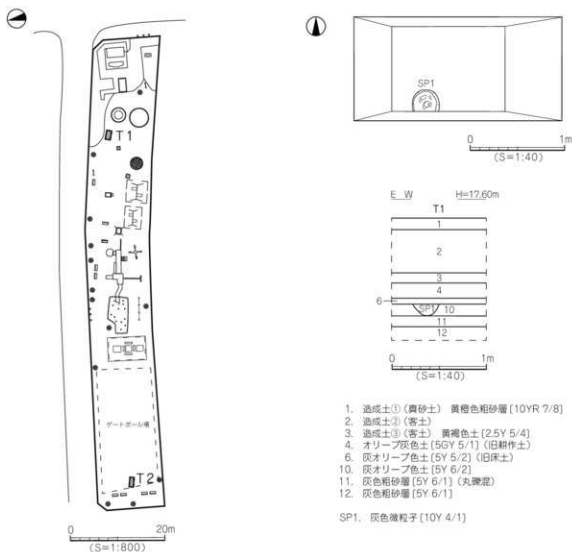
試掘調査立会人 松山市教育委員会 高尾 和長

試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管（上下水道、雨水、電気等）の経路を確認後、トレンチ2本（T1・T2）を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容（土色・土質・含有物）の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、トレンチ内から遺構・遺物が検出された。

【T1】第10層上面で柱穴（SP1）1基を検出した。検出規模は径28cm、深さ13cmを測る。埋土は灰色微粒土である。柱穴内では根詰め石を確認した。



第73図 幸町公園トレンチ位置図・T1遺構平面図・柱状土層図

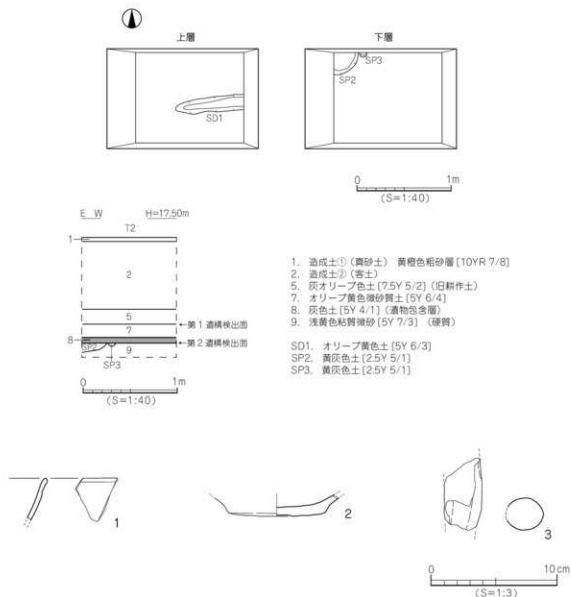
【T2】遺物包含層（第8層）と2面の遺構検出面を確認した。

第8層：層厚6cmを測り、色調は灰色を呈する。土師器片、須恵器片、瓦質土器片が出土した。三足土釜の脚部片、土師器坏の底部片等が含まれる。

第7層上面：溝（SD1）1条を検出した。検出規模は長さ73cm、幅17cm、深さ10cmを測る。埋土はオリーブ黄色土である。

第9層上面：柱穴（SP2・3）2基を検出した。SP2の検出規模は径25cm、深さ10cmを測る。埋土は黄灰色土で、土師器の小片が出土した。SP3の検出規模は径9cm、深さ4cmを測る。埋土は黄灰色土で、土師器の小片が出土した。

【遺物】1～3は土師器。1は壺の口縁部。2は坏の底部。3は三足釜の脚部。



第74図 幸町公園 T2遺構平面図・柱状土層図・出土遺物実測図

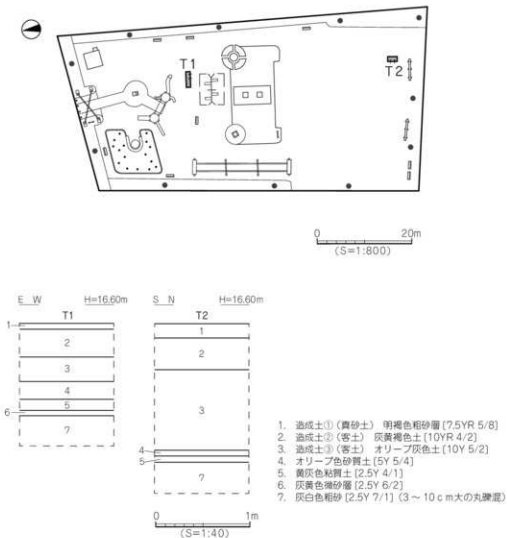
調査の成果

№59 小栗公園（第75図）

調査日 平成22（2010）年1月12日（火）
 調査場所・面積 松山市小栗六丁目地内（2,500.00㎡）
 試掘調査立会人 松山市教育委員会 高尾 和長
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管（上下水道、雨水、電気等）の経路を確認後、トレンチ2本（T1・T2）を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容（土色・土質・含有物）の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第75図 小栗公園トレンチ位置図・柱状土層図

市有公園試掘調査

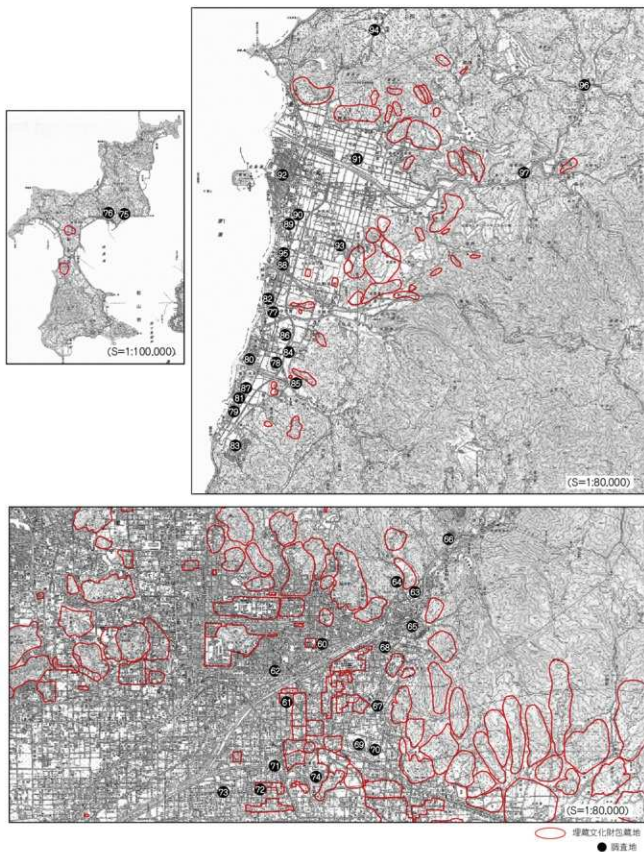
(5) 平成 22 年度の調査 (第 76 図)

平成 20 年度は、道後・素霧・桑原・湯山地区、石井北地区、河野・栗井・興居島地区、難波・北条・正岡地区、浅海・立岩地区の 38 件の調査を行った。調査期間は平成 22 年 8 月 18 日から平成 23 年 2 月 23 日の間で行った。調査の結果、遺構を確認できたのは 1ヶ所、遺物の出土が 13ヶ所である。公園ごとに報告を行う。

表 6 平成 22 年度市有公園調査一覧表

地図 №	公園名称	地区 番号	所在地	遺構 の有無	遺物 の有無	面積 (㎡)	調査日
60	クレアガーデン公園	9	持田町一丁目 155-8	×	○	102.30	H22.9.2 (木)
61	中村公園	10	中村三丁目 7-26	×	×	630.14	H22.9.14 (火)
62	八坂公園	9	三番町一丁目 3-3	×	×	1,413.91	H22.8.18 (水)
63	神前公園	9	溝辺町甲 437-4	×	×	2,309.96	H22.8.19 (木)
64	溝辺公園	9	溝辺町甲 721-2	×	×	1,848.54	H22.8.20 (金)
65	八白公園	9	溝辺町 711	×	×	3,114.42	H22.8.26 (木)
66	湯山公園	9	食場町甲 316 番 4 他	×	×	1,691.97	H22.8.27 (金)
67	畑寺公園	10	畑寺一丁目 508 番 1 他	×	○	1,912.40	H22.9.1 (水)
68	ひがしの北公園	10	東野三丁目甲 278 番 1 他	×	○	1,920.52	H22.9.3 (金)
69	三福公園	10	三町三丁目 169 番 30 外	×	×	326.70	H22.9.15 (水)
70	三町三角公園	10	三町三丁目 85 番 2	○	×	273.76	H22.9.15 (水)
71	天山公園	11	天山町 130-2 他	×	○	1,400.05	H22.9.16 (木)
72	西石井公園	11	西石井町 325-1	×	○	2,487.10	H22.9.17 (金)
73	北古川公園	11	古川北一丁目 135-1	×	○	1,565.53	H22.9.22 (水)
74	星岡団地第 2 公園	11	星岡町 560 番 41	×	○	257.07	H22.9.24 (金)
75	門田公園	12	門田町 290 番 2	×	×	2,548.90	H23.1.5 (水)
76	由良公園	12	由良町 1032 番 3	×	×	1,605.75	H23.1.7 (金)
77	ありのきニュータウン緑地	13	河野中須賀 221 番 18	×	○	102.00	H22.12.8 (水)
78	泉団地公園	13	鹿峰 136 番 2	×	×	128.00	H22.12.15 (水)
79	小川実緑地	13	小川甲 110 番 15	×	×	227.00	H22.12.9 (木)
80	久保公園	13	久保 399 番地 1	×	×	1,954.00	H22.11.29 (月)
81	グリーンハイツ緑地	13	磯河内甲 88 番 50	×	×	289.65	H22.12.9 (木)
82	河野公園	13	片山甲 228 番 3	×	×	2,484.00	H22.12.8 (水)
83	光洋台緑地 (B)	13	光洋台 7 番 58	×	×	2,790.00	H22.12.24 (金)
84	高繩緑地	13	菟木甲 175 番 23	×	×	325.00	H22.12.16 (木)
85	常竹みんなの公園	13	常竹甲 126 番 4	×	○	330.00	H22.12.15 (水)
86	夏目団地緑地	13	夏目甲 24 番 2	×	○	589.00	H22.11.30 (火)
87	和田ニュータウン緑地	13	和田甲 200 番 9	×	×	230.00	H22.12.16 (木)
88	明日の公園	13	府中 516 番	×	×	298.72	H23.1.11 (火)
89	新開公園	14	北条 961 番 1	×	×	1,974.00	H23.1.13 (火)
90	新開緑地	14	北条 637 番 27	×	×	120.00	H23.1.18 (火)
91	中通みんなの広場公園	14	中通甲 303-1 外 5 筆	×	○	1,302.00	H23.1.20 (木)
92	東町浦公園	14	北条 1443 番外 2 筆	×	×	2,659.19	H23.1.21 (金)
93	正岡松尾公園	14	中西外 686 番 1	×	×	2,289.00	H23.1.26 (水)
94	味栗公園	15	浅海原甲 279-1 外 3 筆	×	×	1,739.00	H23.1.27 (木)
95	柳原末広第一公園	15	柳原 901 番地	×	×	2,250.00	H23.2.7 (月)
96	小山田公園	15	小山田甲 331-1 外 1 筆	×	○	1,044.00	H23.2.22 (火)
97	尾儀原公園	15	尾儀原甲 49-3 外 1 筆	×	○	671.00	H23.2.23 (水)

調査の成果



第76図 平成22年度市有公園調査位置図

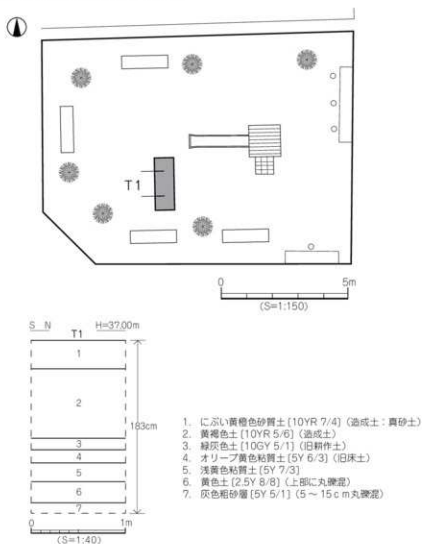
市有公園試掘調査

No 60 クレアガーデン公園 (第77図)

調査日 平成22(2010)年9月2日(木)
 調査場所・面積 松山市持田町一丁目155番8 (102.30㎡)
 試掘調査立会人 クレアガーデン(マンション)管理人 友澤 順二氏
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ1本(T1)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、第5・6層から弥生土器小片及び土師器小片が出土した。遺構は検出されなかった。弥生土器片は内外面に共に摩耗が著しく、器種・帰属時期等不明である。第5層から出土した土師器は皿の底部片で底面に糸切り痕を看取した。



第77図 クレアガーデン公園トレンチ位置図・柱状土層図

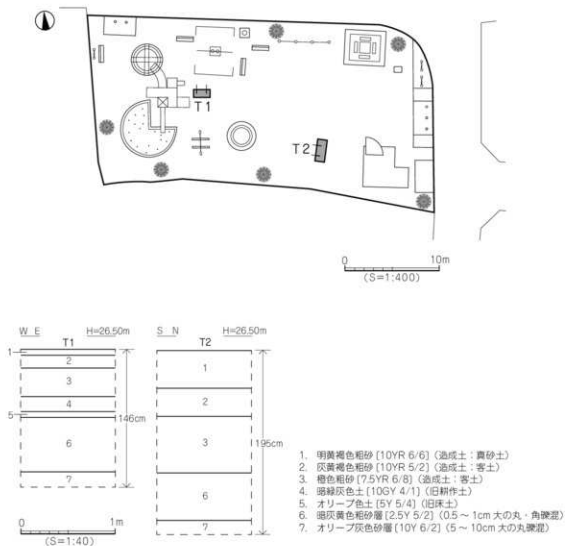
調査の成果

No 61 中村公園（第78図）

調査日 平成22（2010）年9月14日（火）
 調査場所・面積 松山市中村三丁目7番26（630.14㎡）
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

調査地の境界、埋設管（上下水道、雨水、電気等）の経路を確認後、トレンチ2本（T1・T2）を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容（土色・土質・含有物）の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第78図 中村公園トレンチ位置図・柱状土層図

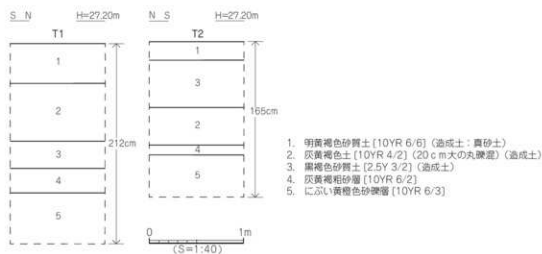
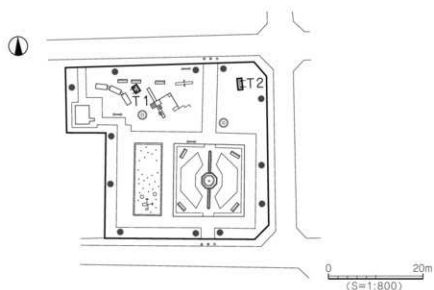
市有公園試掘調査

No 62 八坂公園 (第 79 図)

調査日 平成 22 (2010) 年 8 月 18 日 (水)
 調査場所・面積 松山市三番町一丁目 3 番 3 (1,413.91mf)
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ 2 本 (T1・T2) を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第 79 図 八坂公園トレンチ位置図・柱状土層図

調査の成果

No.63 神前公園 (第80図)

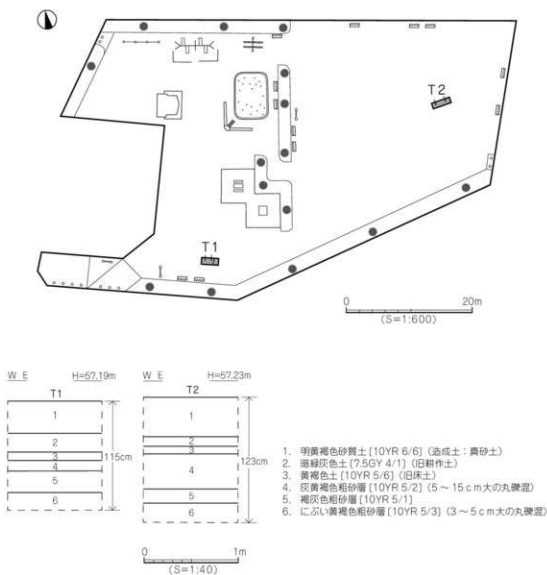
調査日 平成22(2010)年8月19日(木)

調査場所・面積 松山市溝辺町甲437番4 (2,309.96㎡)

試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ2本(T1・T2)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第80図 神前公園トレンチ位置図・柱状土層図

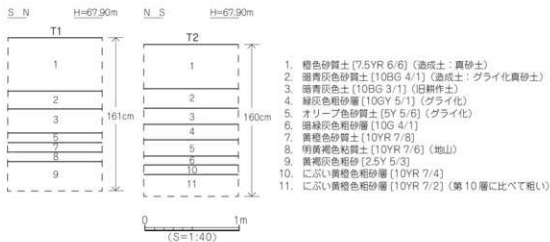
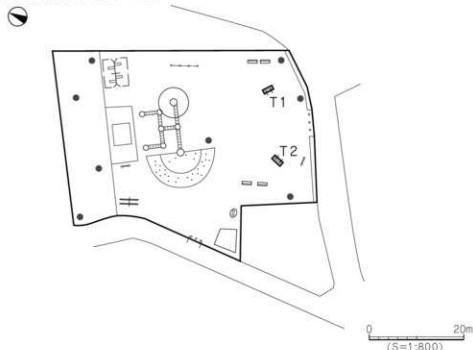
市有公園試掘調査

No 64 溝辺公園 (第 81 図)

調査日 平成 22 (2010) 年 8 月 20 日 (金)
 調査場所・面積 松山市溝辺町甲 721 番 2 (1,848.54㎡)
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ 2 本 (T1・T2) を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第 81 図 溝辺公園トレンチ位置図・柱状土層図

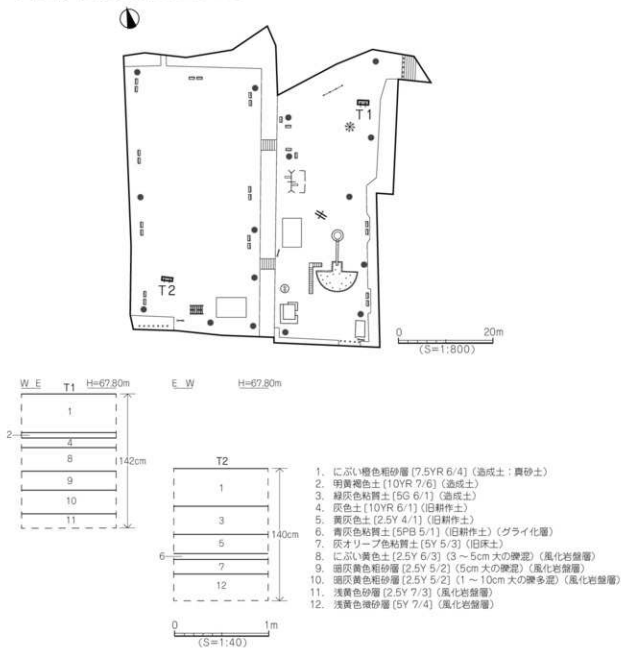
調査の成果

№65 八白公園（第82図）

調査日 平成22（2010）年8月26日（木）
 調査場所・面積 松山市溝辺町711番（3,114.42㎡）
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

調査地の境界、埋設管（上下水道、雨水、電気等）の経路を確認後、トレンチ2本（T1・T2）を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容（土色・土質・含有物）の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第82図 八白公園トレンチ位置図・柱状土層図

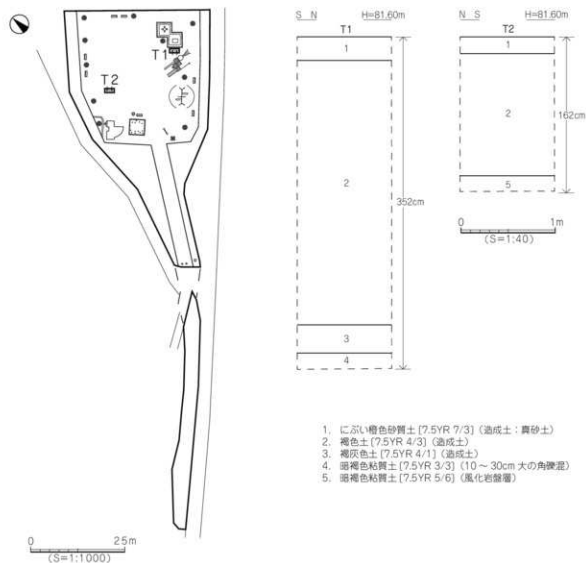
市有公園試掘調査

No 66 湯山公園 (第 83 図)

調査日 平成 22 (2010) 年 8 月 27 日 (金)
 調査場所・面積 松山市食場町甲 316 番 4 他 (1691.97㎡)
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ 2 本 (T1・T2) を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



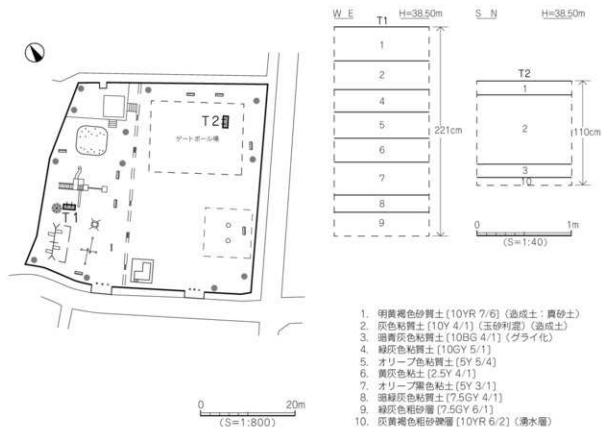
第 83 図 湯山公園トレンチ位置図・柱状土層図

No.67 畑寺公園（第84図）

調査日 平成22(2010)年9月1日(水)
 調査場所・面積 松山市畑寺一丁目508番1 他 (1,912.40㎡)
 協力者 畑寺公園管理協会会長 戒田 平人 氏
 試掘担当調査員 武正 良治

調査概要

調査地の境界、埋設管（上下水道、雨水、電気等）の経路を確認後、トレンチ2本（T1・T2）を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容（土色・土質・含有物）の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、T1（第7層）から土師器片、陶磁器片が出土した。遺構は検出されなかった。陶磁器片は高台付碗の底部片で内外面共に軸が施される。外面に1条の圈線が見られる。土師器小片は器面が荒れ、端角は丸みを帯びる。



第84図 畑寺公園トレンチ位置図・柱状土層図

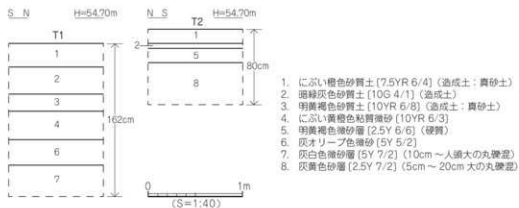
市有公園試掘調査

No 68 ひがしの北公園 (第 85 図)

調査日 平成 22 (2010) 年 9 月 3 日 (金)
 調査場所・面積 松山市東野三丁目甲 278 番 1 他 (1920.52mf)
 試掘調査立会人 新藤 雅徳 氏
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ 2 本 (T1・T2) を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、T1 (第 6 層) から弥生土器小片が出土した。遺構は検出されなかった。弥生土器片は内外面共に摩耗が著しく、器種、帰属時期等不明である。胎土に混和剤である石英が多く混じる。



第 85 図 ひがしの北公園トレンチ位置図・柱状土層図

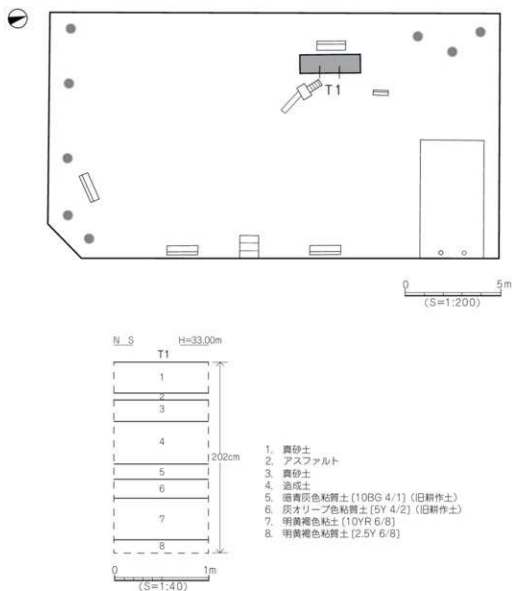
調査の成果

No 69 三福公園 (第 86 図)

調 査 日 平成 22 (2010) 年 9 月 15 日 (水)
 調 査 場 所 ・ 面 積 松山市三町三丁目 169 番 30 外 (326.70㎡)
 試 掘 担 当 調 査 員 武正 良浩

調 査 概 要

調査地の境界、埋設管（上下水道、雨水、電気等）の経路を確認後、トレンチ 1 本（T1）を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容（土色・土質・含有物）の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第 86 図 三福公園トレンチ位置図・柱状土層図

市有公園試掘調査

No.70 三町三角公園 (第87図、図版6)

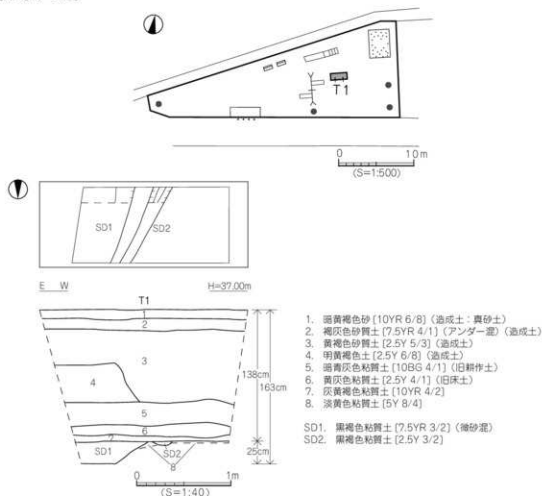
調査日 平成22(2010)年9月15日(水)
 調査場所・面積 松山市三町三丁目85番2 (237.76㎡)
 試掘調査立会人 松山市教育委員会 吉岡 和哉
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ1本(T1)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、2条の溝を検出した。遺物は検出されなかった。

[SD1] 検出規模は長さ82cmを測り、幅及び深さはトレンチ南壁面の観察から幅77cm、深さ24cmを測る。埋土は黒褐色粘質土で微砂が混じる。遺物は検出されなかった。

[SD2] 検出規模は長さ86cm、幅21cm、深さ4cmを測る。埋土は黒褐色粘質土である。遺物は検出されなかった。



第87図 三町三角公園トレンチ位置図・遺構平面図・土層図

調査の成果

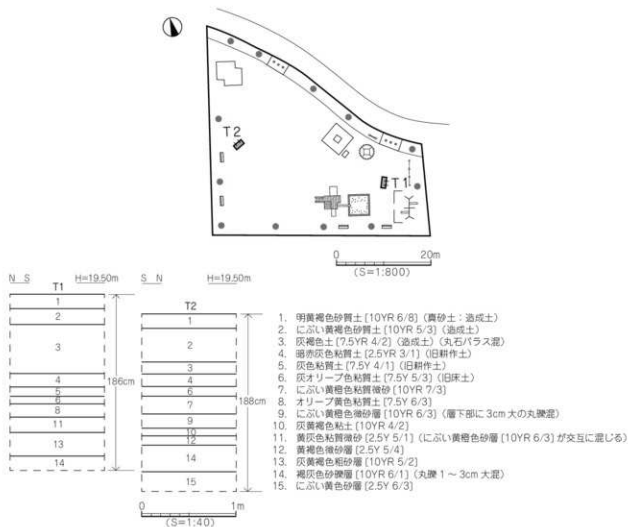
No.71 天山公園 (第88図)

調査日 平成22(2010)年9月16日(木)
 調査場所・面積 松山市天山町130番2 他 (1,400.05㎡)
 協力者 天山公園管理協会会長 越智 捷行 氏
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ2本(T1・T2)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、第2トレンチ(T2)で検出された第10層中から土師器の細片1点が出土した。遺構は検出されなかった。

【第10層】 色調が灰黄褐色を呈する粘土である。層厚は約16cmを測る。出土した土師器細片は皿が坏の体部片と考えられる。色調はにぶい燈色を呈する。



第88図 天山公園トレンチ位置図・柱状土層図

市有公園試掘調査

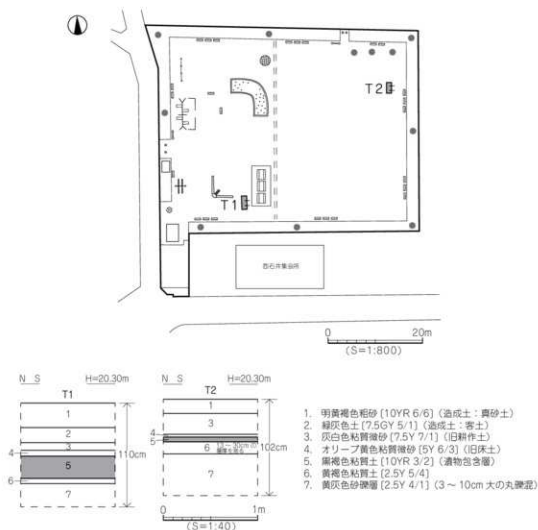
No.72 西石井公園 (第89図)

調査日 平成22(2010)年9月17日(金)
 調査場所・面積 松山市西石井町325番1他 (2471.50㎡)
 協力者 西石井公園管理協力会会長 白石 公明 氏
 試掘調査立会人 松山市教育委員会 楠 寛輝
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ2本(T1・T2)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、第5層中から遺物が出土した。遺構は検出されなかった。

【第5層】層厚はT1で約36cm、T2で約5cmを測る。色調は黒褐色を呈し、土質は粘質である。遺物は弥生土器、土師器、須恵器の小片とサヌカイトの剥片1点(T2内)が出土した。



第89図 西石井公園トレンチ位置図・柱状土層図

調査の成果

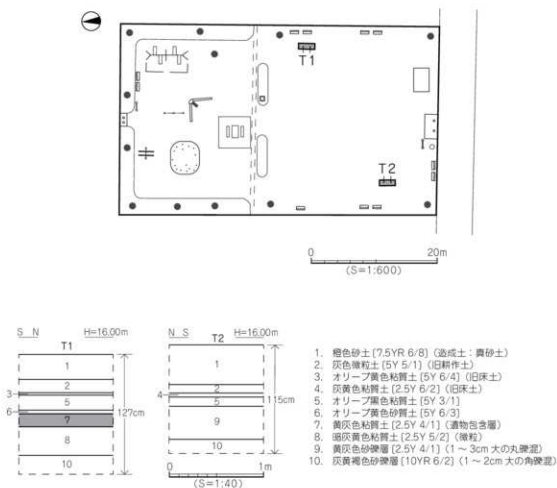
№73 北古川公園 (第90図)

調査日 平成22(2010)年9月22日(水)
 調査場所・面積 松山市古川北一丁目地内 (1,565.53㎡)
 協力者 北古川公園管理協会会長 辻泰 太郎 氏
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ2本(T1・T2)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、第7層(T1)から遺物が出土した。遺構は検出されなかった。

【第7層】T1のみで検出され、層厚は約28cmを測る。色調は黄灰色、土質は粘質である。出土した遺物は弥生土器の小片である。器面は摩耗が著しい。



第90図 北古川公園トレンチ位置図・柱状土層図

No.74 星岡団地第2公園 (第91図)

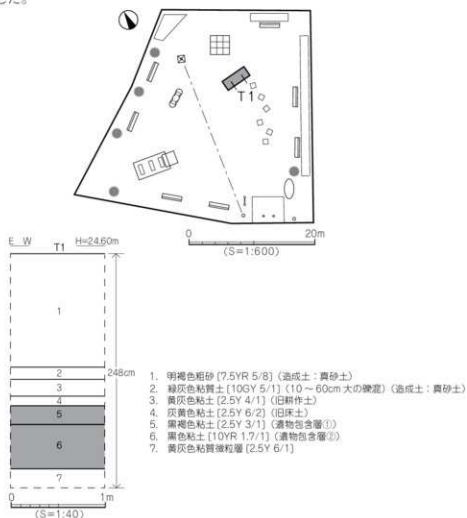
調査日 平成22(2010)年9月24日(金)
 調査場所・面積 松山市星岡町560番41 (257.07㎡)
 協力者 星岡団地第2公園管理協会会長 池田 秀雄 氏
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ1本(T1)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、包含層を2層に分層した。なお、遺物の取り上げは一括で、行った。本調査において遺構は検出されなかった。

【第5層】層厚は約20cmを測る。色調は黒褐色を呈し、土質は強い粘性を帯びる。

【第6層】層厚は約47cmを測る。色調は黒色を呈し、土質は強い粘性を帯びる。遺物の多くは本層から出土した。



第91図 星岡団地第2公園トレンチ位置図・柱状土層図

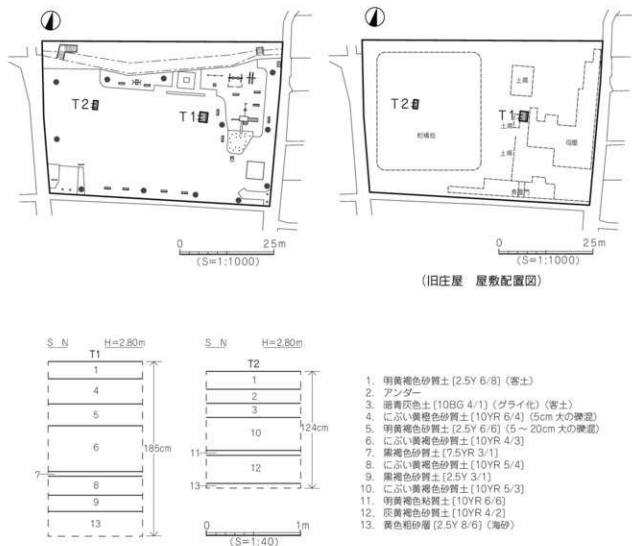
調査の成果

No.75 門田公園 (第92図)

調査日 平成23(2011)年1月5日(水)
 調査場所・面積 松山市門田町290番2 (2,548.90㎡)
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ2本(T1・T2)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第92図 門田公園トレンチ位置図・柱状土層図

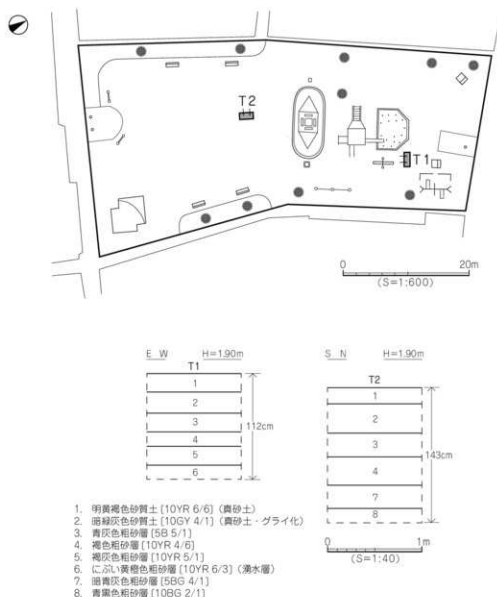
市有公園試掘調査

No 76 由良公園 (第 93 図)

調査日 平成 23 (2011) 年 1 月 7 日 (金)
 調査場所・面積 松山市由良町 1032 番 3 (1,605.75㎡)
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ 2 本 (T1・T2) を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第 93 図 由良公園トレンチ位置図・柱状土層図

調査の成果

№77 ありのきニュータウン緑地 (第94図)

調査日 平成22(2010)年12月8日(水)

調査場所・面積 松山市河野中須賀221番18 (102.00)㎡

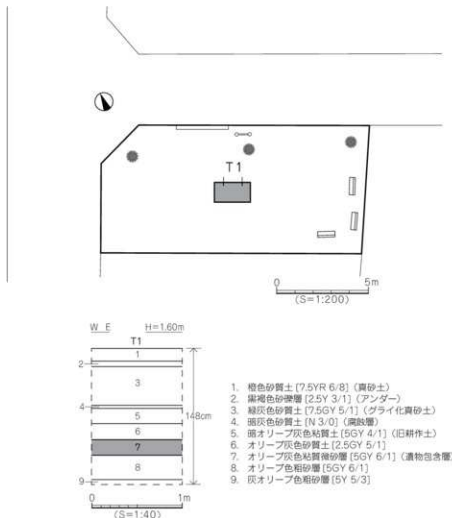
協力者 ありのきニュータウン緑地管理協会会長 山口 純一 氏

試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ1本(T1)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、第7層中から遺物が出土した。遺構は検出されなかった。

【第7層】 層厚は約17cmを測る。色調はオリーブ灰色を呈し、土質はやや粘質を帯びる微砂層である。出土した遺物は土師器小片で、1点は焙烙鍋、或いは土鍋の口縁部と考えられる。



第94図 ありのきニュータウン緑地トレンチ位置図・柱状土層図

市有公園試掘調査

No 78 泉団地公園 (第95図)

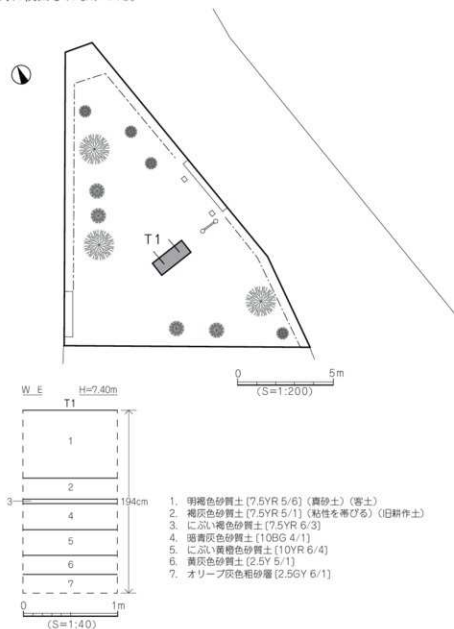
調査日 平成22(2010)年12月15日(水)

調査場所・面積 松山市鹿峰136番2 (128.00㎡)

試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ1本(T1)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第95図 泉団地公園トレンチ位置図・柱状土層図

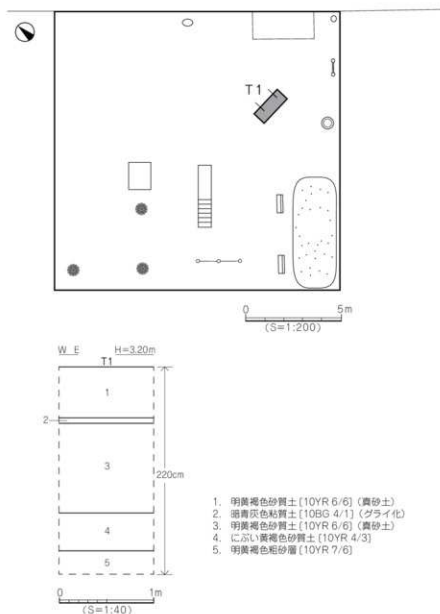
調査の成果

№79 小川実緑地 (第96図)

調査日 平成22(2010)年12月9日(木)
 調査場所・面積 松山市小川甲110番15 (227.00㎡)
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ1本(T1)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第96図 小川実緑地トレンチ位置図・柱状土層図

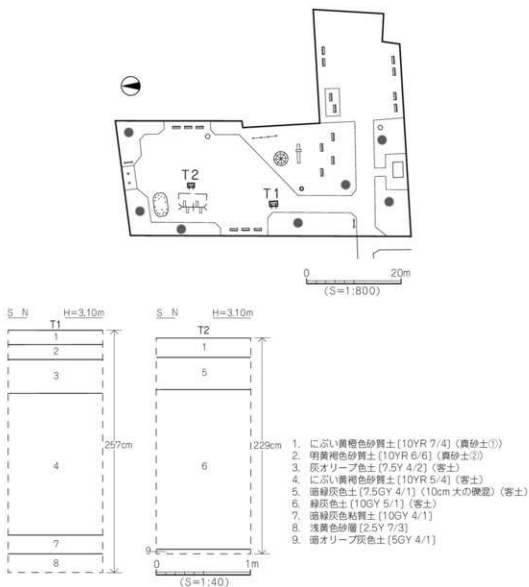
市有公園試掘調査

No 80 久保公園 (第 97 図)

調査日 平成 22 (2010) 年 11 月 29 日 (月)
 調査場所・面積 松山市久保 339 番地 1 (1,954.00㎡)
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ 2 本 (T1・T2) を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第 97 図 久保公園トレンチ位置図・柱状土層図

調査の成果

№81 グリーンハイツ緑地 (第98図)

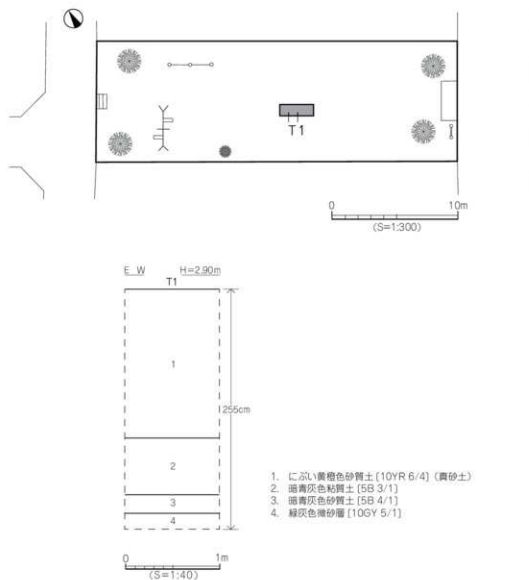
調査日 平成22(2010)年12月9日(木)

調査場所・面積 松山市磯河内甲88番50 (289.65㎡)

試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ1本(T1)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第98図 グリーンハイツ緑地トレンチ位置図・柱状土層図

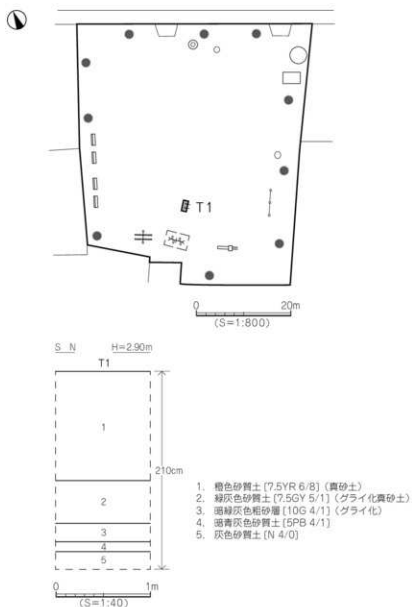
市有公園試掘調査

No 82 河野公園 (第 99 図)

調査日 平成 22 (2010) 年 12 月 8 日 (水)
 調査場所・面積 松山市片山甲 228 番 3 (2,484.00㎡)
 試掘担当調査員 武正 良治

調査概要

調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ 1 本 (T1) を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第 99 図 河野公園トレンチ位置図・柱状土層図

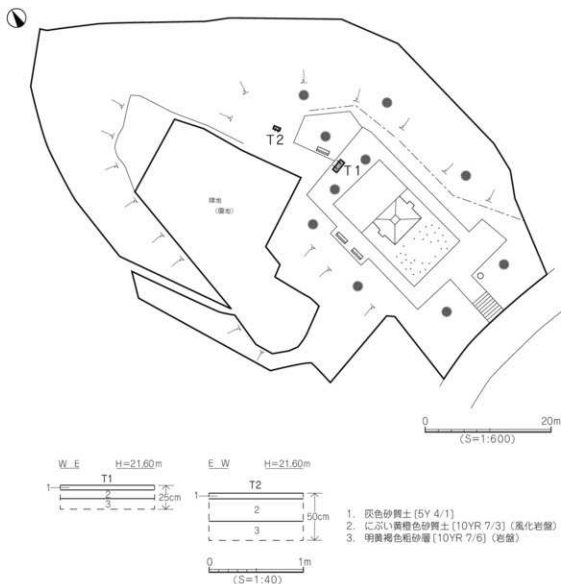
調査の成果

No 83 光洋台緑地 (B) (第 100 図)

調査日 平成 22 (2010) 年 12 月 24 日 (金)
 調査場所・面積 松山市光洋台 7 番 58 (2,790.00㎡)
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ 2 本 (T1・T2) を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第 100 図 光洋台緑地 (B) トレンチ位置図・柱状土層図

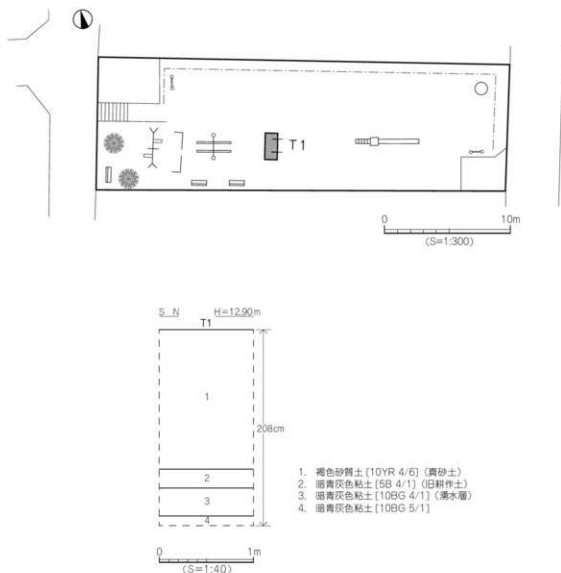
市有公園試掘調査

No 84 高縄緑地 (第 101 図)

調査日 平成 22 (2010) 年 12 月 16 日 (木)
 調査場所・面積 松山市菟木 175 番 23 (325.00㎡)
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ 1 本 (T1) を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第 101 図 高縄緑地トレンチ位置図・柱状土層図

調査の成果

№85 常竹みんなの公園 (第102図)

調査日 平成22(2010)年12月15日(水)

調査場所・面積 松山市常竹甲126番4 (330.00m²)

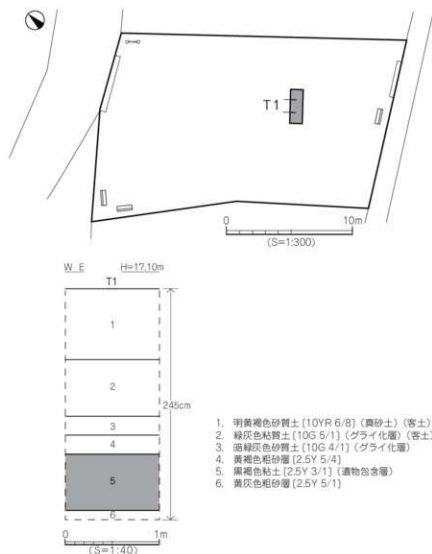
協力者 常竹みんなの公園管理協力会会長 玉井 義夫 氏

試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ1本(T1)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、第5層中から遺物が出土した。遺構は検出されなかった。

【第5層】層厚は約60cmを測る。色調は黒褐色を呈し、土質は粘性がやや強い粘土である。出土した遺物は弥生土器の胴部片と考えられる小片である。



第102図 常竹みんなの公園トレンチ位置図・柱状土層図

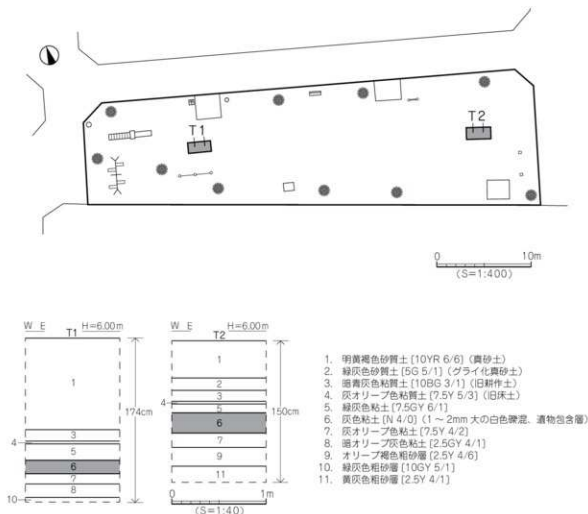
No 86 夏目団地緑地 (第 103 図)

調査日 平成 22 (2010) 年 11 月 30 日 (火)
 調査場所・面積 松山市夏目甲 24 番 2 (589m²)
 協力者 夏目団地緑地管理協力会会長 伊井 司朗 氏
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ 2 本 (T1・T2) を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、第 6 層中から少量の遺物が検出された。遺構は検出されなかった。

【第 6 層】二つのトレンチから検出され、層厚は 14cm ~ 22cm を測る。色調は灰色を呈し、土質はやや強い粘性を帯びる。層中から土師器小片、染付の陶磁器小片が出土した。



第 103 図 夏目団地緑地トレンチ位置図・柱状土層図

調査の成果

No 87 和田ニュータウン緑地 (第 104 図)

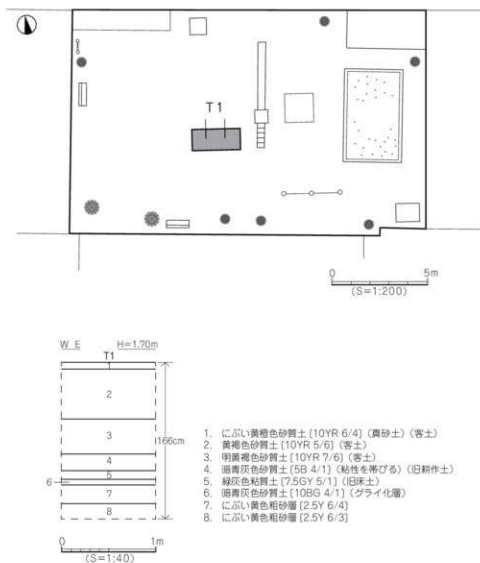
調 査 日 平成 22 (2010) 年 12 月 16 日 (木)

調 査 場 所 ・ 面 積 松山市和田甲 200 番 9 (230.00m²)

試 掘 担 当 調 査 員 武正 良浩

調 査 概 要

調査地の境界、埋設管（上下水道、雨水、電気等）の経路を確認後、トレンチ 1 本（T1）を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容（土色・土質・含有物）の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第 104 図 和田ニュータウン緑地トレンチ位置図・柱状土層図

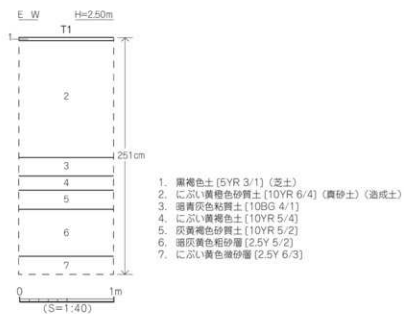
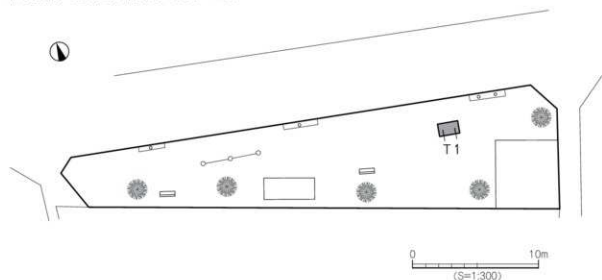
市有公園試掘調査

No 88 明日の公園 (第 105 図)

調査日 平成 23 (2011) 年 1 月 11 日 (火)
 調査場所・面積 松山市府中 516 番 (298.72㎡)
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ 1 本 (T1) を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第 105 図 明日の公園トレンチ位置図・柱状土層図

調査の成果

№89 新聞公園 (第106図)

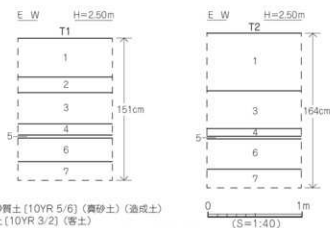
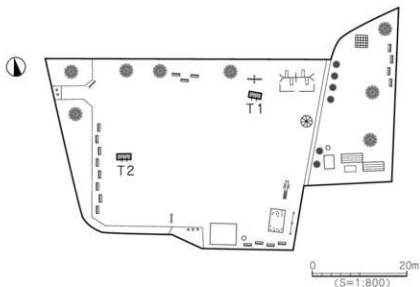
調査日 平成23(2011)年1月13日(木)

調査場所・面積 松山市北条961番1 (1,974.00㎡)

試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ2本(T1・T2)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



1. 黄褐色砂質土 [10YR 5/6] (真砂土) (造成土)
2. 黄褐色土 [10YR 3/2] (客土)
3. 田舎灰色土 [10B 4/1] (真砂土・グライ化) (造成土)
4. オリーブ黒色粘質土 [5Y 3/1] (旧耕作土)
5. オリーブ色砂質土 [5Y 5/4] (旧床土)
6. 田舎灰色粗砂層 [7.5GY 4/1]
7. オリーブ灰色粗砂層 [5GY 6/1]

第106図 新聞公園トレンチ位置図・柱状土層図

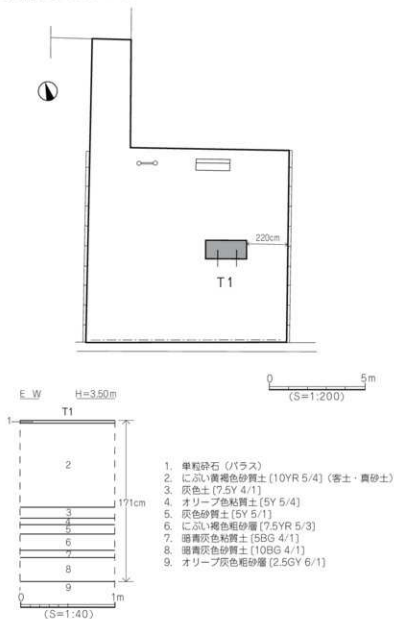
市有公園試掘調査

No 90 新聞緑地 (第 107 図)

調査日 平成 23 (2011) 年 1 月 18 日 (火)
 調査場所・面積 松山市北条 637 番 27 (120.00㎡)
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ 1 本 (T1) を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第 107 図 新聞緑地トレンチ位置図・柱状土層図

調査の成果

No 91 中通みんなの広場公園 (第 108 図)

調査日	平成 23 (2011) 年 1 月 20 日 (木)	
調査場所・面積	松山市中通甲 303-1 外 5 筆	(1,300.00 m ²)
試掘調査立会人	中通自治会副区長 室地 敏雄 氏	
試掘担当調査員	武正 良浩	

調査概要

立会人のもと調査地の境界、埋設管（上下水道、雨水、電気等）の経路を確認後、トレンチ 2 本（T1・T2）を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容（土色・土質・含有物）の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、第 10 層中から遺物が出土した。遺構は検出されなかった。

【第 10 層】層厚は T1 で、約 10cm、T2 で約 7cm を測る。色調は灰色を呈する。土質は粘質を帯び、砂粒が混じる。遺物は T1 から出土した。遺物は、底部切り離し技法が回転糸切りによる 14 世紀代の土師器片（1 点）、回転糸切り痕が残る土師器の底部等である。



第 108 図 中通みんなの広場公園 トレンチ位置図・柱状土層図

市有公園試掘調査

No.92 東町浦公園 (第109図)

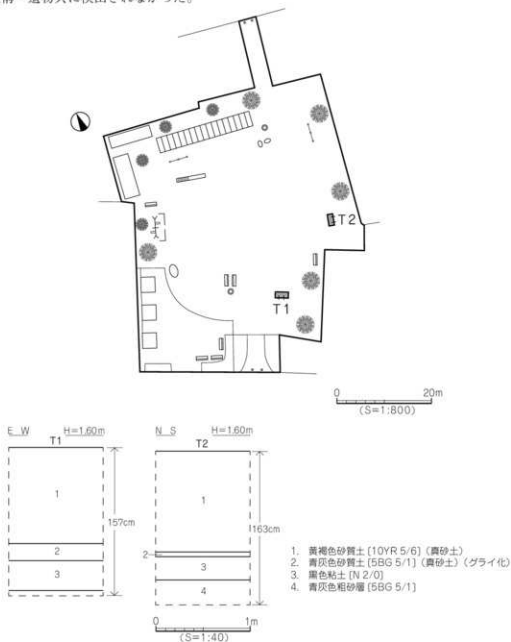
調査日 平成23(2011)年1月21日(金)

調査場所・面積 松山市北条1443番 外2筆 (2,659.19㎡)

試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ2本(T1・T2)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第109図 東町浦公園トレンチ位置図・柱状土層図

調査の成果

No.93 正岡松尾公園（第110図）

調査日 平成23（2011）年1月26日（水）
 調査場所・面積 松山市中西外686番1 （2,289.00㎡）
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

調査地の境界、埋設管（上下水道、雨水、電気等）の経路を確認後、トレンチ2本（T1・T2）を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容（土色・土質・含有物）の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第110図 正岡松尾公園トレンチ位置図・柱状土層図

市有公園試掘調査

No 94 味栗公園 (第 111 図)

調査日 平成 23 (2011) 年 1 月 27 日 (木)
 調査場所・面積 松山市浅海原甲 279 番 1 (1,739.00㎡)
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ 2 本 (T1・T2) を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第 111 図 味栗公園トレンチ位置図・柱状土層図

調査の成果

№95 柳原末広第一公園 (第112図)

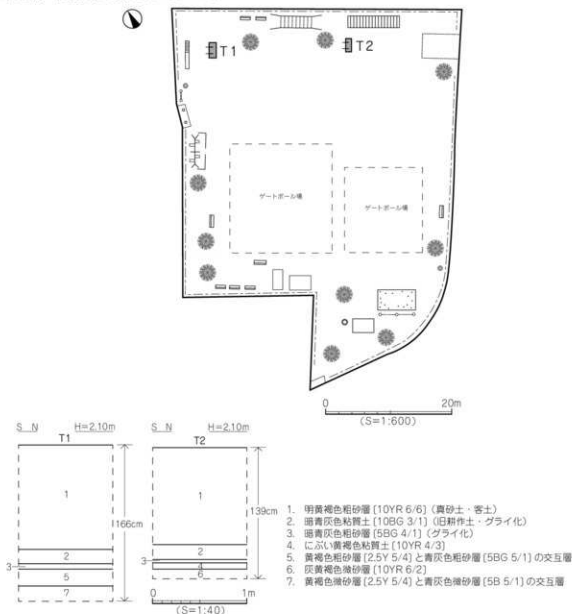
調査日 平成23(2011)年2月7日(月)

調査場所・面積 松山市柳原901番地 (2,250.00㎡)

試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ2本(T1・T2)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、遺構・遺物共に検出されなかった。



第112図 柳原末広第一公園トレンチ位置図・柱状土層図

№96 小山田公園 (第113図)

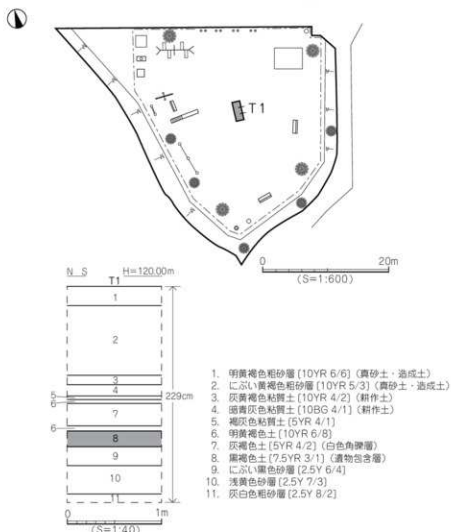
調査日 平成23(2011)年2月22日(火)
 調査場所・面積 松山市小山田甲331-1 外1筆 (1,044.00㎡)
 協力者 小山田公園管理協力会会長 成松 勝 氏
 試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ1本(T1)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、第8層上層から土器1点が出土した。

遺構は検出されなかった。

【第8層】層厚は約17cmを測り、色調は黒褐色を呈する。出土遺物の時期、器種等は不明であるが、表裏の条文的調整から縄文土器の胴部片と思われる。



第113 小山田公園トレンチ位置図・柱状土層図

調査の成果

No.97 尾儀原公園 (第114図)

調査日 平成23(2011)年2月23日(水)

調査場所・面積 松山市尾儀原甲49-3 外1筆 (671.00㎡)

協力者 尾儀原公園公園管理協会会長 井上 剛義 氏

試掘担当調査員 武正 良浩

調査概要

調査地の境界、埋設管(上下水道、雨水、電気等)の経路を確認後、トレンチ1本(T1)を設定し、重機を使用して掘削を行った。その後、土層の堆積状況及び内容(土色・土質・含有物)の観察、遺構・遺物の有無の確認、記録写真撮影、測量を実施した。層序を確認し、トレンチ内精査を行った結果、第6層から遺物が出土した。遺構は検出されなかった。

【第6層】層厚は15cm以上を測る。色調はにぶい褐色を呈する。土質はやや弱い粘質を帯びる。層中から出土した土器は弥生土器の小片2点である。



第114図 尾儀原公園トレンチ位置図・柱状土層図

第3節 まとめ

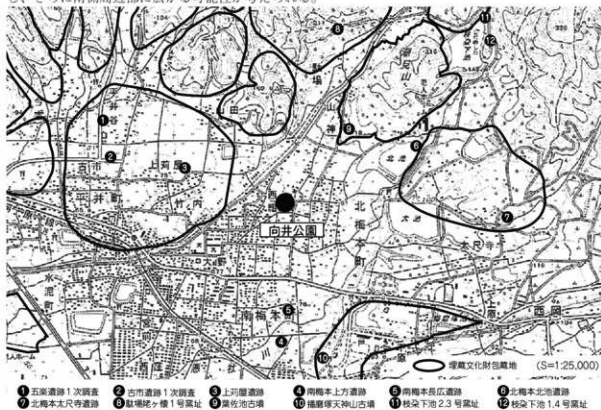
ここでは平成18年度～平成22年度まで行った97件の市有公園内確認調査によって遺跡が確認された13の公園について各公園ごとにまとめを行う。

(1) 向井公園 (No.5)

向井公園は、高縄山塊小野峠に源を発する小野川水系に属する位置にあり、半径2.1kmの小野川扇状地の扇頂から扇央の中間付近、標高約88.6mに立地する。調査地付近は畑や水田として広く利用され、集落は小規模の単位で点在していたが、近年の宅地開発によりその景観は急激に変化している。この向井公園は昭和57年3月に竣工し、併設の向井公民分館と共に周辺住民の憩いの場として広く利用されている。周辺には古墳時代を中心とした遺跡が点在する。本調査地の北東約700mには古墳時代後期の葬送儀礼の一部が明らかとなり全国的に注目された葉佐池古墳が位置する。

また、北方約1.2kmに松山平野を代表する古窯址である駄馬姥ヶ懐1号窯址、枝染下池1号～4号窯址、南東に北梅本北池遺跡、北梅本太尺寺遺跡、南東方約1kmには南梅本長広遺跡、南梅本上方遺跡、播磨塚天神山古墳、播磨塚1号墳などが点在する。

調査結果からは、土層は全部で8層に分けられ、第5層の灰黄褐色土[10YR 4/2]から遺物が出土した。T1では第5層は地表下55cmで検出した。層厚は18cmを測る。3～5cm大の河原石状の丸礫が多く混じる。弥生土器片が少量出土した。T2では第5層は地表下110cmで検出した。層厚は30cmを測る。T1同様、丸礫が多く混じる。壺、ジョッキ形、胴部片等の弥生土器片が比較的多く出土した。時期は弥生時代中期中葉以降と考える。土層の堆積状況から旧地形は調査地の北から南へ緩傾斜することが確認できた。以上の調査結果から、調査地全域の地下には弥生時代以降の遺跡が存在し、さらに南側周辺部に広がる可能性が考えられる。



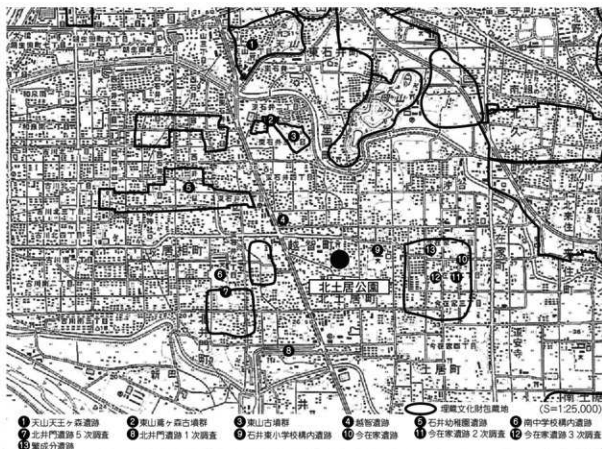
第115図 向井公園周辺遺跡位置図

(2) 北土居公園 (No.9)

北土居公園は、県道190号久米垣生線から南方140m、国道33号線から東方400mの標高27.4mに立地する。周辺は畑や水田として広く利用されていたが、近年の宅地開発によりその景観は急速に変化しつつある。周辺の遺跡として東方には石井東小学校構内遺跡、今在家遺跡1次～3次調査、紫成分遺跡があり、石井東小学校構内遺跡からは弥生時代前期の土坑と土器棺墓が出土している。北から西には東石井遺跡、西石井遺跡、東山鳶が森古墳群、天山天王ヶ森遺跡、石井幼稚園遺跡、南中学校構内遺跡など弥生時代～中世の遺跡が点在する。とくに、南中学校構内遺跡からは弥生時代前期後半の遺構・遺物が出土している。南西には松山IC建設に伴い北井門遺跡1次～4次の調査が行われている。

調査結果からは、遺物包含層を2層（第6層・第7層）検出した。第6層、第7層ともにT1・T2から検出した。第6層は褐色土色[10YR 4/1]で層厚は13～20cmを測る。遺物は土師器、須恵器、瓦が出土した。須恵器、土師器共に細片が多い。瓦は凸面叩き目が細繩の平瓦片である。出土遺物の時期は須恵器の坏の形状から8世紀以降と考える。第7層は、褐色土色[7.5YR 4/1]で、下層にいくほど黄色が強まる。層厚は35～48cmを測る。遺物は土師器、須恵器が出土し全て破片であるが比較的大きい。出土遺物の時期は須恵器の形状から7世紀初頭までと考える。

以上の調査結果から、調査地全域の地下には概ね古代前半と古墳時代後期に大別される厚い遺物包含層が堆積し、周辺に広がる可能性が考えられる。



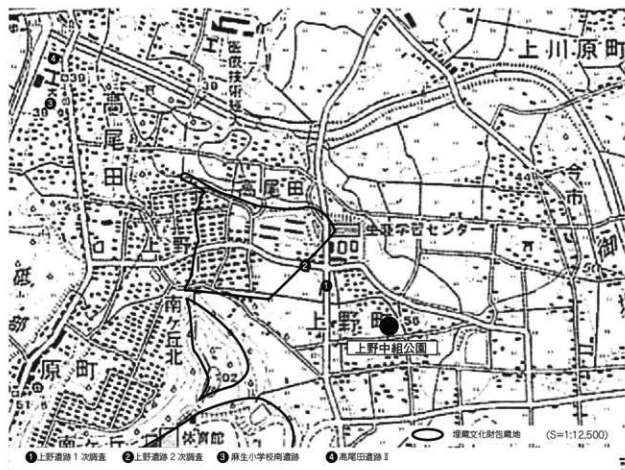
第116図 北土居公園周辺遺跡位置図

(3) 上野町中組公園 (No.26)

上野町中組公園は、松山市道久谷97号線から東方220mに位置する。東方には北流し重信川手前で大きく蛇行して西流する御坂川、西方には砥部川が北流する。調査地は御坂川左岸の河岸段丘上、標高約55mに立地する。周辺は畑や水田として広く利用されているが、近年の宅地開発によりその景観は変化しつつある。周辺の遺跡として西方220mに15世紀後半頃と考えられる水田遺構や弥生時代前半の磨製石剣が確認された上野遺跡（市道久谷97号線新設に伴う事前発掘調査）がある。西側丘陵部には大規模な住宅開発に伴い多数の古墳が検出された土壇原遺跡がある。御坂川と砥部川が合流する付近には麻生小学校南遺跡、高尾田遺跡がある。

調査結果は、遺物包含層を1層（第7層）検出した。第7層はT1で検出した。色調は黒色[2.5Y 2/1]を呈し、土質はやや粘性を帯びる。層厚は19～23cmを測る。遺物は弥生土器が出土した。

以上の調査結果から、上野町中組公園西側（T1周辺）の地下には概ね弥生時代以降の遺物包含層が遺存する可能性が高いと考えられる。また、遺構・遺物は検出されなかったがT2において遺構の基盤面と成りうる可能性がある第8層：にぶい黄色シルト [2.5Y6/4] を検出した。この二つの成果は西方に位置する上野遺跡と同じ様相を呈している。また、地形は標高57mに立地する同遺跡から、東方に位置する調査地にかけて緩傾斜し、更にその東方は大きく落ち込んでいる。よって今回の調査成果は、上野遺跡が調査地周辺まで広がっている可能性を示唆しているものとする。



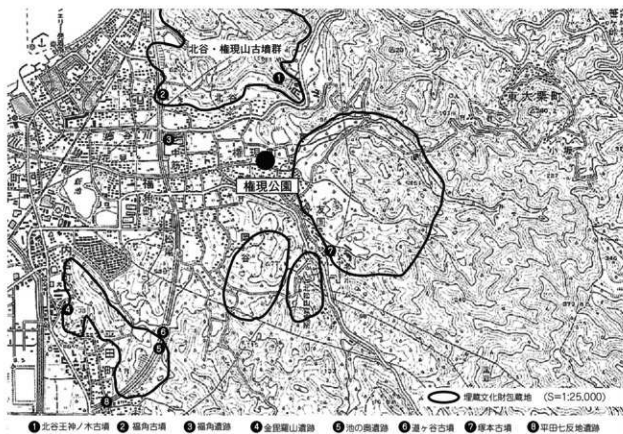
第117図 上野中組公園周辺遺跡位置図

(4) 権現公園 (No.38)

権現公園は高縄山系に源を発する中小の河川により半径約1kmの小扇状地を形成しつつ約25km西流した後、堀江湾に注いでいる。この沖積地には、現在2本の主要な河川が約300mの間隔を置いて平行して西流している。北側の郷谷川は、北方の山中に源を発し、大きく右方向にカーブをとって平野部を西流しており、この郷谷川右岸の山麓地帯に北谷古墳群は分布している。一方、南側の権現川は、南方の山中より発し、左方向にカーブをとり、郷谷川に平行して平野部を西流している。この権現川がカーブをとる手前、開折谷が開け始めた付近の両岸の山麓部に権現古墳群は所在する。周辺には北方約1kmに6世紀末頃に築造されたといわる北谷王神の木古墳が所在する。また、南方約300mには7世紀初頭に築造された、この地域の首長墓と目される塚本古墳が所在する。西側には国道196号線建設工事に伴い道ヶ谷古墳、池の奥遺跡、平田七反地遺跡、福角遺跡、福角古墳の調査が行われている。

調査からは、T1の第7層上面にて溝(SD)1条、柱穴(SP)3基を検出した。遺物はSP1から土師器、須恵器が出土し、T1の第5・6層(自然堆積層中)から陶磁器片、瓦質土器片、土師質土器片、須恵器片が出土した。

調査結果からT1から古墳時代の集落関連遺構と古代～中世の遺物包含層を2層検出した。T1は尾根筋の先端部に位置し周辺の微高地に遺跡が展開する可能性がある。T2はT1より1.5m低く南側には川が流れており土層状況からも谷筋に近いと思われる。



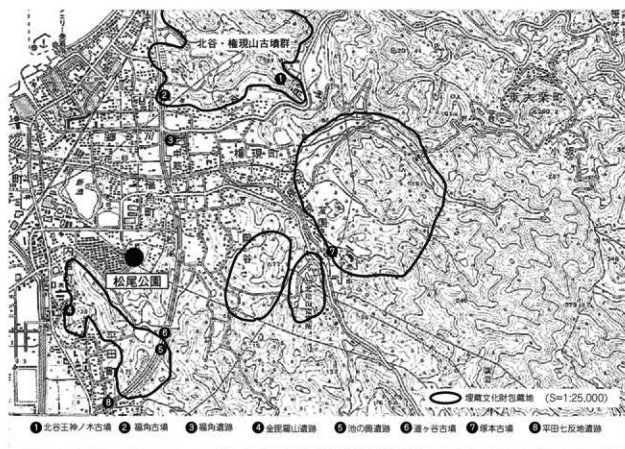
第118図 権現公園周辺遺跡位置図

(5) 松尾公園 (No.39)

堀江湾を望む東・西の丘陵地帯では、これまでに高月山古墳、船ヶ谷向山古墳、北谷古墳、北谷王神ノ木古墳、塚本古墳など数多くの古墳が調査され古墳時代の松山平野北部域の主要な墳墓地帯であったことが明らかになっている。松尾公園はこの堀江湾を望む東の丘陵部に位置する。南側には国道196号線建設工事に伴い道ヶ谷古墳、池の奥遺跡、平田七反地遺跡の調査が行われている。

公園西側には伊勢神宮の内宮と外宮の神を一緒に祀っている内外神社がある。社記によれば、神功皇后三韓からの帰途、堀江に碇泊し熱田津の石湯に浴し、徳威の里に野田井の法を試み、谷の高磯山田行宮に駐り、大神宮を祀り、谷田山に奉斎したという。また、公園東側には素鷲神社があり、素鷲神社は内外神社から見て鬼門の方角に建てられ、素鷲鳴尊を祭っていることから、素鷲神社と名付けられたと言われる。

調査結果からは性格不明遺構(SX)を1基検出した。SX1の検出規模は長さ78cm、幅2.5m、深さ55cmを測る。埋土は、にぶい黄褐色土で明黄褐色の小ブロックが混じる。遺物は検出されなかった。平面プランは、やや湾曲する溝状を呈するものと思われる。公園北側の地形は緩やかな傾斜の高まりが見られることから古墳の墳丘と考えられ、SX1は墳丘南側の周溝の可能性が考えられる。



第119図 松尾公園周辺遺跡位置図

(6) 安城寺西公園 (No.43)

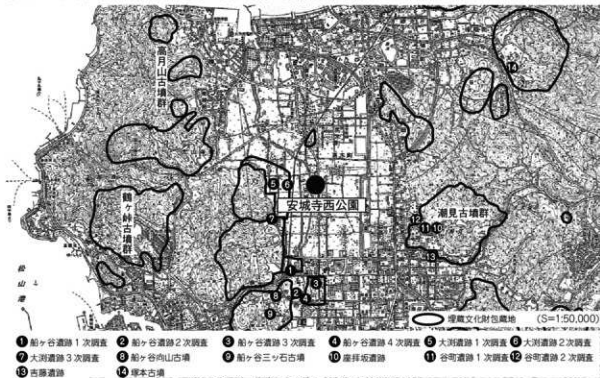
安城寺西公園は、松山平野の北部に位置する。この松山平野北部地域は、西側を平野に散在する分離丘陵のひとつである太山寺山塊、東側を高縄山塊に挟まれた低地帯で、両山塊に降り注いだ雨が久万川を形成し、北流して堀江湾に至る。調査地はこの久万川の右岸に位置する。

周辺の遺跡では、船ヶ谷遺跡、船ヶ谷遺跡2次～4次調査、大洲遺跡、大洲遺跡2次・3次調査、高月山古墳群、船ヶ谷向山古墳、船ヶ谷三ツ石古墳、鶴ヶ崎古墳群、塚本古墳が挙げられる。船ヶ谷遺跡では縄文時代晩期中頃～後半の沼沢的な河川、貯蔵穴、および方形プランの竪穴住居址をそれぞれ1基ずつ検出している。大洲遺跡においては、晩期末の土器群と共に、初任痕の付着した土器片、結晶片岩製の磨製石廬丁、肩部にハツ手の葉状に彩文が施された彩文壺などが出土している。船ヶ谷遺跡2次・4次調査においては、4世紀末から6世紀前半にかけての土坑、溝状遺構および自然流路が検出されており、特にSR1からは5世紀前半の土器群が多量に出土している。高月山古墳群は箱式石棺を内部主体にもつ、4世紀末から5世紀初頭の古墳群である。船ヶ谷向山古墳は前方後円墳と推定される5世紀末の古墳で、出土遺物には蓋、馬、犬、鳥を象った形象埴輪が含まれる。船ヶ谷三ツ石古墳は5世紀末～6世紀初頭に比定できる円墳である。鶴ヶ崎古墳群は5世紀後半から7世紀中葉にかけて築造された古墳群である。また、南東には谷町遺跡、座拝坂遺跡、吉藤遺跡がある。

調査結果からは、T2の第9層上面にて柱穴(SP)8基と第6・10層(自然堆積層中)から遺物が出土した。柱穴の埋土はSP4が青灰色粘質土[5PB 5/1]を呈し、それ以外は全て黒褐色粘質土[2.5Y 3/1]である。柱穴内からは土師器の小片が検出された。

遺物包含層の第6層は灰オリーブ色粘質土で層厚は10～13cmを測る。遺物は土師器片が出土した。第10層はにぶい黄橙色砂質土で層厚は22cmを測る。遺物は土師器片が出土した。

以上の調査結果から、概ね中世以前の遺物包含層を2層確認し、T2において集落関連遺構を検出したことから、久万川右岸下流域に中世以前の集落遺跡が展開する可能性が高いものとする。



第120図 安城寺西公園周辺遺跡位置図

(7) 吉藤公園 (No.45)

吉藤公園は、松山平野の北東部を走る高縄山系の南西裾部に位置する。西側には西方海岸部と太山寺山塊とに挟まれた南北約7km、東西約2km低地が広がっている。高縄山系に源を発する石手川の旧流路は現在とは異なり、現流路より約2km北方の高縄山系南面の御幸寺山麓を西流し、その山麓に沿って北方に流路をとり堀江湾に注いでいたものとされている。吉藤公園はこの河川活動によって形成された地溝性の沖積低地上に立地している。

周辺の遺跡では、姫原遺跡、姫原遺跡2次調査、吉藤宮ノ谷遺跡、谷町遺跡、座坪坂遺跡がある。姫原遺跡からは、古墳時代から中世の遺構と遺物を検出している。とくに、弥生時代の円形周溝状遺構からは多数の弥生土器が出土している。姫原遺跡2次調査からは弥生時代の遺構から多量の遺物が出土している。吉藤宮ノ谷遺跡からは弥生時代後期の壺棺が出土している。西には船ヶ谷遺跡1次～4次の調査が行われ縄文時代から中世までの遺構と遺物が多数出土している。古墳時代の遺跡は、山越や姫原の丘陵部に松山市の指定する「姫原古墳群」がある。平成4年には小学校建設に伴い影浦谷古墳の発掘調査が行われた。6世紀中頃～7世紀前半の3基の古墳や箱式石棺を検出し姫原古墳群の一端が明らかにされている。

調査からは、遺物包含層8層（第5～12層）を検出した。遺構は検出されなかった。

第5層：灰色粘質土。T1・T2で検出し、遺物は土師器片、須恵器片が出土した。

第6層：暗青灰色粘質土。T2で検出し遺物は土師器片が出土した。

第7層：灰色砂質土。T1で検出し遺物は土師器片が出土した。

第8層：灰色粗砂質土。T1・T2で検出し遺物は土師器片、須恵器片、緑釉陶器片が出土した。

第9層：黒褐色粘質土、強い粘性を帯びる。T1で検出し遺物は土師器片、須恵器片、灰釉陶器片が出土した。

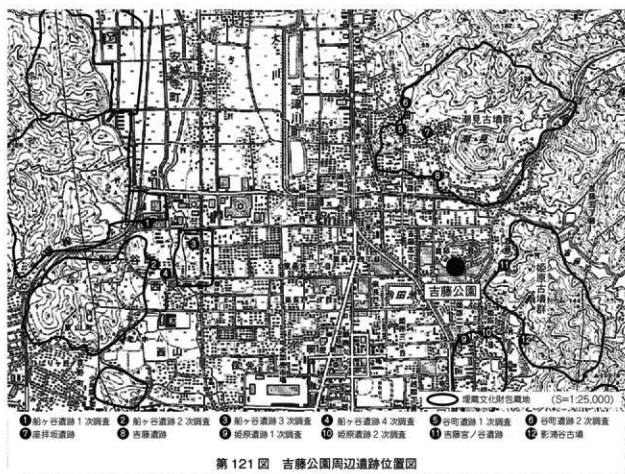
第10層：黒褐色砂質土。T1・T2で検出し、遺物は土師器片、須恵器片が出土した。

第11層：黒色粘質土を呈し強い粘性を帯びる。T1で検出し遺物は土師器片、須恵器片が出土した。

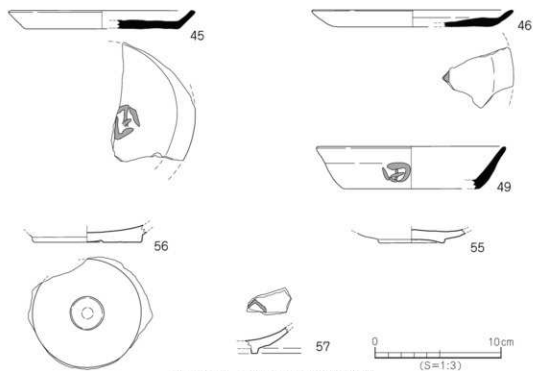
第12層：黒色砂質土。T1・T2で検出し遺物は弥生土器片、土師器片、須恵器片が出土した。

以上の調査結果から概ね古墳時代～古代の遺物包含層を8層検出した。出土した遺物の中で注目されるのは、第10層中から出土した3点の墨書土器である。45は須恵器の皿底部、49は須恵器の坏底部に「田」の字が記されている。両方共に破片ではあるが、字が明瞭に判読できる好資料である。その他に46の須恵器の皿底部に墨書の一部が確認できる。55は突出した円盤高台をもつ緑釉陶器。56は緑釉陶器の碗。底部は蛇の目高台で、緑釉が施される。その他、土師器、須恵器、緑釉陶器等、概ね古代に比定される遺物が多量に検出された。

これら出土遺物から、調査地周辺には寺院や役所など文字に関わる施設が存在していたと想定され同時代の遺跡が周囲に広がる可能性が高いと考えられ、松山平野の中でも重要な地域の一つである。



第 121 図 吉藤公園周辺遺跡位置図



第 122 図 吉藤公園出土遺物実測図

(8) 姫原西公園 (No.46)

姫原西公園は、松山平野北西部の丘陵地と沖積低地に立地する。高槻山塊西端部の丘陵地と低地に位置し、南東部には文京遺跡をはじめとする遺後城北遺跡群が隣接している。北部及び東部の丘陵には潮見古墳群や祝谷古墳群などが分布している。南には山越遺跡があり1次～4次の調査が行われている。調査からは弥生時代前期から古墳時代の生活関連遺構が出土している。南西には衣山遺跡、美沢遺跡、北東には姫原遺跡、吉藤ラドン温泉遺跡、吉藤宮ノ谷遺跡があり、吉藤宮ノ谷遺跡からは弥生時代前期末の貯蔵穴群が検出されている。姫原遺跡では弥生時代前期から中世の遺構を検出している。古墳時代では、水塚古墳、景浦谷古墳があり、景浦谷古墳からは6世紀末から7世紀初頭の古墳3基を検出している。

調査結果からは、T1の第11層上面にて柱穴（SP）1基と遺物包含層（第6・9・10層自然堆積層）を検出した。

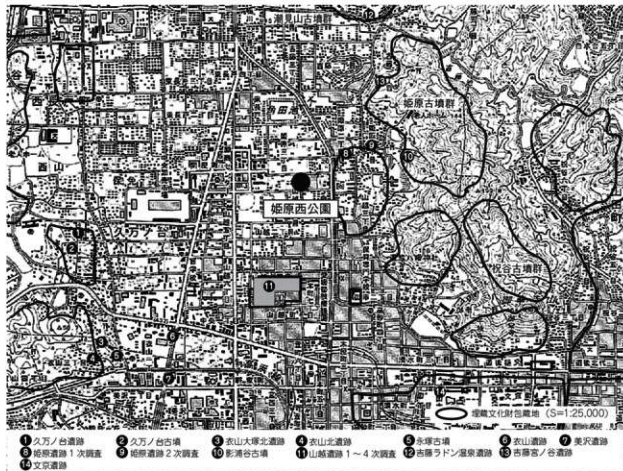
遺構は第11層上面にて柱穴1基を検出した。埋土は黒色粘質土である。遺物は土師器或いは土師質土器と思われる極小の破片が出土した。

第6層：オリブ黄色粘質土。遺物は土師質土器片が出土した。

第9層：灰黄褐色粘質土を呈し強い粘性を帯びる。遺物は土師器片、土師質土器片が出土した。

第10層：褐灰色粘質土。遺物は土師器片、土師質土器片が出土した。

以上、T1において集落関連遺構の検出、中世～古墳時代の遺物包含層を3層検出したこと、南方650mに位置する山越1・3次調査で確認された堆積層と遺構検出面層が本調査の第11層が似ていることから、遺跡の範囲が調査地周囲に広がる可能性が考えられる。



第123図 姫原西公園周辺遺跡位置図

(9) 木屋町公園 (No. 53)

木屋町公園は、松山平野の北東部の石手川扇状地に位置する。石手川扇状地は、右岸では洪積層を基盤とし、その上面を覆うように縄文海進後に形成された沖積層が堆積し現在の地形を形成している。調査地は松山城の北側600mの道後城北地区に位置する。道後城北地区の調査では、文京遺跡で40次を超える調査が行われ、松山大学構内遺跡1次～6次調査や松山北高等学校遺跡、道後今市遺跡など数多くの発掘調査が実施され、縄文時代から中世にかけての松山平野内でも有数の遺跡地帯として知られている。若草町遺跡1次～3次調査からは弥生時代から古墳時代の遺跡が多数出土している。

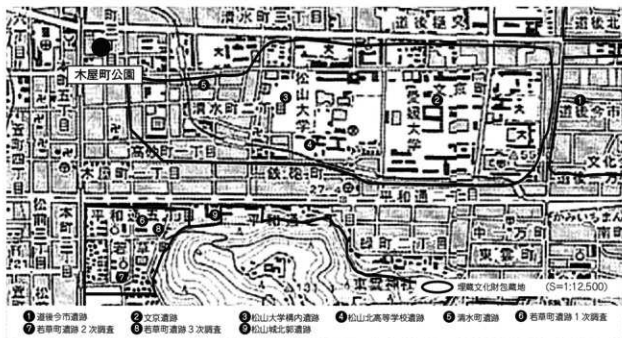
近年の調査では、木屋町公園の南東に位置する清水町遺跡で竪穴住居1棟 (SB1)、溝2条 (SD1・2)、柱穴7基を検出した。とくにSB1は道後城北地区で2例目となる、弥生時代前期前半に時期比定される。

調査結果からは、T1・T2の両トレンチから遺構・遺物が検出された。

T1の第8層上面にて溝1条 (SD1)、柱穴3基 (SP1～3) を検出した。SD1の埋土は暗青灰色砂質土で、土師質土器片を検出した。SP1の埋土は灰色砂質土で、土師器片を検出した。SP2・3の埋土は共に灰褐色砂質土を呈する。

T2の第13層 (SR1埋土①) の上面にて柱穴4基 (SP4～7) を検出した。SP7とSP4から土師器片が出土した。SP5・6から遺物は検出されなかった。SR1はトレンチの壁面観察より北東から南西方向へ流れていると思われる。埋土は3層を確認し各層中からは弥生土器片が出土した。トレンチ西壁で近世以降のものと思われる石組み (石列) を検出した。

以上の調査結果から、T1のSD1から出土した土師質土器皿小片は底部に回転糸切り痕が残ることから概ね鎌倉時代から南北朝時代のものとする。また、柱穴も同時代と思われる。T2の第13層上面で検出した柱穴は出土遺物から中世以降のものとする。また、SR1から出土した土器片は概ね弥生時代後期に属するものとする。調査地周辺には弥生時代と中世の集落が展開していたものとする。



第124図 木屋町公園周辺遺跡位置図

(10) 日分公園 (No.54)

日分公園は、松山平野北西部の沖積低地に立地する。日分公園が所在する山越地区は高縄山塊西端部の丘陵地と低地に位置し、南東部には文京遺跡をはじめとする遺後城北遺跡群が隣接している。北部及び東部の丘陵には潮見古墳群や祝谷古墳群などが分布している。

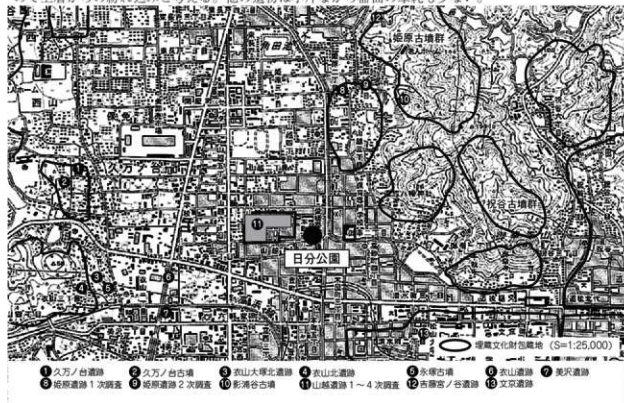
周辺の遺跡では、北西に山越遺跡があり1次～4次の調査が行われている。調査からは弥生時代前期から古墳時代の生活関連遺構が出土している。南西には衣山遺跡、美沢遺跡、北東にはには姫原遺跡、吉藤ラドン温泉遺跡、吉藤宮ノ谷遺跡があり、吉藤宮ノ谷遺跡からは弥生時代前期末の貯蔵穴群が検出されている。姫原遺跡では弥生時代前期から中世の遺構を検出している。古墳時代では、永塚古墳、景浦谷古墳があり、景浦谷古墳からは6世紀末から7世紀初頭の古墳3基を検出している。

調査結果からは、トレンチ内から遺構・遺物が検出された。

T1の第4層は遺物包含層である。層厚8cmを測り、色調は暗灰黄色、土質は砂質を呈する。少量の土師器片、須恵器片、陶磁器片が検出された。何れも小片である。

T2では第6層上面(第1面)と第7層上面(第2面)の二面の遺構検出面を確認した。第1面では柱穴3基(SP1～3)、溝1条(SD1)を検出した。埋土は全て灰オリーブ色粘質土で少量の砂粒が混じる。SP1内からは土師質土器片、須恵器片が出土した。SD1からは土師器片、須恵器片が出土した。第2面からは、柱穴1基(SP4)を検出した。埋土は黒褐色粘質土を呈し、土師器片が出土した。

以上の調査結果からT2の第1面で確認した遺構は、出土遺物から概ね中世以降のものと考えられる。また、第2面で確認したSP4は出土遺物から古墳時代以降と考えられることから、調査地周辺には中世と古墳時代の遺跡が広がっていると考えられる。T1の第4層から陶磁器片が出土した。第4層は層厚が薄く直上は旧耕作土であり、出土した陶磁器には染付が施されていることから近世以降のもので上層からの紛れ込みと考える。他の遺物は小片ながら器面の摩耗も少ない。



第125図 日分公園周辺遺跡位置図

(11) 新玉公園 (No.56)

新玉公園は、松山市の中心に位置する国史跡松山城の南端から約50m南に位置する。松山城の調査では、本丸跡、二之丸跡、三之丸跡の調査が数多く行われている。史跡「松山城跡」(県民文化会館跡地)の調査からは堀之内内の幹線道路3路線と武家屋敷跡地が検出され。遺物では多量の陶磁器、瓦などが出土した。

調査結果からは、トレンチ内から遺構・遺物が検出された。

T1の第11層は遺物包含層である。少量の土師器片、須恵器片、瓦質土器片が出土した。

T2からは2層の遺物包含層(第7層、第9層)を検出した。

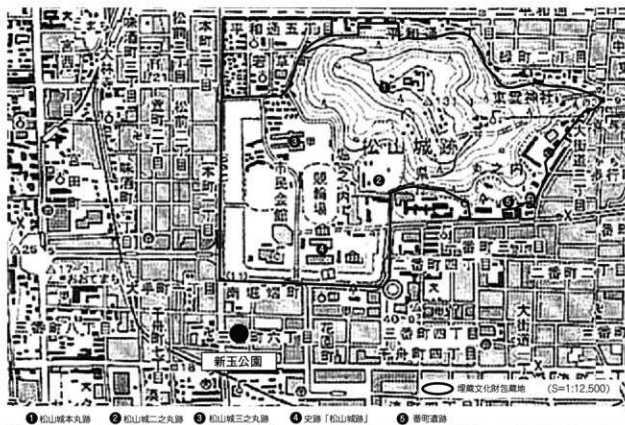
第7層からは、土師器片、須恵器(中世)片、瓦質土器片、陶磁器片、瓦片が出土した。

第9層からは土師器片、陶器片が出土した。

遺構はT2の第16層上面で土坑(SK)2基を検出した。

SK1・2は深さ17cm～31cmを測りしっかりした掘方である。埋土は灰色砂質土である。遺物はSK1から土師器の小片が出土した。SK2からは釘と思われる鉄製品が出土した。

以上の結果から、T1の第4層までは造成土で、とくに第2～4層は近現代の土地開発によるものと考えられ、古い土管、漆喰、陶器等が検出された。第11層から出土した土師器片、瓦質土器片は小片ながら器面の摩耗は少なく流れ込みではなく、投棄された遺物と考えられる。T2の第16層上面で確認した遺構は、出土遺物及び検出面の土層から概ね中近世以降のものとする。以上の結果から周辺には中近世以降の遺構が広がると思われる。



第126図 新玉公園周辺遺跡位置図

(12) 幸町公園 (No.58)

幸町公園は松山市の中心に位置する国史跡松山城跡の南端端から約200m南西に位置する。周辺の調査では、西に古照遺跡、古照ゴウラ遺跡がある。とくに、古照遺跡では1次～11次までの調査が行われている。調査からは古墳時代前期の大規模な灌漑施設が検出された。その他にも古墳時代から中世の遺構と遺物が検出されている。北には辻町遺跡があり3次の調査が行われている。1次、2次調査からは、古墳時代の堅穴住居址や祭祀に関連する遺構・遺物が多量に出土し、古墳時代の集落の存在や祭祀形態の一端を明らかにする貴重な資料を得ている。また、中世では井戸跡、土坑墓、掘立柱建物跡、耕作痕跡などを検出している。

調査結果からは、トレンチ内から遺構・遺物が検出された。

T1の第10層上面で柱穴1基(SP1)を検出した。柱穴底から根詰め石が出土した。

T2では遺物包含層(第8層)と2面の遺構検出面を確認した。第8層から土師器片、須恵器片、瓦質土器片が出土した。出土遺物の中には三足土釜の脚部片、土師器杯の底部片等が含まれる。

遺構は第7層上面では溝1条(SD1)を検出した。遺物は出土していない。第9層上面では柱穴(SP2・3)2基を検出した。SP2とSP3からは土師器の小片が出土した。

T1の第10層上面で確認されたSP1の平面形態は円形を呈する。遺物は検出されなかったものの、根詰め石が施されていることから堅牢な造りの建物が存在したことが伺える。

T2の遺物包含層(第8層)は出土遺物から概ね12世紀後半以降と考える。また、第9層の土質は硬質であり地山に相当すると考えられ、2基の柱穴が検出されたことにより周囲に遺構(遺跡)が展開する可能性がある。



第127図 幸町公園周辺遺跡位置図

(13) 三町三角公園 (No.70)

三町三角公園は、旧国道11号線沿いの伊予鉄北久米駅から約700m北に位置する。周辺の遺跡では西に弥生時代から古墳時代の大規模な集落跡を検出した福音小学校構内遺跡、北に桑原遺跡、桑原田中遺跡、桑原本郷遺跡がある。とくに、桑原本郷遺跡からは5世紀後半の方形竪穴式住居や掘立柱建物址が検出され、さらには滑石製の白玉100点余りが須恵器と共に出土している〔栗田茂敏1987〕。古墳では北から東に経石山古墳、三島神社古墳の2基の前方後円墳の存在が古くから知られている。経石山古墳は、全長48.5mの前方後円墳で、5世紀末に比定されている〔森光晴1986〕。三島神社古墳は、初期畿内型の横穴式石室を内部主体に持つ全長約45mの前方後円墳であり、出土遺物から6世紀初頭に比定されている〔森光晴1986〕。昭和46年の宅地造成により消滅した。東側丘陵部には、東野お茶屋台古墳群と畑寺竹ノ谷古墳群が存在する。東野お茶屋台古墳群では、3基の周溝から5世紀後半の須恵器が出土し、畑寺竹ノ谷古墳群においても周溝内から須恵器や直刀が出土している。

調査結果からは2条の溝(SD1・SD2)を検出した。SD1、SD2の埋土は黒褐色粘質土で微砂が混じる。遺物は検出されなかった。

本調査地は平成20年度に発掘調査が行われた三町遺跡の南側約600mに位置し、同遺跡からは中世の遺構・遺物が検出されている。本調査において検出された2条の溝内からは出土遺物がなく、時代時期等の把握が出来ないものの三町遺跡で検出された遺構の埋土に似ていることから、中世前後の集落に関連する遺跡が周囲に広がっている可能性が考えられる。



第128図 三町三角公園周辺遺跡位置図

市有公園試掘調査

遺物一覧 ー 凡例 ー

(1) 以下の表は、市有公園試掘調査出土の遺物の計測値及び観察一覧である。

(2) 遺物観察表の各掲載について

法量欄 (): 推定復元値

調整欄 土製品の各部名称を略記した。

例) 口→口縁部、胴→胴部、底→底部、体→体部。

胎土・焼成欄 胎土欄では混和剤を略記した。

例) 石→石英、長→長石、金→金ウソモ、赤→赤色土粒、密→精製土。

() 中の数値は混和剤粒子の大きさを示す。

例) 石・長 (1~4) →「1~4mm 大の石英・長石を含む」である。

焼成欄の略記について。◎→良好、○→良、△→不良。

表7 向井公園出土遺物観察表 (土製品)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調 整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	種類
				外面	内面				
1	壺	底径 (6.4) 残高 3.3	厚い平底。	摩滅	摩滅	灰色 にぶい黄橙色	微砂粒 ○		赤生 土器
2	壺	底径 (7.6) 残高 2.7	平底。	ナデ	摩滅	橙色 橙色	石・長 (1~4) ○		赤生 土器
3	壺	底径 (8.4) 残高 4.8	やや上げ底の底部。	ナデ	摩滅	浅黄橙色 浅黄橙色	石・長 (1~3) ○		赤生 土器
4	高坏	残高 2.8	基部片。	ナデ	ナデ	浅黄橙色 橙色	石・長 (1~2) ○		赤生 土器

表8 北土居公園出土遺物観察表 (土製品)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調 整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	種類
				外面	内面				
1	坏身	口径 (11.8) 残高 3.4	たちあがりはやや反り気味に内傾し、受部は短く水平に伸びる。	◎ 回転ナデ ◎ 回転ヘラケズリ	回転ナデ	オリーブ灰色 灰白色	密 ○		灰藍色
2	高坏	残高 2.5	基部。透かしは3ヶ所と思われる。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 明オリーブ灰色	石・長 (1~2) ○		灰藍色
3	壺	残高 5.4	胴部に刺突列点文の一部が残る。	回転ナデ →カキ目	回転ナデ	灰オリーブ色 灰白色	密 ○	自然釉	灰藍色
4	壺	残高 4.2	肩部小片。	◎ 回転ナデ ◎ ナデ	回転ナデ	灰色 灰白色	密 ○		灰藍色
5	鉢?	底径 (10.8) 残高 3.7	やや丸みのある底部。	摩滅	回転ナデ	灰白色 灰白色	密 ○		灰藍色
6	高坏	残高 5.5	中実の柱部。	摩滅	摩滅	浅黄橙色 浅黄橙色	微砂粒 ○		土器

出土遺物観察表

表9 上野町中組公園出土遺物観察表 (土製品)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	種類
				外面	内面				
1	甕	残高 6.1	胴部小片。	格子タタキ →カキ目	同心円タタキ	黄灰色 灰白色	密 ○		自然釉 灰白色

表10 余戸東竹の宮公園出土遺物観察表 (土製品)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	種類
				外面	内面				
1	焙烙鍋	残高 3.7	口縁部は大きく外反する。	◎ ヨコナデ ◎ ナデ、指頭痕	ヨコナデ	黒色 暗オリーブ灰色	長 (1) 金 ○	塚付甕	瓦質 土器
2	焙烙鍋	残高 2.0	口縁部は厚めで短く外反する。	ヨコナデ	ヨコナデ	灰色 灰色	石・長 (1~3) ○		土器部

表11 富久公園出土遺物観察表 (土製品)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	種類
				外面	内面				
1	三足釜	残高 7.1	脚部片。	ナデ		にぶい橙色	石・長 1~2 多 ○		自然釉 土器部

表12 太山寺カシの木公園出土遺物観察表 (土製品)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	種類
				外面	内面				
1	坏	底径 (6.2) 残高 1.2	平底。	◎ ヨコナデ ◎ 回転糸切り	ヨコナデ	明褐色 明褐色	密 ○		土器部

表13 堀江東公園出土遺物観察表 (土製品)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	種類
				外面	内面				
1	土鉢	長さ 4.0 径 1.3 孔径 0.4	両端を欠く。重量は 551 g。	ナデ	穿孔	浅黄色	長 (1) ○		土製品

表14 堀江中央公園出土遺物観察表 (土製品)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	種類
				外面	内面				
1	土鉢	長さ 3.2 径 1.4 孔径 0.4	完形品。重量は 5.58 g。	ナデ	穿孔	にぶい橙色	石・長 (1) ○		土製品
2	土鉢	長さ 3.0 径 1.7 孔径 0.5	完形品。重量は 7.37 g。	ナデ	穿孔	灰オリーブ色	石・長 (1) 金 ○		土製品
3	土鉢	長さ 3.7 径 1.3 孔径 0.5	完形品。重量は 5.93 g。	ナデ	穿孔	橙色	微砂粒 ○		土製品
4	土鉢	長さ 3.5 径 1.4 孔径 0.5	完形品。重量は 6.41 g。	ナデ	穿孔	にぶい橙色	石・長 (1) ○		土製品

市有公園試掘調査

表 15 権現公園出土遺物観察表 (土製品)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調 整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	種類
				外面	内面				
1	坯蓋	残高 1.3	扁平な天井部片。	回転ヘラケズリ	回転ナデ	灰色 灰色	石・長 (1~2) ○		灰器部
2	蓋	残高 3.0	胴部小片。	平行タタキ	同心円タタキ	灰白色 灰白色	石・長 (1) ○		灰器部
3	蓋	残高 3.7	胴部小片。	平行タタキ	同心円タタキ	灰色 灰色	微砂粒 ○		灰器部

表 16 谷町公園出土遺物観察表 (土製品)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調 整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	種類
				外面	内面				
1	皿	底径 (6.2) 残高 0.9	平底の底部片。	◎ ココナデ ◎ 回転糸切り	ナデ	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	石・長 (1) 金 ○		土器部

表 17 吉藤公園出土遺物観察表 (土製品)

(1)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調 整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	種類
				外面	内面				
1	甕	口径 (11.2) 残高 1.9	口縁部はやや反り気味に外反し口端部は面を持つ。	◎ ココナデ	◎ ココナデ	灰黄褐色 灰色	微砂粒 ○		弥生土器
2	甕	底径 (6.0) 残高 1.5	平底。	ナデ	ナデ	にぶい褐色 にぶい褐色	微砂粒 ○		弥生土器
3	甕	底径 2.5 残高 3.4	やや突出した小さい平底。	工具によるナデ	ナデ	灰黄色 灰黄色	石・長 (1~2) ○	黒斑	弥生土器
4	高坏	残高 2.7	外面中に明確な段を持つ。	ミガキ?	摩滅	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	石・長 (1) ○		弥生土器
5	皿	口径 (10.2) 底径 (7.0) 器高 1.7	体部中に段を持つ。	◎ ココナデ ◎ 回転ヘラ切り	◎ ココナデ	にぶい赤褐色 にぶい赤褐色	微砂粒 金 ○		土器部
6	皿	口径 (10.9) 底径 (6.0) 器高 1.6	体部中に段を持つ。	◎ ココナデ	◎ ココナデ	にぶい褐色 褐色	微砂粒 赤 ○		土器部
7	皿	口径 (11.8) 残高 1.7	口縁端部は丸みがあり体部外面に稜を持つ。	◎ ココナデ ◎ ナデ	◎ ココナデ	褐色 浅黄褐色	微砂粒 ○		土器部
8	皿	口径 (13.9) 底径 (11.2) 器高 1.3	大皿。極めて小片。	◎ ココナデ	◎ ココナデ	淡赤褐色 淡赤褐色	密 ○		土器部
9	皿	底径 (11.2) 残高 0.9	大皿の底部片。	◎ ココナデ ◎ ヘラケズリ	摩滅	褐色 褐色	密 ○		土器部
10	坏	口径 (12.2) 残高 1.8	口縁端部がやや外反する。	◎ ココナデ	◎ ココナデ	褐色・にぶい褐色 にぶい褐色	石・長 (1) ○		土器部
11	坏	口径 (14.0) 残高 2.5	口縁部小片。	◎ ココナデ	ミガキ?	暗灰黄色 灰黄色	長 (1) ○		土器部
12	坏	口径 (10.8) 残高 2.5	体部外面中に稜を持つ。	◎ ココナデ	◎ ココナデ	にぶい褐色 にぶい褐色	石・長 (1) ○		土器部
13	坏	口径 (14.6) 残高 2.2	口縁部がやや外反する。	◎ ココナデ	◎ ココナデ	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	石・長 (1) ○		土器部

出土遺物観察表

吉藤公園出土遺物観察表 (土製品)

(2)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調 整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	種類
				外面	内面				
14	坏	底径 (5.4) 残高 1.0	平底の底部。	㊟ ヨコナデ ㊟ ナデ	ナデ	橙色 橙色	微砂粒 ○		土師器
15	坏	底径 (6.4) 残高 1.4	やや丸みのある底部。	㊟ ヨコナデ ㊟ ナデ	ナデ	にぶい橙色 橙色	微砂粒 ○		土師器
16	坏	底径 (6.8) 残高 2.0	平底の底部。	㊟ ヨコナデ ㊟ 摩滅	ヨコナデ	浅黄橙色 浅黄橙色	石・長 (1) ○		土師器
17	坏	底径 (6.0) 残高 1.8	平底の底部。	㊟ ヨコナデ ㊟ 回転ヘラ切り	ヨコナデ	明黄褐色 明黄褐色	微砂粒 赤 ○	黒灰	土師器
18	坏	底径 (5.8) 残高 1.7	平底の底部。	摩滅	摩滅	にぶい褐色 にぶい褐色	微砂粒 ○		土師器
19	坏	底径 (7.2) 残高 1.8	やや丸みのある底部。	摩滅	摩滅	橙色 橙色	微砂粒 金 ○		土師器
20	坏	底径 (6.4) 残高 1.9	平底の底部。	摩滅	摩滅	赤褐色 赤色	微砂粒 ○		土師器
21	坏	底径 (7.1) 残高 1.6	平底の底部。	ミガキ	ミガキ	灰黄色 灰黄色	微砂粒 ○		土師器
22	坏	底径 (7.4) 残高 1.7	平底の底部。工具による強いヨコナデのため胴部下半に凹線風の溝が通る。	㊟ ヨコナデ ㊟ ナデ	ヨコナデ	灰白色 灰白色	長 (1) ○		土師器
23	坏	底径 (6.4) 残高 2.2	平底の底部。	㊟ ヨコナデ ㊟ 回転ヘラ切り	ヨコナデ	橙色 橙色	微砂粒 ○		土師器
24	坏	底径 6.4 残高 1.8	平底の底部。	㊟ ヨコナデ ㊟ 回転ヘラ切り →ナデ	㊟ ヨコナデ ㊟ ナデ	橙色 浅黄褐色	石・長 (1-2) ○		土師器
25	坏	底径 (8.1) 残高 1.2	やや上げ底の底部。	㊟ ヨコナデ ㊟ ナデ	ナデ	橙色 浅黄褐色	石・長 (1) ○		土師器
26	坏	底径 (7.2) 残高 1.4	平底の底部。	㊟ ヨコナデ ㊟ 回転ヘラ切り →ナデ	ナデ	橙色 浅黄褐色	長 (1) ○		土師器
27	坏	底径 (7.0) 残高 1.1	平底の底部。	ヨコナデ	ヨコナデ	灰白色 灰白色	密 ○		土師器
28	坏	底径 (7.4) 残高 1.4	平底の底部。	摩滅	摩滅	橙色 浅黄褐色	微砂粒 ○		土師器
29	坏	底径 (9.6) 残高 1.0	やや丸みのある平底。底部付近に比線が2条通る。	摩滅	摩滅	灰白色 橙色	石・長 (1) ○		土師器
30	坏	底径 (8.0) 残高 1.0	やや丸みのある平底。	ナデ	ヨコナデ	灰白色 灰白色	微砂粒 ○		土師器
31	坏	底径 (8.0) 残高 1.4	平底の底部。	摩滅	摩滅	灰白色 にぶい黄褐色	石・長 (1) ○		土師器
32	坏	底径 (7.0) 残高 2.7	底部中央がやや窪む。底部は低い。ちあがりを持つ。	㊟ ヨコナデ風の ㊟ 回転ヘラ切り →ナデ	摩滅	にぶい橙色 灰白色	密 ○		土師器
33	坏	底径 (9.0) 残高 1.9	やや丸みのある底部。体部外面は強いヨコナデのため稜が残る。	ヨコナデ	ナデ	にぶい橙色 にぶい黄褐色	石・長 0-2 赤 ○		土師器
34	坏	底径 (7.2) 残高 1.3	平底の底部。低いちあがりを持つ。	摩滅	摩滅	にぶい褐色 にぶい褐色	密 ○		土師器

市有公園試掘調査

吉藤公園出土遺物観察表（土製品）

(3)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調 整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	種類
				外面	内面				
35	坏	底径 (7.0) 残高 1.8	やや丸みのある底部。低いたちあがりを持つ。	㊸ ヨコナデ ㊹ ナデ	㊸ ヨコナデ ㊹ ナデ	橙色 橙色	石・長 (1) ○		土師器
36	坏	底径 (11.6) 残高 1.4	丸みのあるやや上げ底の底部。低いたちあがりを持つ。	㊸ ヨコナデ ㊹ 回転ヘラ切り →ナデ	摩滅	赤褐色 灰白色	微砂粒 ○		土師器
37	坏	底径 8.5 残高 1.5	突出した円盤高台を持つ。	ヨコナデ 回転ヘラ切り	摩滅	橙色 灰白色	石・長 (1) ○		土師器
38	坏	底径 (9.3) 残高 1.5	突出した円盤高台を持つ。	㊸ ヨコナデ ㊹ 回転ヘラ切り →ナデ	ナデ	にぶい黄褐色 明赤褐色	石・長 (1) ○		土師器
39	坏	底径 (10.2) 残高 1.3	突出した円盤高台を持つ。	㊸ ヨコナデ ㊹ 回転ヘラ切り →ナデ	摩滅	褐色 灰褐色	長 (1) ○		土師器
40	埴	口径 (13.0) 残高 3.3	口縁部は丸みを持つ。体部外面は強いヨコナデのため残る。	ヨコナデ	ヨコナデ	褐色 褐色	微砂粒 ○		土師器
41	埴	口径 (16.4) 残高 3.4	口縁部は先細りで口端部は尖り気味である。	ヨコナデ	ヨコナデ	浅黄褐色 浅黄褐色	微砂粒 ○		土師器
42	埴	口径 (17.8) 残高 2.8	内黒土器。口縁部は丸い。	ミガキ	ミガキ	褐色 黒色	石・長 (1) 金 ○		土師器
43	甕	口径 (23.0) 残高 2.8	厚い口縁部はやや内湾気味に外反し口端部は内傾する。	ヨコナデ	ヨコナデ	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	石・長 1～3 金 ○		土師器
44	罎	口径 (24.0) 残高 2.4	口縁部は大きく外反し口端部はやや肥厚する。	㊸ ヨコナデ ㊹ ナデ	㊸ ヨコナデ ㊹ 工具によるナデ	暗灰黄色 黄褐色	石・長 (1～3) ○	煤付着	土師器
45	皿	口径 (14.8) 底径 (12.0) 器高 1.4	底部に「田」の字の墨書あり。	㊸ 回転ナデ ㊹ 回転ヘラ切り →ナデ	㊸ 回転ナデ ㊹ ナデ	灰色 灰色	石・長 (1～4) ○		灰土器
46	皿	口径 (16.0) 底径 (13.0) 器高 1.3	底部に墨書の一部分が残る。	㊸ 回転ナデ ㊹ 回転ヘラ切り →ナデ	㊸ 回転ナデ ㊹ ナデ	灰白色 灰白色	石・長 (1～2) ○		灰土器
47	坏身	口径 (13.8) 残高 3.4	たちあがりは内傾し口端部内側に設をなす。受部は短く水平に延び口端部は尖り気味に丸い。	㊸ 回転ナデ ㊹ 自然釉の不明	回転ナデ	暗灰色 暗灰色	密 ○	自然釉	灰土器
48	坏	口径 (14.0) 残高 2.9	口縁部は丸みを持つ。小片。	回転ナデ	回転ナデ	黄灰色、灰白色 灰白色	石 (1～4) ○		灰土器
49	坏	口径 (15.0) 底径 (11.0) 器高 3.3	体部外面に「田」の字の墨書あり。	回転ナデ	回転ナデ	灰白色 灰白色	石・長 (1～2) ○		灰土器
50	坏	底径 (8.4) 残高 2.0	平底の底部。	回転ナデ	回転ナデ	灰白色 灰白色	微砂粒 ○		灰土器
51	高台付 坏	底径 (9.0) 残高 1.4	「ハ」字状の高台が底端部よりやや内側に貼付される。高台接地面はやや窪む。	回転ナデ	回転ナデ	灰黄色 黄灰色	石・長 (1～4) ○		灰土器
52	長頸壺	口径 (11.6) 残高 6.5	外傾する長い頸部。口縁部はやや肥厚し口端部は強いナデにより窪む。	回転ナデ	回転ナデ →自然釉	灰色 灰色	微砂粒 ○	自然釉	灰土器
53	壺	底径 (11.0) 残高 1.7	やや丸みのある平底の底部。内面は強いナデのため凸が見られる。	㊸ ケズリ ㊹ ケズリ→ナデ	ナデ	灰色 灰色	石・長 (1) ○		灰土器
54	壺	底径 (9.9) 残高 4.5	やや丸みのある平底の底部。胴部外面は細かいケズリ調整のため石の流れが多く見られる。	㊸ ケズリ ㊹ ケズリ→ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	石・長 (1) ○		灰土器
55	埴	底径 5.1 残高 1.1	突出した円盤高台を持つ。	㊸ 回転ナデ ㊹ 施輪 ㊺ 回転糸切り	施輪	(胎土) 灰色 鮮 暗ナリ～灰色 ○	長 (4) ○		緑釉 陶器

出土遺物観察表

吉藤公園出土遺物観察表 (土製品)

(4)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	種類
				外面	内面				
56	碗	底径 8.7 残高 1.3	円盤状の蛇の目高台を持つ。内外面とも施軸される。	回転ヘラケズリ →施軸	工具によるナデ? →施軸	(胎土) 灰色 (軸) オリーブ黄色	密 ○		磁胎 陶器
57	碗	残高 2.0	高台周辺のみ露胎。内面に文様の一部が残る。	③ 施軸 ④ 回転ヘラケズリ	施軸	(胎土) 灰白色 (軸) 白色	密 ○		磁胎

表 18 萱町公園出土遺物観察表 (土製品)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	種類
				外面	内面				
1	甕	口径 (30.2) 残高 8.1	口縁部は折り曲げで外反。口縁周部に折み筋部に沈線文6条+刺突文1列+沈線文3条+刺突文1列+沈線文3条+刺突文1列。	① ヨコナデ ② ハウチ-9本/cm →ミガキ	ナデ→ミガキ →ミガキ	灰黄褐色 灰黄褐色	石・長 (1) ○		赤土 土器
2	甕	底径 4.2 残高 1.6	小さな平底。	ミガキ風ナデ	ナデ	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	石・長 (1~2) ○		赤土 土器

表 19 木屋町公園出土遺物観察表 (土製品)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	種類
				外面	内面				
1	甕	残高 3.5	口縁部は「く」字状に外反する。	ハケ (赤本/cm)	ハケ (赤本/cm)	橙色 橙色	石・長 (1) 金 ○		赤土 土器
2	甕	底径 5.1 残高 3.0	わずかに突出した底部。	④ 細コウによるナデ ⑤ ナデ	④ ナデ ⑤ ハタリ	にぶい赤褐色 褐色	石・長 (1~3) ○		赤土 土器
3	甕	底径 (5.1) 残高 2.3	突出した底部。	④ 細コウによるナデ ⑤ ナデ	ナデ	灰黄色 黄灰色	石・長 (1) ○		赤土 土器
4	壺	口径 (22.0) 残高 6.0	口縁部はラッパ状に大きく開く。	摩滅	③ 摩滅 ④ ハケ (赤本/cm)	褐色 褐色	石・長 0~5 多 ○		赤土 土器
5	甕	底径 3.5 残高 3.4	小さい平底。	⑥D ハケ (赤本/cm) ⑥D 平行タタキ	ナデ	にぶい黄褐色 黒灰色	石・長 0~2 多 ○		赤土 土器
6	甕	底径 4.4 残高 4.8	丸みのある底部。	細コウによるナデ	④ ヨコナデ ⑤ ハウチ-9本/cm →ナデ	黒灰色 にぶい黄褐色	石・長 0~10 多 ○		赤土 土器
7	壺	底径 (18.8) 残高 3.9	平底。大型品。	ナデ	ナデ 指頭痕	にぶい褐色 にぶい褐色	石・長 0~2 多 ○		赤土 土器
8	支脚	残高 6.6	角状突起部分片。	ナデ		にぶい褐色	石・長 (1~5) ○		土器

表 20 日分公園出土遺物観察表 (土製品)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	備考	種類
				外面	内面				
1	甕	残高 5.0	胴部片。3条の沈線文を持つ。	摩滅	摩滅	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	石・長 (1) 多 ○		赤土 土器
2	皿	底径 (4.0) 残高 1.4	平底の底部片。	摩滅	摩滅	褐色 褐色	石・長 (1) ○		土器
3	坏身	残高 2.3	口縁部小片。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	長 (0.5) ○		須恵部
4	坏身	口径 (13.8) 残高 1.6	口縁部小片。	回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	密 ○		須恵部
5	甕?	底径 (5.0) 残高 2.3	高台外面に二重圏線が走る。内面と高台登付は露胎。	施軸	回転ナデ	(胎土) 灰白色 (軸) 灰白色 (呉須) 黄灰色	密 ○		磁胎 (染付)

市有公園試掘調査

表 21 愛光公園出土遺物観察表 (土製品)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調 整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	種類
				外面	内面				
1	碗	底径 (5.0) 残高 3.5	高台置付のみ露胎。焼成不良で胎が白く薄り表面に凹凸や亀裂が見られる。	施釉	施釉	胎土に赤褐色(輪) オリーブ灰色	密 △		肉部

表 22 新玉公園出土遺物観察表 (土製品)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調 整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	種類
				外面	内面				
1	皿	口径 (7.0) 底径 (5.7) 器高 0.9	平底の底部。	◎ ココナデ ◎ 回転糸切り	ココナデ	にぶい赤褐色 にぶい赤褐色	密 ○		土部部
2	皿	口径 (8.9) 底径 (6.1) 器高 0.8	板状任面が残る。	ココナデ	ココナデ	灰白色 灰白色	石・長 (1)		土部部
3	碗	底径 (6.0) 残高 1.4	「ハ」字状の低い高台を持つ。	ココナデ	ナデ	灰白色 灰白色	粗砂粒 ○		土部部
4	焙烙鍋	残高 0.8	口縁部小片。	ココナデ	ココナデ	灰色 灰色	密 ○		土部部
5	焙烙鍋	残高 1.2	口縁部小片。	ココナデ	ココナデ	灰色 灰色	密 ○		土部部
6	碗	底径 4.2 残高 1.1	低い高台を持つ。高台端部は斜めに削られ端部内側で接合する。	回転ナデ	ナデ	灰白色 灰白色	長 (1) ○		須部部
7	碗	口径 (15.4) 残高 2.7	口縁部は玉縁状で内外面とも施釉される。中国製。	施釉	施釉	(胎土) 灰白色 (輪) 灰白色	密 ○		白部 499E
8	軒丸瓦	残高 3.4	軒丸瓦の瓦当部分小片。巴文か?	ナデ		灰色	密 ○		瓦

表 23 幸町公園出土遺物観察表 (土製品)

番号	器種	法量 (cm)	形態・施文	調 整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	種類
				外面	内面				
1	碗	残高 3.4	口縁端部はやや外反する。	ココナデ	ココナデ	黒褐色 黄灰色	石 (微石粒) ○		土部部
2	坏	底径 (7.6) 残高 1.7	底部はやや突出する丸みのある平底。	◎ ココナデ ◎ 回転へら切り → ナデ	◎ ココナデ ◎ ナデ	浅黄色 浅黄色	石・長 (1) ○		土部部
3	三足釜	残高 5.8	脚部小片。	ナデ		にぶい褐色	石・長 0~2 ○		土部部

第3章 北条地区（善応寺）踏査

第1節 環境

（1）地理的環境

松山市北部に位置する風早（北条）平野は、西に斎灘を望む高縄半島の西縁に位置する。高縄山をはじめとする高縄山系を水源とし斎灘に注ぐ立岩川、河野川、高山川、栗井川、弘川などの浸食・堆積によって形成された扇状地が南北に連続する沖積平野である。また、丘陵部から海岸線までの距離が短く河川の勾配が急であるため、氾濫も多く浸食作用が著しい。調査対象地である善応寺地区は、雄甲山（238.6 m）と離甲山（189.1 m）の北側、河野川と高山側に挟まれた標高約 31 m～72 mの西から東へ傾斜する台地上に位置する。

（2）歴史的環境

現在、北条では公式には220か所の古墳、経塚及びその他の墓、並びに33箇所の中世城館が知られており、それを包括した121箇所の包蔵地が設定されている（平成25年11月現在）。しかしながら、実際にはさらに多くの遺跡が存在するとみられており、近年、発掘調査において新たな遺跡が発見されている。ここでは、地理的条件から遺跡の周辺として立岩川以南、栗井川以北の遺跡を取り上げる（第129図）。

旧石器時代

遺構は確認されていないものの、龍徳寺山（別府）からナイフ形石器、安養寺谷池遺跡（高田）の池床から緑色珪岩の細石核や姫高産黒曜石製の細石刃などが採取されている。

縄文時代

遺構は確認されていないものの、丘陵地で早期から晩期の遺物が確認されている。阿部ヶ谷池遺跡（高田）では後期中津式土器に類似した土器、サオ池遺跡（別府）から晩期の土器が採取されている。また、マス池遺跡（別府）では、池床に包含層の露出が確認されており、早期の押型文土器、後期の彦崎K1式・K2式に類似した土器が出土している。発掘調査では、善応寺大庭北遺跡から後期の土器、別府遺跡2区（別府）の自然流路から晩期の突帯文土器及び石器が出土している。

弥生時代

前期の遺跡は少ない。片山遺跡（片山）では発掘調査により前期末の集落を区画する溝と貯蔵穴が確認されている。大相院遺跡7・8区（善応寺）でも、発掘調査により貯蔵穴と考えられる土坑が数基確認されている。また、正式な調査は行われていないため、遺構は不明であるが、市指定史跡「南宮ノ戸貝塚」（高田）から貝殻や獣骨等とともに前期末の土器のほか石器などが出土している。

中期になると遺跡数は増加し、特に後半になると高天性集落が盛行する。椋ノ原山遺跡（高田）では、発掘調査により標高約165 mの丘陵尾根上に5基の円形の竪穴建物跡が確認されており、中期末～後期初頭の土器のほか鉄鍬が出土している。そのほか八竹山遺跡（八反地）や片山池遺跡（別府）でも土器が採取されている。

後期では、大相院遺跡（善応寺）の発掘調査により堅穴建物跡、土坑及び溝等が確認されており、後期後半から古墳時代初頭の在地の土器に伴い讃岐系、畿内系、吉備系及び山陰系の外来系土器が多く出土している。椋の原清水遺跡（八反地）では製塩土器が出土している。そのほか、波田遺跡（高田）、西久保遺跡（久保）、平山池遺跡（八反地）、大成遺跡、神田遺跡（以上、神田）、陣屋遺跡、平原遺跡（以上、院内）、土居遺跡、観音堂遺跡等（以上、善応寺）において土器が採取されている。

古墳時代

集落遺跡は、常保免遺跡（常保免）において前期から後期にかけての堅穴建物跡が確認されており、讃岐系や山陰系などの外来系土器が出土している。

古墳では、櫛玉比売命神社古墳（高田）が、堅穴式石塚を有する前期末あるいは中期初頭の全長75mの前方後円墳と伝えられており、同丘陵の北に位置する国津比古命神社古墳（高田）は、これに後続するとされている。また、近年調査された、椋ノ原16号墳（高田）は木棺直葬墓を主体部とする前期古墳と考えられている。中期では、波田古墳群（高田）や萩尾古墳群（宮内）等、箱式石棺を主体部するものが見られ、後期になると、片山・龍徳寺山古墳群（片山・別府）や地藏堂古墳群（常竹）等で横穴式石室が盛行する。特に龍徳寺山1号墳（別府）は、特異な形態の横穴式石室を有しており注目される。終末期に比定されている椋ノ原C区3号墳（善応寺）では馬楸の副葬が確認されており、全国でも珍しい事例である。そのほか市指定史跡「善応寺古墳（河野塚）」から人骨、鏡及び剣が発見されたと伝えられている。

古代

平安時代中期に作られたとされる『和名類聚抄』によると、伊予国の風早郡には粟井、河野、高田、難波、那賀の5つの郷があったと記されている。それぞれの比定地は諸説あるものの、善応寺はこの内の河野郷に含まれると考えられている。

市指定史跡「礎石（茶臼権現）」（別府）は、幅約140cm、高さ約70cmを測る大型の礎石で、本来は現在地より東20mの小字「大寺」内に在ったといわれており、周辺では古代瓦が採取されている。また、別府遺跡では、発掘調査により古代の須恵器や古代瓦が出土している。これらのことから、近隣に官衙あるいは古代寺院が存在する可能性が示されている。善応寺大庭北遺跡では区画溝が確認され、大相院遺跡10区（善応寺）では古代の須恵器や瓦のほか、円面硯が出土している。また、善応寺地区では、平安時代の善応寺経塚や日浦経塚が存在するほか、県指定有形文化財「金銅誕生佛立像」が細かく出土したと伝えられている。

中世

平安時代末期になると源氏を主とした反平氏勢力が各地で挙兵し、風早郡河野郷に本拠を置く有力豪族であった河野氏もこれに合わせて蜂起した。以後、浮沈はあるものの風早郡は戦国時代末期まで河野氏の勢力圏であり、14世紀に本拠を湯築城（道後）に移すまで、善応寺に在ったと伝えられる土居館は政治の中心であったと考えられている。

したがって、周辺には多くの山城が築かれており、雄甲城、雌甲城（以上、高山）、高穴城（横谷）、須保木城（苞木）等の存在が知られている。これらは、踏査によって曲輪、堀切及び堅堀等が確認されているが、発掘調査は実施されていないため時期等不明な点が多い。また、湯築城に本拠を移してから後、土居館とその周辺は河野通盛により京都の東福寺に模して七堂十三塔頭を有する大伽藍、好成山善応寺となったが、それを明確に示す遺構はこれまで確認されていない。しかしながら、寺域

であったことを示唆する字名が善応寺には数多く残っており、大相院遺跡 10 区（善応寺）では開山よりも古い 13 世紀の遺構と遺物が確認されている。北条片町遺跡（北条）、河野小学校構内遺跡（宮内）では集落跡とみられる遺構が確認されている。そのほか、別府では工事に伴い高麗青磁の破片が出土している。

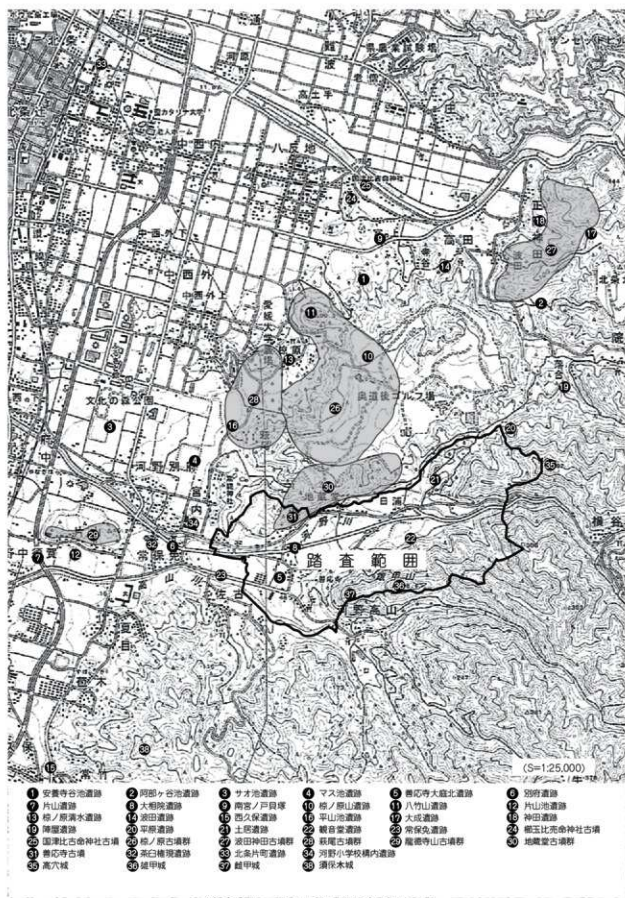
近世

河野氏が豊臣氏に降った後、風早郡はかつて河野氏の臣下であった得居通幸と来島通総の兄弟に与えられ、それぞれが鹿島城と忠良城を拠点とした。慶長・文禄の役により二人が戦死した後は、通総の所領は嫡男の来島通親が継承した。関ヶ原以後は、加藤嘉明と藤堂高虎によって分割統治され、河野村は宮内を除き藤堂領となったとされている。藤堂氏の移封後は、脇坂安治を経て加藤貞泰が継承し、寛永 12 年に替地によって松平領（松山藩）となるまで、河野村は加藤領（大洲藩）であった。以後、明治維新を迎えるまで松山藩として続く。

参考文献

- 長井敦秋・得居義治・土居内茂喜・井上忠衡 1979 「北条市龍徳寺山 1 号古墳発掘調査報告書」北条市教育委員会
 北条市誌編集委員会編 1981 「北条市誌」北条市誌編纂会
 愛媛県史編さん委員会編 1982 「愛媛県史・原始・古代 I」
 正岡睦夫・十亀幸雄 1985 「日本の古代遺跡 22 愛媛」保育社
 愛媛県史編さん委員会編 1986 「愛媛県史 資料編 考古」愛媛県
 景浦勉 1995 「伊予の歴史（下）改訂版」愛媛文化双書刊行会
 大山正風 1997 「椋ノ原（北条市椋ノ原遺跡）」
 竹田覚 1998 「別府若宮の礎石に関連する遺物について」『風早 21 号』風早歴史文化研究会
 大北冬彦・寺嶋信三 1999 「片山遺跡 片山 1 号墳」北条市教育委員会
 内田九州男・寺内浩・川岡勉・矢野達雄 2003 「愛媛県の歴史」山川出版社
 岡田印刷編 2004 「飛 北条市合併記念誌」北条市
 三好裕之・今泉ゆかり・岡美奈子 2004 「善応寺畦地遺跡 大相院遺跡 別府遺跡」（財）愛媛県埋蔵文化財調査センター
 大北冬彦・東園千輝男・長尾聡子 2004 「北条常保免遺跡」北条市教育委員会
 高尾和長 2007 「高田遺跡」『松山市埋蔵文化財調査年報 19』松山市教育委員会・（財）松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センター
 山之内志郎 2008 「北条片町遺跡」松山市教育委員会・（財）松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センター
 山之内志郎 2009 「善応寺大庭北遺跡」松山市教育委員会・（財）松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センター
 宮内慎一 2013 「河野小学校構内遺跡」『松山市文化財調査年報 25』松山市教育委員会・（財）松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センター

北条地区（善応寺）踏査



第 129 図 北条地区踏査周辺遺跡分布図

第2節 調査の方法と経過

(1) 調査の方法

調査は、踏査により実施した。調査地は全体的に緩斜面であり、最も多い土地利用形態は、棚田状に整備された田畑で、次に多いのは宅地である。これらを土地の形状や道路を境として10区に地区割りし、平成21年度は1～3区、平成22年度は4～10区を対象とした(第130図～第136図)。

踏査の方法としては、敷地を踏み荒らすことのないよう基本的に畦や擁壁上等を通りし、地番が付された土地別に遺物の採取を行った。既存建物、道路及び宅地造成されている箇所については、踏査不可能なため対象外とした。耕作放棄等により背丈のある雑草が生い茂っている荒地等については、踏査困難であったために実施していない。なお、7～9区の一部については、平成9年度から13年度まで大規模な圃場整備が行われているため採集遺物が元の場所から大きく移動している可能性があることから参考地とする。

なお、善応寺には発掘調査遺跡名ともなった「大相院」をはじめ、「福楽寺」、「見壽院」、「阿弥陀堂」等、寺に由来すると考えられる字名が多く存在する。現善応寺院は「明知庵」に位置する。

(2) 調査の経過

調査は、当初より稲の収穫後の11月以降に開始することとしていたが、平成21年9月2日(水)に北条ふるさと館において風早歴史文化研究会及び善応寺地区会に調査目的及び方法を説明し、協議をお願いした結果、12月半ばより実施することとなった。また、調査範囲が横谷地区会に及ぶことから、同会にも説明することを提案されたため、11月13日に横谷地区長へ説明に伺った。12月1日に風早歴史文化研究会と共に対象地を下見し、同研究会より善応寺の字図の提供を受けた。以降、調査の経過は以下の通りである。

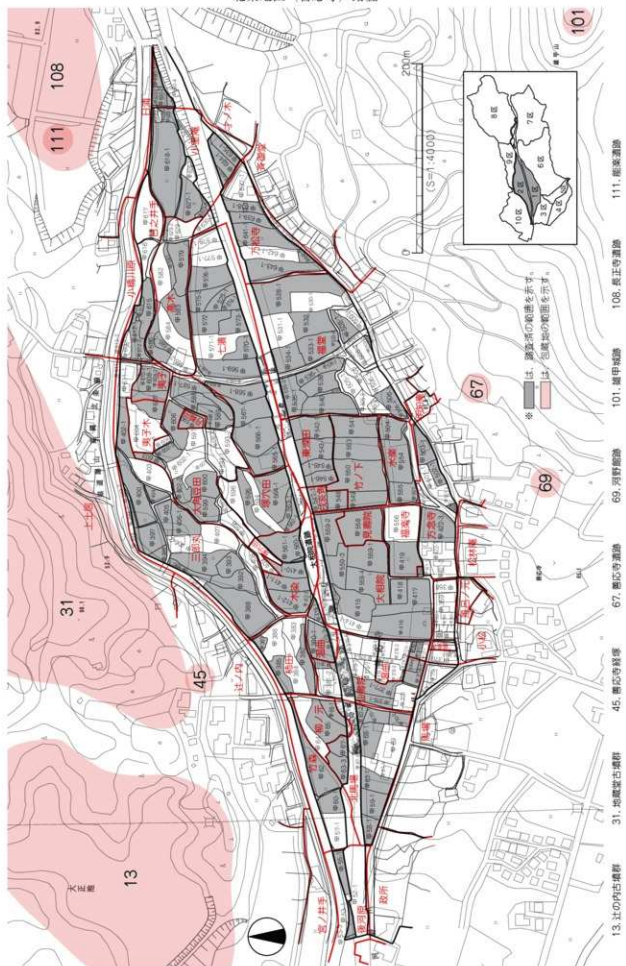
平成21年度

平成21年12月18日(金)	1区から3区の調査を開始
平成22年3月19日(金)	平成21年度の調査を終了

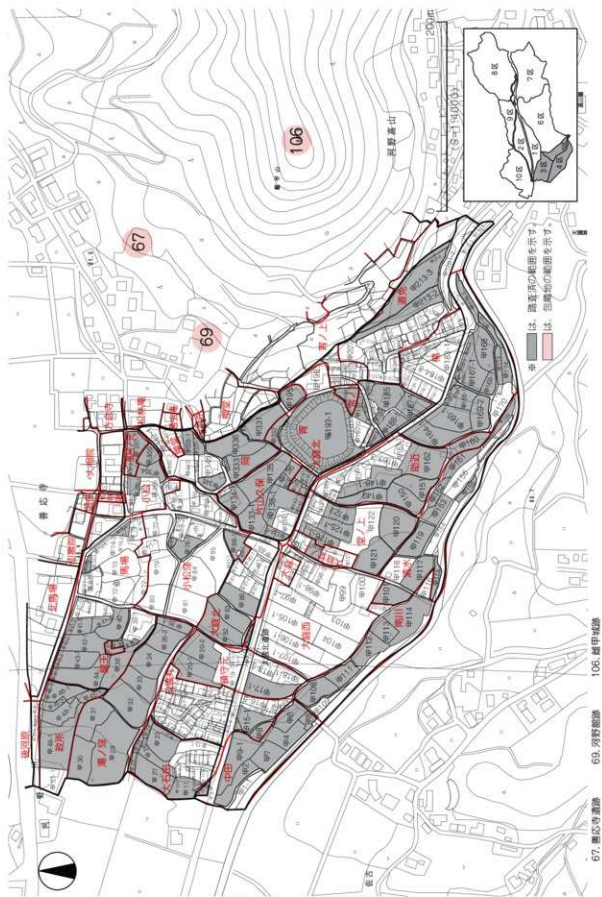
平成22年度

平成23年2月15日(火)	4区から10区の調査を開始
平成23年3月31日(木)	平成22年度の調査を終了

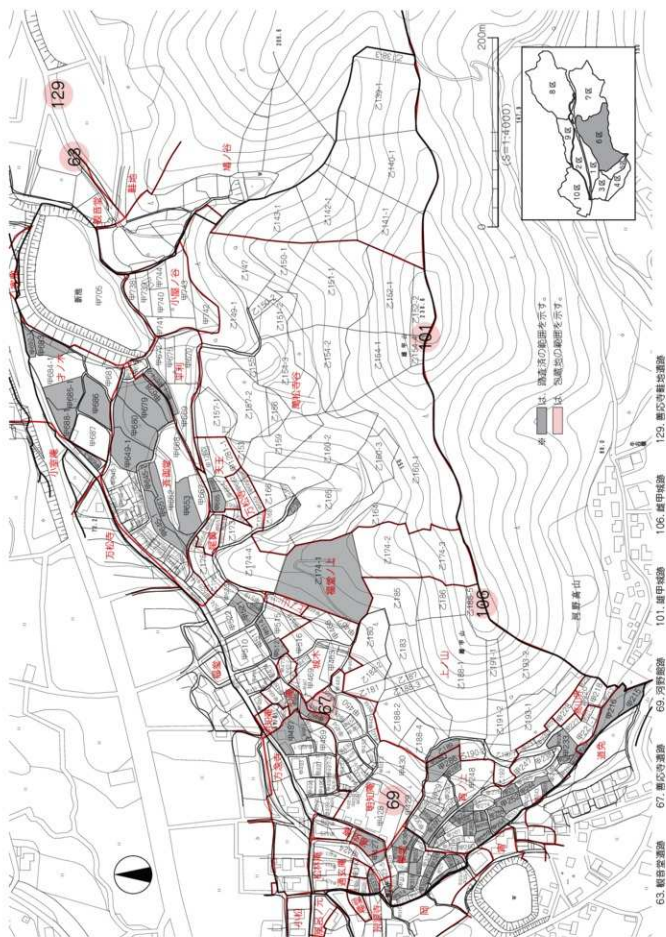
北条地区（善応寺）踏査



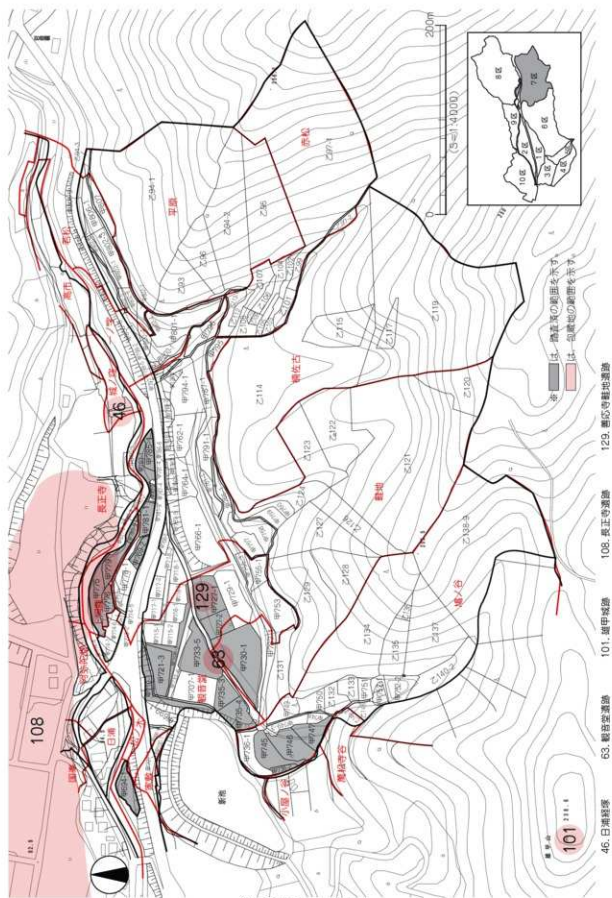
第 130 図 1区・2区位置図
146

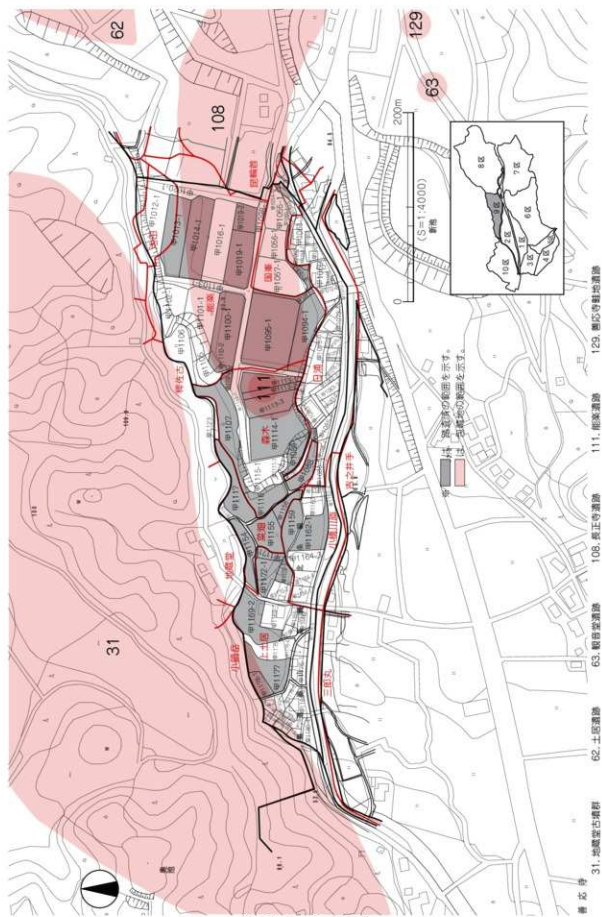


第131図 3区～5区位置図

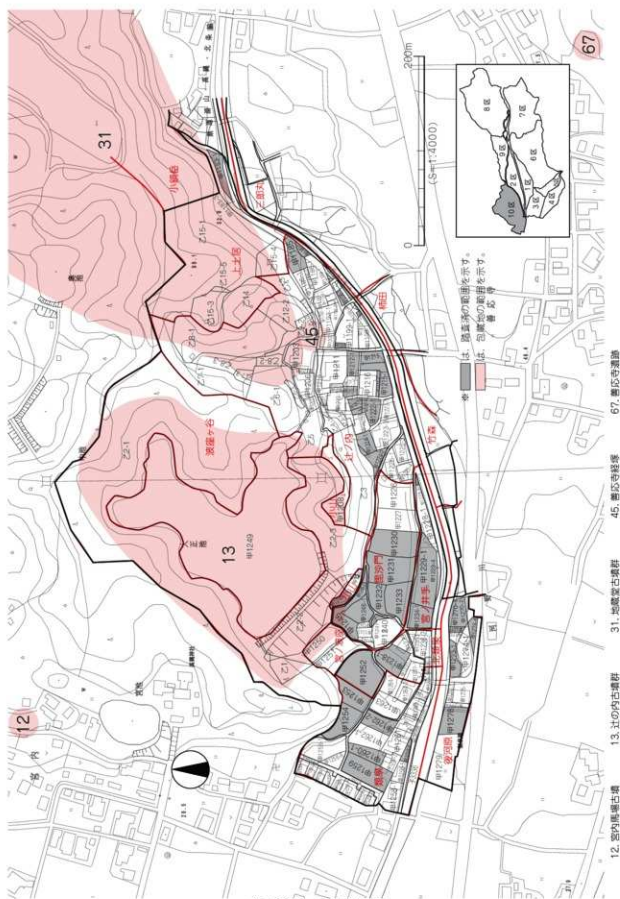


第132図 6区位置図





第135図 9区位置図



第136図 10区位置図

第3節 調査の成果

(1) 採集遺物の分類

採集した遺物は、「土師質土器」、「須恵質土器」、「瓦質土器」、「陶磁・磁器」、「瓦」「石製品」及び「鉄製品」に分類し、「土師質土器」については、大相院遺跡の弥生土器の胎土に近いA(1mm以上の石英や長石を多く含むもの)とB(A以外のもの)に小分類した。なお、東播系等の中世須恵器は「須恵質土器」に含め、備前焼等の焼締め陶器は「陶器・磁器」に含めた。貿易陶磁器は特にこれを抽出した。採集量の計測については、「土師質土器A・B」及び「須恵質土器」は地番別に重量を計測し、その他は点数を数えた。「土師質土器A・B」、「須恵質土器」の採集量として点数を採用しなかったのは、遺物それぞれの個体差が大きいため、点数で量を表すのは一律でないと考えたからである。

(2) 21年度の調査(1区～3区)

1区(第137図、図版7、表24)

1区は、善応寺の中央部、離甲山から河野川までの間の台地南部にあたる。字名には、発掘調査地名の「大相院」をはじめ、「見壽院」、「方念寺」等、寺院に関係するものが多い。踏査できたのは約8割の範囲で、その内のほぼ全域で遺物を採集した。特に、「北馬場」から「大相院」の一带にかけて多数の遺物を採集した。採集した遺物は、土師質土器A 1860.0g、土師質土器B 175.2g、須恵質土器135.9g、瓦質土器2点、陶器・磁器94点(内、貿易陶磁器2点)、瓦26点、石製品5点、鉄製品5点である。

1・2は弥生土器の甕の底部。2は内外面ともにナデ調整。弥生中期。3～6は土師器。3は甕の口縁部。4は皿。底端部は丸みをもち器壁が厚い。室町期(16世紀)。5・6は三足釜の口縁部と脚端部。5は口端部に断面三角形の突帯を持つ。室町期(15世紀)。7は瓦質の焙烙。口縁部に段を持つ。江戸期。8はサヌカイト製の刃器。石錐の可能性もある。

2区(第137図、図版7、表25)

2区は、善応寺の中央部、台地北部にあたる。河野川のある北部は比高差が大きい。字名には、「塚穴田」や「月輪田」等、田地に関するものが多い。踏査できたのは約7割の範囲で、その内の西側を中心として遺物を採集した。特に、「柳ノ元」から「温曲」の一带にかけて多数の遺物を採集した。採集した遺物は、土師質土器A 1484.7g、土師質土器B 81.2g、須恵質土器44.9g、瓦質土器1点、陶器・磁器32点(内、貿易陶磁器3点)、瓦2点、鉄製品2点である。

9は弥生土器の甕の口縁部。外反し、口端部は面を持つ。弥生後期。10は土師器の坏の底部。11は須恵器の坏の口縁部。口端部は丸く収まる。12・13は陶器。12は大型壺の胴部。外面にカキ目が残る。焼成は堅緻。13は行平鍋の蓋。14は同安窯系青磁の皿。内面に片彫りの弧状の文様とジグザグ状の点描文が施される。底部外面の軸葉は掻き取られている。平安期(12世紀)。

3区(表26、図137、図版7)

3区は、善応寺の西部、河野川と高山川に挟まれた台地にあたる。字名には、「政所」、「馬場」及び「鎮守元」等、古代の役所に関するものが多い。踏査できたのは約5割の範囲で、その内の西側を中心として遺物を採集した。特に発掘調査を実施した大庭北遺跡の北及び東において多数の遺物を採集した。採集した遺物は、土師質土器A 1332.5g、土師質土器B 180.8g、須恵質土器154.6g、瓦質土器4点、陶器・

磁器 67 点（内、貿易陶磁器 2 点）、瓦 15 点、石製品 3 点である。

15 は弥生土器の甕の底部。弥生中期。16～26 は土師器。17 は壺の口縁部。稜を持ちやや立ち上がる。古墳後期。18 は高坏の基部。19 は黒色土器の埴の底部。断面三角形の低い高台を持つ。平安期（10 世紀）。20 は埴の口縁部。端部がやや外反する。器壁が薄く、堅緻。23・24 は瀬戸内系の焙烙の口縁部。25・26 は三足釜の脚部。27～30 は須恵器。27 は坏の底部。高台は低く、外側で接地する。奈良期（8 世紀）。28 は坏蓋のつまみ部。奈良期（8 世紀）。29 は埴の口縁部。端部はやや肥厚する。平安期（10 世紀）。30 は甕の口縁部。31～34 は陶器。31 は備前焼の播鉢。焼成は堅緻で、断面は暗灰色を呈する。江戸前期。34 は福建省系陶器の盤の口縁部。口縁部断面は方形。軸葉は黄軸。施軸は両面に及ぶ。平安期（12 世紀）。35 は青磁碗の口縁部。36 は石匙。37 はスクレイパー。

（3）22 年度の調査（4 区～10 区）

4 区（第 138 図、図版 7、表 27）

4 区は、善応寺の南西部、高山川の北岸一帯にあたる。字名には、「大庭」、「堂ノ上」等がある。踏査できたのは約 6 割の範囲で、その内の踏査が不可能であった中央以外のほぼ全域において遺物を採集した。採集した遺物は、土師質土器 A 464.3g、土師質土器 B 44.9g、須恵質土器 29.9g、陶器・磁器 46 点、瓦 2 点、鉄製品 1 点である。

1 は三足釜の脚部。2 は亀山焼系の甕の胴部。外面は格子タタキ、内面はナデ調整。色調は褐色を呈し、土師質に近いが、焼成は堅緻。室町期（14 世紀）。3 は須恵器の埴。円盤状の高台を持つ。平安期（10 世紀）。4 は陶器の鉢の口縁部。江戸期。5～7 は磁器。6 は瀬戸焼の端反碗。線描きの文様が施される。幕末期。7 は砥部焼の白磁皿。菊型の型打ち整形によるもの。幕末期。

5 区（表 28、図 138、図版 8）

5 区は、善応寺の南西部、離甲山の西山麓にあたる。字名には、「片山久保」、「青」等がある。踏査できたのは約 7 割の範囲で、その内の主に北側で遺物を採集した。採集した遺物は、土師質土器 A 27.7g、土師質土器 B 53.0g、瓦質土器 3 点、陶器・磁器 40 点（内、貿易陶磁器 2 点）、瓦 2 点である。

8・9 は弥生土器の壺の口縁部と頸部。8 は甕の可能性もある。大きく外反し、口縁端部はやや下に拡張する。弥生後期。9 は頸部に斜格子文の突帯を持つ。弥生後期。10 は土師質の鍋。平安期（12 世紀）。11～16 は陶器。11・12 は備前焼播鉢の口縁部。11 は注口脇の部分。焼成は堅緻で断面は暗灰色を呈する。織豊期。12 は塗土による焼成。断面は明赤褐色を呈する。幕末期。15 は小型甕。肩部に多条沈線が施される。軸葉は鉄軸。16 は土瓶の底部。江戸後期。17～21 は磁器。18 は肥前系の陶胎染付碗。江戸中期。19 は碗の口縁部。外面青磁釉で口縁内面には四方禪文が巡る。江戸中期。22 は龍泉窯系青磁の碗の底部。施軸は厚く、高台内は蛇の目軸割ぎされる。室町期（14 世紀）。

6 区（表 29、図 138、図版 8）

6 区は、善応寺の南部、離甲山及び雄甲山の北山麓にあたる。字名には、善応寺院のある「明知庵」のほか「万松寺」、「斎御堂」等、寺院に関係するものが見られる。踏査できたのは、調査困難な山地部分（乙番地）を除くと約 4 割の範囲で、その内の主に東部において多数の遺物を採集した。採集した遺物は、土師質土器 A 342.5g、土師質土器 B 87.4g、須恵質土器 23.0g、陶器・磁器 24 点（内、貿易陶磁器 3 点）、瓦 4 点、石製品 1 点である。

23 は土製の焔炉又は火鉢。24 は瀬戸内系の焙烙の口縁部。25～30 は陶器。25 は播鉢の胴部。26・

27は灯明受皿。26は京・信楽焼系の御付き。28は灯明皿（油皿）。29は甕又は壺の胴部。肩部下に凹線が入る。31は白磁の皿。以上、江戸期。32は施釉陶器の底部。釉薬は黄釉。内外面ともに施釉され、畳付及び高台内は露胎。33は青磁碗の底部。内外面ともに施釉され、畳付は露胎。

7区（第139図、図版8、表30）

7区は、善応寺の南東部、河野川の谷口の南岸にあたる。字名には、発掘調査地名である「畦地」のほか「松ノ木」等がある。踏査できたのは、調査困難な山地部分（乙番地）を除くと約3割の範囲で、その内、主に西部において多数の遺物を採集した。採集した遺物は、土師質土器A 477.0g、土師質土器B 12.1g、須恵質土器16.2g、陶器・磁器10点（内、貿易陶磁器1点）、石製品1点、鉄製品1点である。

34・35は弥生土器。34は甕の口縁部。35は壺の頸部。刻目突帯を持つ。弥生中期。36～38は土師器。36は三足釜の口縁部。口縁下に断面三角形の突帯を持つ。室町期（15世紀）。37・38は瀬戸内系の焙烙の口縁部。39は須恵器の埴の底部。高台部分を欠く。平安期（10世紀）。40は龍泉窯系青磁碗の底部。器壁が厚く、内外面ともに施釉される。高台内は露胎。室町期（14世紀）。

8区（第139図、図版8、表31）

8区は、善応寺の北東部、河野川の谷口の北岸と連続する北側の谷一帯にあたる。字名には、包蔵地名である「長正寺」のほか「後堂」、「阿弥陀堂」等、寺院に関係するものが見られる。踏査できたのは、調査困難な山地部分（乙番地）を除くと約2割の範囲で、その内、主に西南部において多数の遺物を採集した。採集した遺物は、土師質土器A 598.3g、土師質土器B 21.3g、須恵質土器1.9g、瓦質土器1点、陶器・磁器17点（内、貿易陶磁器1点）、瓦1点、石製品3点、鉄製品1点である。

41・42は弥生土器。41は甕の上げ底の底部。弥生中期。42は甕。くの字状に外反する。器壁は薄い。弥生終末期。43は三足釜。口縁は内湾し、口縁下に断面三角形の突帯を持つ。室町期（15世紀）。44は染付磁器碗。広東形。畳付は露胎。江戸後期。45は龍泉窯系青磁の碗。外面に蓮葉弁文が施される。鎌倉期（13世紀）

9区（第140図、図版8、表32）

9区は、善応寺の北部、河野川の北岸と北の山塊の間一帯にあたる。字名には、包蔵地名である「能楽」のほか「森木」等がある。踏査できたのは約5割の範囲で、その内の主に中央部において遺物を採集した。採集した遺物は、土師質土器A 451.2g、土師質土器B 20.5g、須恵質土器28.5g、瓦質土器1点、陶器・磁器10点である。

46・47は三足釜の脚部と口縁部。47は口縁下に断面三角形の突帯を持つ。室町期（15世紀）。48は東播系須恵器のこね鉢の口縁部。「く」の字に内傾する。室町期（14世紀）

10区（第141図、図版8、表33）

10区は、善応寺の北西部、河野川の北岸の狭い丘陵部にあたる。字名には、包蔵地名である「辻ノ内」のほか「毘沙門」等がある。踏査できたのは約4割の範囲で、その内の主に西部において遺物を採集した。採集した遺物は、土師質土器A 53.4g、土師質土器B 8.2g、陶器・磁器4点である。

49は播鉢の胴部。50は磁器碗の口縁部。51は泥面子。放射状の文様が型押しされる。

なお、瓦はほぼ全区において採集したが、全て焼成が近世瓦に近似したもので、中世のものと断定できなかった。また、鉄製品は全て小片で、種類を特定できなかった。

北条地区(善応寺)踏査

地番	字名	種別 (現況)	採集遺物							備考	
			土師質		須恵質 (g)	瓦質 (点)	陶器・ 磁器 (点)	瓦 (点)	石製品 (点)		鉄製品 (点)
			A類 (g)	B類 (g)							
甲58-1	北馬場	田	24.0	1.3			1				
甲59-1	北馬場	田	9.6	1.5			2				
甲63-1	北馬場	畑	23.3	2.8	24.6		4				
甲67-2	北馬場 (住居跡)	畑	45.9				4				
甲68-1	北馬場 (住居跡)	畑	134.2	25.5				1	1	2	
甲70-1	北馬場 (住居跡)	畑	77.7	1.8		1	1	2			
甲70-2	北馬場 (住居跡)	畑	50.8					2			
甲372-1	温曲	住宅残地	16.1								
甲372-2	温曲	雑種地	160.8	15.1			3				
甲374-1	仙壽院	畑	128.4	15.2			2		3		
甲374-2	仙壽院	畑	94.3	4.1			1				
甲376-1	仙壽院	畑	50.4		16.7			5			
甲377-1	仙壽院	畑	286.4	9.7	1.9		2	1			
甲414-2	大相院(寺ノ門)	荒地	27.9	1.3	37.2			1			
甲415	大相院(寺ノ門)	田	28.4	7.1			2				
甲416	大相院(風呂ノ元)	住宅残地	159.1	16.7			9(質1)	1			
甲417	大相院(風呂ノ元)	畑(造成)	103.4	4.2			3	1		1	
甲418	大相院(風呂ノ元)	田	1.8					1			
甲419	福楽寺	田	15.2	0.7							
甲420	大相院	畑	1.5								
甲422-3	方念寺	RC/田					1				
甲501-3	方念寺	畑									
甲502-1	方念寺	畑	35.8	2.8		1	6				
甲503-1	方念寺	畑/建物	2.7				1				
甲504-1	水落	造成/田									
甲506-1	福堂	畑		15.0			2				
甲508-1	福堂	倉庫/畑		0.3			1				
甲509-2	福堂	更地									
甲528-1	福堂	田	9.1	2.6	2.3		3				
甲532	福堂	田	2.5	1.4			2				
甲533-1	福堂	田	25.0	5.0				1			
甲533-2	福堂	畑									
甲533-4	福堂	農道									
甲534-1	福堂	畑	2.6	1.4			5				
甲535-1	福堂	田	22.1		7.0		6				
甲535-2	福堂	田	1.2								
甲536-1	福堂	田	1.9		6.1		1				
甲536-2	福堂	田									
甲538	福堂	田	3.3				1				
甲539	福堂	田									
甲540	福堂	田	17.2				2	1			
甲541	竹ノ下	田	11.2				1				
甲542-1	東深田	田/畑	15.6		7.0						

調査の成果

地番	字名	種別 (現況)	採集遺物							備考	
			土師質		須恵質 (g)	瓦質 (点)	陶器 磁器 (点)	瓦 (点)	石製品 (点)		鉄製品 (点)
			A類 (g)	B類 (g)							
甲543-1	東深田	田									
甲545-1	東深田	田	25							1	
甲546-1	東深田	田	53				1				
甲547-1	戊亥角	畑									
甲548	戊亥角	田								1	
甲549	竹ノ下	田	59								
甲550	竹ノ下	田(2枚)	20	26			3				
甲553	竹ノ下	田	99	32			2	1			
甲554	水落	田	216	23	183			1			
甲555	水落	田							1		
甲557	水落	畑	148	24							
甲558	見壽院	田	152	19	89		1				
甲559-1	大相院	田	128	06			1				
甲559-2	大相院	田	233	22			1				
甲559-3	大相院	田	1154	163	29		8(質1)	5			
甲559-4	大相院(元寺)	田	260	36			6				
甲633-1	小室庵	畑									
甲634-1	小室庵	畑	39	36							
甲635-1	小室庵	畑									
甲638-1	万松寺	田		05			2	1			
甲639-1	万松寺	田	57	05				1			
甲641-1	万松寺	田(2枚)					1				
甲642-3	万松寺	畑	42		30						
甲643-1	万松寺	田	21				2				
小計			18600	1752	1359	2	94(2)	26	5	5	

表 25 2区採集遺物分類表 (1)

地番	字名	種別 (現況)	採集遺物							備考	
			土師質		須恵質 (g)	瓦質 (点)	陶器 磁器 (点)	瓦 (点)	石製品 (点)		鉄製品 (点)
			A類 (g)	B類 (g)							
甲53-1	後河原	畑	98	06							
甲53-3	後河原	水路/残地									
甲55-1	後河原	田	201	03			1				
甲60-1	竹森	田	57	37							
甲62	竹森	田/畑	398	17			1				
甲63-3	北馬場	畑	170								
甲65	柳ノ元	田	723	21	11		2(質1)				
甲66-1	柳ノ元	畑	859								
甲67-1	北馬場	田/畑	1470	56			3			1	
甲379-3	仙壽院	畑	587	12							
甲380-1	温曲	畑	3364	99			1				
甲381-1	仙壽院	畑	152								
甲382	柿田	畑/植樹	1430	38						1	
甲385	柿田	田	100	11			1	1			

北条地区(善応寺)踏査

2区採集遺物分類表										(2)	
地番	字名	種別 (現況)	採集遺物							備考	
			土師質		須恵質 (g)	瓦質 (点)	陶器・ 磁器 (点)	瓦 (点)	石製品 (点)		鉄製品 (点)
			A類 (g)	B類 (g)							
甲387	柿田	畑	8.0	4.1							
甲388	三部丸	公園									
甲392	三部丸	田	38.0	1.6							
甲393	三部丸	田/畑	34.4	0.8			1				
甲394	三部丸	畑/荒地	1.2				1				
甲395-1	三部丸	畑	9.3	1.0			2				
甲396	三部丸	畑/荒地									
甲397	三部丸	田	1.2				1				
甲398	三部丸	畑									
甲399-1	三部丸	畑									
甲400	三部丸	田		0.2							
甲402-1	三部丸	畑									
甲404	三部丸	畑									
甲405	三部丸	畑	1.8		17.5						
甲406-1	三部丸	畑	4.6	2.5			1				
甲410-1	木染	畑	53.3	1.5							
甲411-1	木染	畑	43	0.6			3(賃1)				
甲412-1	木染	畑	22.5	5.2			1				
甲413-1	温曲	畑	183.1	22.2			1				
甲560-1	木染	田	1.3	0.7							
甲561-1	木染	田	29.1	5.1			2				
甲562-1	塚穴田	田	2.5								
甲563-1	塚穴田	田	2.2								
甲564-1	塚穴田	田/畑	3.7								
甲565-1	七濱	畑/残地									
甲566-1	七濱	田	16.0				1				
甲567-1	七濱	畑/田	8.2				1				
甲568-1	七濱	田									
甲569-1	七濱	田	10.3								
甲570-1	七濱	田									
甲572	七濱	田									
甲573-1	七濱	田									
甲574-1	七濱	田									
甲575-1	七濱	田									
甲575-2	七濱	田	1.7				2				
甲576-1	七濱	田		2.3							
甲579	高木	田/畑									
甲581	高木	田									
甲583	高木	田									
甲585-1	高木	畑/荒地									
甲586-1	高木	畑	10.7				1(賃1)				
甲587-1	大角豆田	畑/田	2.4								
甲588	大角豆田	田/畑									

調査の成果

地番	字名	種別 (現況)	採集遺物							備考	
			土師質		須恵質 (g)	瓦質 (点)	陶器 磁器 (点)	瓦 (点)	石製品 (点)		鉄製品 (点)
			A類 (g)	B類 (g)							
甲589	大角豆田	田									
甲590	月輪田	畑									
甲595	塚穴田	田	123			1	3	1			
甲599	大角豆田	田	15								
甲600	大角豆田	田									
甲602-2	大角豆田	畑	236		151						
甲602-3	大角豆田	畑					1				須恵野は 龜山坑
甲603	大角豆田	畑	36	14							
甲606	大角豆田	畑/田									
甲607	夷子木	畑/田									
甲608-1	夷子	畑/田									
甲612-1	吉之井手	畑		14							
甲614	吉之井手	畑/緑地									
甲615	吉之井手	畑			87						
甲618-1	小室庵	田	230	06			1				
甲623-1	小室庵	畑									
甲627-1	小室庵	田			25						
甲627-2	小室庵	畑									
甲629-2	高木	畑									
甲690-1	オノ木	畑									
甲690-2	オノ木	畑									
甲690-4	オノ木	更地									
小計			1484.7	81.2	44.9	1	32(3)	2	0	2	

表 26 3区採集遺物分類表 (1)

地番	字名	種別 (現況)	採集遺物							備考	
			土師質		須恵質 (g)	瓦質 (点)	陶器 磁器 (点)	瓦 (点)	石製品 (点)		鉄製品 (点)
			A類 (g)	B類 (g)							
甲10-3	中田	畑									
甲11	大石田	畑	20.2	12.0	17.8		3	2			
甲20-1	鎮守元	田/畑	89.4	5.7	23.3		5	4	1		
甲20-2	鎮守元	田	25.3	3.3	20.2		11				
甲23	大石田	畑	52.0	3.6	28.0		1				
甲24	大石田	田	0.3				3(質1)				
甲25	大石田	畑	26.3			1	2				
甲26	大石田	畑	4.1		11.0						
甲27	大石田	畑	5.1	0.3			2				
甲28	大石田	畑	6.8								
甲29	湯ノ窪	田	20.3	3.6							
甲30	湯ノ窪(八寸)	田/畑	33.1								
甲31	湯ノ窪	田	4.2	2.6	7.6		4	1			
甲32	湯ノ窪	田/畑	23.7	1.2							

北条地区(善応寺)踏査

3区採集遺物分類表										(2)	
地番	字名	種別 (現況)	採集遺物							備考	
			土師質		須恵質 (g)	瓦質 (点)	陶器・ 磁器 (点)	瓦 (点)	石製品 (点)		鉄製品 (点)
			A類 (g)	B類 (g)							
甲33	湯ノ窪	田	31.4				1				
甲34	湯ノ窪	田	54.0	8.8			2				
甲35-1	湯ノ窪	更地(造成)	172.3	14.9		1	2				
甲35-2	湯ノ窪	畑	16.6								
甲36	馬場	田	15.3	5.9							
甲37	龍王	畑	71.4	9.2				1			
甲38	馬場・龍王	畑	37.3								
甲39-2	馬場・龍王	畑									
甲40	馬場	田	19.6	0.7			2	1			
甲41-4	馬場	田		2.0				1			
甲41-5	馬場	田	4.3				3	1	1		
甲42-1	馬場	田	17.3	0.5			1				
甲43-1	馬場	畑	36.3	13.2	1.5		1				
甲44-1	馬場	田(3枚)	50.8	0.8	10.2		8(質1)				
甲45-1	政所	田	37.9	3.0			3				
甲45-2	政所	田	5.3	0.6			2				
甲46-1	政所	田	8.9	0.6			4				
甲48-1	政所	田	4.5	1.9					1		
甲49-1	政所	畑	62.7	21.4	15.0		1				
甲74-1	馬場	田	4.7								
甲75-2	馬場	畑	8.1								
甲78-1	小松窪	畑(造成)	11.9								
甲78-3	小松窪	造成後残地									
甲78-5	小松窪	畑									
甲82	大庭北	田	149.5	7.4	12.5		2	1			
甲83	大庭北	田	11.5	6.2		1	1				
甲86	大庭北	田(2枚)	73.7	22.5	1.2			2			
甲88-1	小松窪	畑(荒地)	20.6	9.7			1				
甲88-3	小松窪	祠									
甲107-3	大庭西	畑	10.7	1.5				1			
甲354	小松	畑	10.1	6.2							
甲355	小松	畑/雑種地	30.5	6.8	6.3					須恵器は 龜山焼	
甲357-1	風呂ノ元	畑	18.3			1	1				
甲362-1	小松	畑	8.3	1.9							
集会場横の農道			17.9	2.8			1				
小計			1332.5	180.8	154.6	4	67(2)	15	3	0	

調査の成果

地番	字名	種別 (現況)	採集遺物							備考	
			土師質		須恵質 (g)	瓦質 (点)	陶器・ 磁器 (点)	瓦 (点)	石製品 (点)		鉄製品 (点)
			A類 (g)	B類 (g)							
甲 2	中田	田/畑	26.9				2	1	1		
甲 4	中田	田/畑	61.5	5.4	6.8		2				
甲 5	中田	畑	12.6				3				
甲 6	中田	畑	59.3	0.5							
甲 7	中田	畑	66.2	6.3	13.9		3				
甲 8	硫磺丸	田		0.5							
甲 9-1	中田	田/畑	24.5	8.9			1				
甲 14-3	硫磺丸	田					1				
甲 15-1	硫磺丸	田	9.3								
甲 17-1	鎮守元	畑	11.7	1.3							
甲 101	清水	畑	7.0								
甲 108	南川	田	8.7	0.9			1				
甲 111	南川	田	35.8	0.5							
甲 112	南川	畑		0.4							
甲 113	南川	畑	13.8	3.7			2				
甲 114	南川	畑	6.4				2				
甲 115	清水	畑									
甲 117	清水	畑	0.9				3				
甲 119	清水	田	4.9	0.7							
甲 120	堂ノ上	田	20.1	0.5			5	1			
甲 121	堂ノ上	田									
甲 123	堂ノ上	建物/畑									
甲 125-1	堂ノ上	畑	2.5				1				
甲 126-1	堂ノ上	畑	27.1	0.3							
甲 130-1	大庭堂ノ上	建物/畑									
甲 148-1	助近	建物/畑		1.1			1				
甲 149	助近	畑	2.5	0.9			2				
甲 150	助近	田	13.0				1				
甲 151	助近	田					2				
甲 152	清水	畑									
甲 153	清水	田									
甲 155	清水	畑									
甲 159	清水	畑									
甲 160	助近	田	2.9				2				
甲 161	清水	畑/建物									
甲 162	助近	田/畑/建物	0.6				5				
甲 164-1	楠	田/畑	10.5	9.9			1				
甲 165-1	楠	田	4.6	2.2			4				
甲 166-1	楠	田/建物									
甲 167-1	楠	田/畑	25.9		3.4		1				
甲 168	楠	田									
甲 169-1	楠	田	2.9		5.8						

北条地区(善応寺)踏査

地番	字名	種別 (現況)	採集遺物							備考	
			土師質		須恵質 (g)	瓦質 (点)	陶器・ 磁器 (点)	瓦 (点)	石製品 (点)		鉄製品 (点)
			A類 (g)	B類 (g)							
甲169-2	楠	田	2.2	0.3							
甲173	楠	田		0.6			1				
甲174	楠	田									
甲175	楠	田									
甲176-1	楠	田									
甲183-5	楠	水路									
甲184-3	楠	水路									
甲184-5	楠	水路									
小計			464.3	44.9	29.9	0	460	2	0	1	

地番	字名	種別 (現況)	採集遺物							備考	
			土師質		須恵質 (g)	瓦質 (点)	陶器・ 磁器 (点)	瓦 (点)	石製品 (点)		鉄製品 (点)
			A類 (g)	B類 (g)							
甲132-1	片山久保	瓦畑/畑									
甲133-1	片山久保	畑	92.8	6.4			6(質1)				
甲134-1	片山久保	畑	3.2				2				
甲135	片山久保	畑	6.8	5.5			4				
甲136	片山久保	畑	52.2	1.5	1		8(質1)				
甲138-1	片山久保	畑	48.4	0.5	1		3				
甲139	大庭北	畑	2.0				3				
(甲140-1)	大庭北	畑									
甲141-1	大庭北	畑	7.9	0.8			3				
(甲142-1)	大庭北	畑									
(甲142-2)	大庭北	畑									
(甲143)	大庭北	畑									
甲185	青	神社									
甲187-1	青	住宅									
甲188-1	青	住宅/畑									
甲189	青	神社参道									
甲190-1	青	畑									
甲190-3	青	建物/畑									
甲191-1	青	畑									
甲192-1	青	畑		0.3				1			
甲193-1	青	池	51.3	28.9		1					
甲194-1	宮/下	畑									
甲195	岡	畑/建物		2.3			1				
甲213-2	道免	畑	1.3	2.4							
甲213-3	道免	畑					2				
甲214	道免	畑									
甲331	岡	畑	1.1				2				
甲332	青	畑		4.4			1				
甲333	岡	畑									

調査の成果

地番	字名	種別 (現況)	採集遺物							備考	
			土師質		須恵質 (g)	瓦質 (点)	陶器・ 磁器 (点)	瓦 (点)	石製品 (点)		鉄製品 (点)
			A類 (g)	B類 (g)							
甲335	岡	塚/建物									
甲336	岡	柵橋畑	0.5				1				
甲337-1	岡	斜面/畑									
甲338-1	岡	畑					3	1			
甲346	岡	塚/建物	0.5				1				
小計			27.7	53.0	0	3	40(2)	2	0	0	

地番	字名	種別 (現況)	採集遺物							備考	
			土師質		須恵質 (g)	瓦質 (点)	陶器・ 磁器 (点)	瓦 (点)	石製品 (点)		鉄製品 (点)
			A類 (g)	B類 (g)							
甲215	道免	塚/造成	2.6	2.0							
甲216	道免	塚		11.7			2				
甲224	道免	塚									
甲233	青ノ上	塚	1.7								
甲234	青ノ上	塚	0.4								
甲235	青ノ上	塚		2.7							
甲241	青ノ上	塚									
甲244	青ノ上	塚	3.4								
甲251	青ノ上	塚									
甲252	青ノ上	塚									
甲254	青ノ上	塚	0.7				1				
甲255	青ノ上	塚									
甲256	青ノ上	塚									
甲257	青ノ上	塚									
甲258	青ノ上	瓦畑/畑	2.4	4.5			1				
甲259	青ノ上	塚	11.7	3.5			2		1		
甲265	青ノ上	塚									
甲266	青ノ上	塚			8.7						須恵野は 龜山後
甲270	青ノ上	瓦畑	4.3								
甲272	青ノ上	塚	2.8								
甲273	青ノ上	塚					1(質1)				
甲285	青ノ上	塚	8.4								
甲286	青ノ上	塚/農道	3.4								
甲288	青ノ上	塚/農道									
甲297	青ノ上	塚/建物	22.0								
甲299	青ノ上	塚									
甲304	櫻堂	塚		32.1							
甲305	櫻堂	塚	2.1	3.2			3				
甲308	櫻堂	塚	3.6								
甲314	櫻堂	塚									
甲318	櫻堂	塚									
甲320	櫻堂	塚					1				

北条地区(善応寺)踏査

6区採集遺物分類表										(2)	
地番	字名	種別 (現況)	採集遺物							備考	
			土師質		須恵質 (g)	瓦質 (点)	陶器・ 磁器 (点)	瓦 (点)	石製品 (点)		鉄製品 (点)
			A類 (g)	B類 (g)							
甲 321	櫻堂	畑	16.0	3.8			3				
甲 322	櫻堂	荒畑	12.2								
甲 323	櫻堂	畑	3.4	0.5							
甲 326	櫻堂	畑									
甲 328	櫻堂	畑									
甲 329-2	櫻堂	畑						2			
甲 330	櫻堂	畑									
甲 337-2	岡	畑(樹木)									
甲 427	通玄庵	施設									
甲 457	一心庵	梅林/墓地									
甲 486	一心庵	畑									
甲 487	方念寺	畑/荒地									
甲 490-2	方念寺	畑									
甲 512	福堂	畑									
甲 514	福堂	畑									
甲 520	福堂	荒畑/畑									
甲 521	福堂	樹木					3				
甲 636-3	小室庵	田									
甲 645-1	斉御堂	畑									
甲 645-2	斉御堂	田									
甲 649-1	斉御堂	畑	13.1	4.6	4.7						
甲 651	斉御堂	畑	93.0	8.5	6.0		1				
甲 653	斉御堂	畑	1.1								
甲 665	天王	畑									
甲 666	天王	畑									
甲 674-1	平利	畑	5.5								
甲 674-2	平利	畑									
甲 678	斉御堂	田					1				
甲 679	斉御堂	田	5.6					2			
甲 680	斉御堂	畑/田	6.0	2.8	3.6						
甲 683	才ノ木	田/建物	2.0	2.0							
甲 685-1	才ノ木	田/建物	103.4	0.8			2				
甲 686	才ノ木	田									
甲 688-1	才ノ木	田	5.9	2.0			3(質2)				
甲 692-1	才ノ木	田/道路	5.8	2.7							
乙 170	萬松寺谷	御堂/荒地									
乙 174-4	福堂ノ土	畑									
乙 189	上ノ山	畑									
小計			342.5	87.4	23.0	0	24(3)	4	1	0	

調査の成果

地番	字名	種別 (現況)	採集遺物							備考	
			土師質		須恵質 (g)	瓦質 (点)	陶器・ 磁器 (点)	瓦 (点)	石製品 (点)		鉄製品 (点)
			A類 (g)	B類 (g)							
甲 694-1	才ノ木	畑					1				
甲 708-1	観音堂	畑	56.5	0.6							
甲 710-1	観音堂	段土手									
甲 727-1	観音堂	畑									
(甲 727-2)	観音堂	畑									
甲 730-1	畦地	畑	132.5								
甲 733-5	観音堂	畑	43.0								
甲 735-3	観音堂	畑	141.9	1.8	7.8		5		1		
(甲 735-4)	観音堂	畑									
甲 736-2	鳩ノ谷	畑	12.6				1				
甲 745	鳩ノ谷	畑	2.6		8.4		3(質1)				
甲 746	鳩ノ谷	畑	40.8	6.8							
甲 747	鳩ノ谷	畑	20.1	1.7						1	
甲 769-2	畦地	畑									
甲 775	上河原	田/畑									
甲 776	上河原	畑									
甲 779	上河原	田									
甲 780-1	上河原	田									
甲 780-2	上河原	畑									
甲 781-1	畦地	畑	19.5	1.2							
甲 781-2	畦地	畑	1.8								
甲 783-1	畦地	畑	5.7								
(甲 785-1)	畦地	畑									
小計			477.0	12.1	16.2	0	10(1)	0	1	1	

地番	字名	種別 (現況)	採集遺物							備考	
			土師質		須恵質 (g)	瓦質 (点)	陶器・ 磁器 (点)	瓦 (点)	石製品 (点)		鉄製品 (点)
			A類 (g)	B類 (g)							
甲 817-1	城ノ窪	畑/田	67.3	18.6			1				
甲 819-1	長正寺	畑					2		3		
甲 821-1	長正寺	畑	0.9								
甲 829-2	長正寺	畑					1				
甲 831-1	長正寺	畑	62.8								
甲 832-1	長正寺	畑	2.8				2				
甲 836-2	長正寺	畑	4.6				1				
甲 840-1	長正寺	畑	2.7								
甲 842-1	長正寺	田	29.6	3.3							
甲 843-1	長正寺	田	1.4	0.4			2	1			
甲 845-2	長正寺	畑	31.4	1.0							
甲 847-1	長正寺	畑/建物									
甲 848-1	長正寺	畑									
甲 849-1	宮ノ下	畑	10.3	1.3			2				
甲 850-1	宮ノ下	田	2.9		1.9						

北条地区(善応寺)踏査

地番	字名	種別 (現況)	採集遺物							備考	
			土師質		須恵質 (g)	瓦質 (点)	陶器・ 磁器 (点)	瓦 (点)	石製品 (点)		鉄製品 (点)
			A類 (g)	B類 (g)							
甲 855-2	東角	畑									
甲 863-1	東角	田	7.7			1					
(甲 864-1)	宮ノ下	畑									
甲 865-1	東角	田	2.9								
甲 888-1	平原・後堂	田	2.2				1				
甲 902-3	平原	畑	1.5	3.0			2			1	
甲 908-13	後堂	畑									
甲 910-4	蔵谷	田									
甲 943-8	上居越	畑									
甲 974-1	平原・馬田・後堂	畑									
甲 976-1	馬田・瓜窪	畑									
甲 1020-1	能楽	畑	68.3	4.8							
甲 1022-1	瓜窪	畑	2.1				2 (質1)				
(甲 1022-2)	瓜窪・東角	畑									
甲 1036-1	明神・東角	畑	281.9								
(甲 1037-1)	東角	畑									
甲 1039-2	明神・東角	畑	4.2	7.0			1				
甲 1044-1	昆輪首・明神	田	6.5	0.5							
甲 1047-1	阿弥陀堂	畑/建物									
甲 1047-4	阿弥陀堂	畑									
甲 1048-1	阿弥陀堂	畑	4.3								
甲 1065-1	日浦	畑									
甲 1065-4	日浦	畑									
小計			598.3	21.3	1.9	1	17(1)	1	3	1	

地番	字名	種別 (現況)	採集遺物							備考	
			土師質		須恵質 (g)	瓦質 (点)	陶器・ 磁器 (点)	瓦 (点)	石製品 (点)		鉄製品 (点)
			A類 (g)	B類 (g)							
甲 1013-1	能楽	田									
甲 1014-1	能楽	田	28.9								
甲 1019-1	能楽	田	1.2								
甲 1019-2	能楽	田									
甲 1054-4	國峯	畑									
甲 1058-2	日浦	宅地残									
甲 1058-3	國峯	建物/畑									
甲 1084	日浦	畑									
甲 1088	森木	畑)									
甲 1089	森木	畑									
甲 1094-1	能楽	田	142.0	0.5			1				
甲 1095-1	能楽	田	36.8	5.1	4.5						

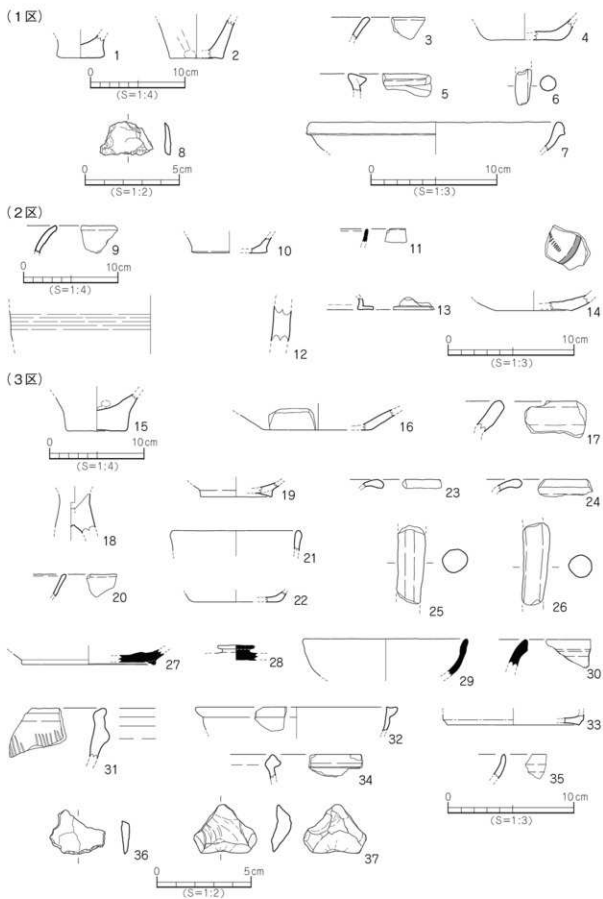
調査の成果

地番	字名	種別 (現況)	採集遺物							備考	
			土師質		須恵質 (g)	瓦質 (点)	陶器・ 磁器 (点)	瓦 (点)	石製品 (点)		鉄製品 (点)
			A類 (g)	B類 (g)							
甲1097-1	能楽	農道	9.7	1.8							
甲1100-1	能楽	畑	7.2								
甲1107	森木	田									
甲1108-1	森木	畑	11.0								
甲1113-1	森木	田	52.5								
甲1113-2	森木	田	12.2								
甲1113-3	森木	田	53.2	1.3							
甲1114-1	森木	田/畑	7.8	0.7							
甲1116	森木	畑	62.0				1				
甲1117	菜畑	田		4.1							
甲1154	菜畑	田/畑									
甲1155	菜畑	田	0.7				2				
甲1156	菜畑	田/畑	3.7	0.9							
甲1159	小橋川原	田/畑									
甲1162-1	小橋川原	畑	12.8	5.7			1				
甲1169-2	上土居	田			12.6		1				
甲1170-1	上土居	建物/畑									
甲1171	上土居	田	4.1		11.4						
甲1172-1	上土居	田	5.4	0.4		1	4				
甲1177	上土居	荒畑									
甲1178-1	上土居	畑									
小計			451.2	20.5	28.5	1	100.0	0	0	0	

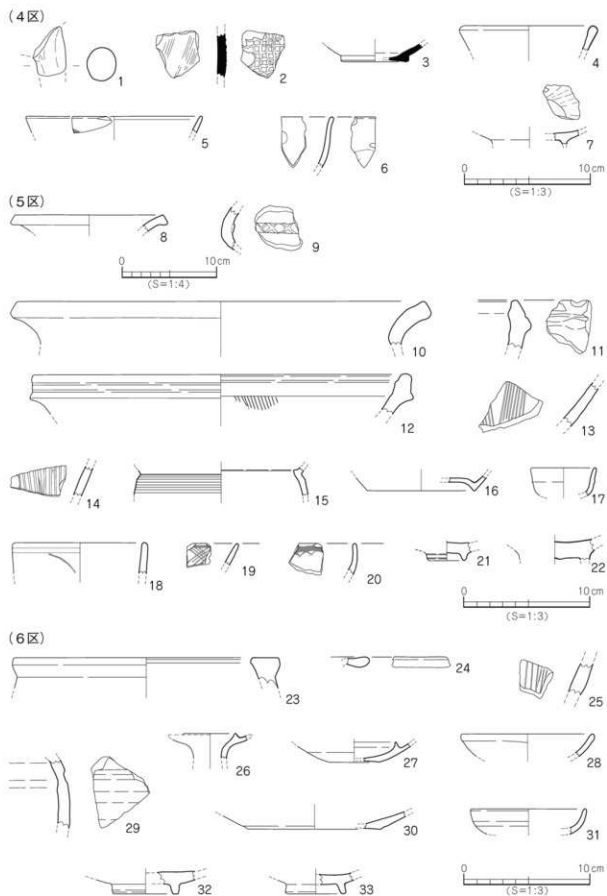
地番	字名	種別 (現況)	採集遺物							備考	
			土師質		須恵質 (g)	瓦質 (点)	陶器・ 磁器 (点)	瓦 (点)	石製品 (点)		鉄製品 (点)
			A類 (g)	B類 (g)							
甲1183-1	上土居	田									
甲1185	辻ノ内	御堂/境内									
甲1187-1	辻ノ内	畑									
甲1189-1	辻ノ内	駐車場残									
甲1196-1	辻ノ内	畑/駐車場									
甲1197-1	辻ノ内	駐車場残									
甲1201	辻ノ内	畑/駐車場									
甲1212-1	辻ノ内	畑									
甲1213	辻ノ内	畑									
甲1215-1	辻ノ内	畑/畑									
甲1215-2	辻ノ内	畑									
甲1217-1	辻ノ内	畑/倉庫									

北条地区（善応寺）踏査

10区採集遺物分類表										(2)	
地番	字名	種別 (現況)	採集遺物							備考	
			土師質		須恵質 (g)	瓦質 (点)	陶器・ 磁器 (点)	瓦 (点)	石製品 (点)		鉄製品 (点)
			A類 (g)	B類 (g)							
甲1221-1	辻ノ内	畑ノ駐車場	9.8	1.2			1				
甲1221-2	辻ノ内	畑	2.2	1.6							
甲1222-1	辻ノ内	畑	5.4	0.7			1				
甲1224-1	辻ノ内	畑									
甲1224-2	辻ノ内	畑									
甲1228-4	宮ノ井手	駐車場									
甲1229-1	宮ノ井手	田	5.2	1.3							
甲1230	毘沙門	田									
甲1231	毘沙門	田	1.1								
甲1232	毘沙門	荒畑									
甲1233	毘沙門	田									
甲1234-1	宮ノ井手	田ノ進入路	2.0	0.3							
甲1238-1	北類泉	畑	1.6								
甲1241	毘沙門	御堂ノ境内									
甲1245	毘沙門	畑									
甲1246-1	毘沙門	畑	15.9				2				
甲1246-2	毘沙門	畑									
甲1248	小山	畑									
甲1252	北類泉	田									
甲1253	北類泉	田									
甲1254	類泉	田ノ畑									
甲1258-6	類泉	畑									
甲1259	類泉	田	7.9								
甲1260-1	類泉	田(一部畑)	0.2	3.1							
甲1262-2	類泉	畑ノ建物	2.1								
甲1270-1	後河原	田									
甲1271	後河原	畑									
甲1273-1	後河原	畑									
甲1274-4	後河原	道路法面									
甲1278	後河原	荒畑ノ畑									
小計			53.4	8.2	0	0	4(0)	0	0	0	
合計			7091.6	684.6	434.9	12	344(14)	52	13	10	



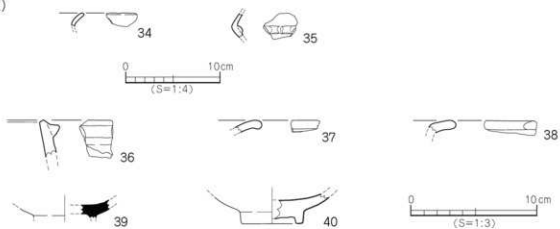
第137図 1区～3区採集遺物実測図



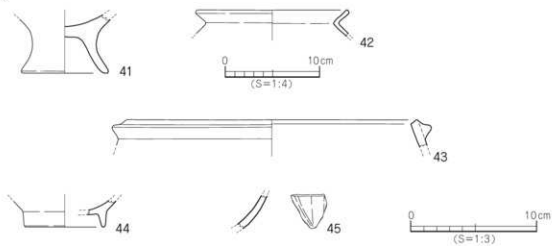
第 138 图 4区~6区採集遺物実測図

調査の成果

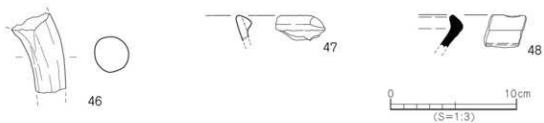
(7区)



(8区)



(9区)



(10区)



第139図 7区～10区採集遺物実測図

第4節 まとめ

分布が特徴的な土師質土器 A、須恵質土器及び貿易陶磁器についてまとめ、若干の考察を試みる。

調査地全体における土師質土器 A の分布状況を見ると、出土量は 1～3 区で全体の 3 分の 2 を占め、その内 1 箇所に集中域がみられる。字名でいうと、1 区から 2 区に跨る「仙壽院」から「大相院」までの一帯で、弥生時代前期末から古墳時代初頭の集落遺跡が確認された大相院遺跡 5～8 区に隣接し、採集量が最も多いのは、特に当該時期の遺構の多い 7 区の隣地である。前節で記した通り、土師質土器 A は大相院遺跡の弥生土器に胎土が類似したものとして分類したにすぎず、全てが同時期の土器というわけではない。しかしながら、この分布状況は大相院遺跡の調査成果に沿うものであり、当該遺跡の広がりを示唆するものと考えられる。したがって、この集落遺跡の範囲は、北は「柿田」南は「温曲（※北と同名）」までに及び、南北約 140 m 東西約 200 m の範囲に展開するものと推測される。また、その他の分布集中域として、7 区の「松ノ木」及び「畦地」並びに 8 区の「明神」及び「東角」の一帯がある。冒頭でも記したとおり、この一帯は、平成 9 年～13 年度に実施された圃場整備の範囲に含まれており、採集遺物が元の場所から大きく移動している可能性があることから、正確な分布とはいえない。しかしながら、二カ所ほか周辺の採集地の大部分が、周知の埋蔵文化財包蔵地「長正寺遺跡」及び「観音堂遺跡」に該当しており、結果として両包蔵地の妥当性を裏付けるものとなった。

次に、須恵質土器の分布状況を見ると、全体的に分散傾向にあるものの、出土量は 1・3 区で全体の 3 分の 2 を占め、その内 2 箇所に集中域がみられる。字名でいうと、1 区と 3 区に跨る「北馬場」、「政所」、及び「馬場」の一帯と 3 区の「大石田」、「鎮守元」及び「大庭北」の一帯で、両所は、緩やかな窪地を挟んで南北に位置する。採集遺物はいずれも小片ではあるが、概ね 8 世紀後半～10 世紀前半のものが出土している。周辺では、西隣の別府地区に所在する大相院遺跡 10 区において、遺構に伴い 8 世紀中葉頃の須恵器が出土しており、さらに 3 区から東側 400 m の地点で調査した別府遺跡 1 区でも、流路内ではあるが古代瓦や 8 世紀前半～後半の須恵器等が出土している。これらのことから、善応寺周辺の古代の遺構は、史跡「礎石（茶臼権現）」の辺りから 3 区の「大庭北」までの東西約 1 km の間に主に展開していると推測される。なお、東播系や亀山焼系の中世須恵器も散見される。

貿易陶磁器は 14 点を採集した。分布は全体的に分散傾向にあるが、主に東部の大相院遺跡の周辺にやや集中する。時期や産地が分かるものに限定すると、12 世紀前半から 14 世紀前半のうちに収まり、その殆どが龍泉窯系青磁である。なお、2 区の同安窯系青磁の皿、3 区の黄釉陶器の盤は北条平野では初見のもので、特に後者は市内でも南江戸蘭目遺跡ほかで数点が確認されているのみである。以上のことから、遅くとも中世前期には、「大相院」を中心とする善応寺の東部広域に貿易陶磁器を入手し得る階層が集住していたと考える。

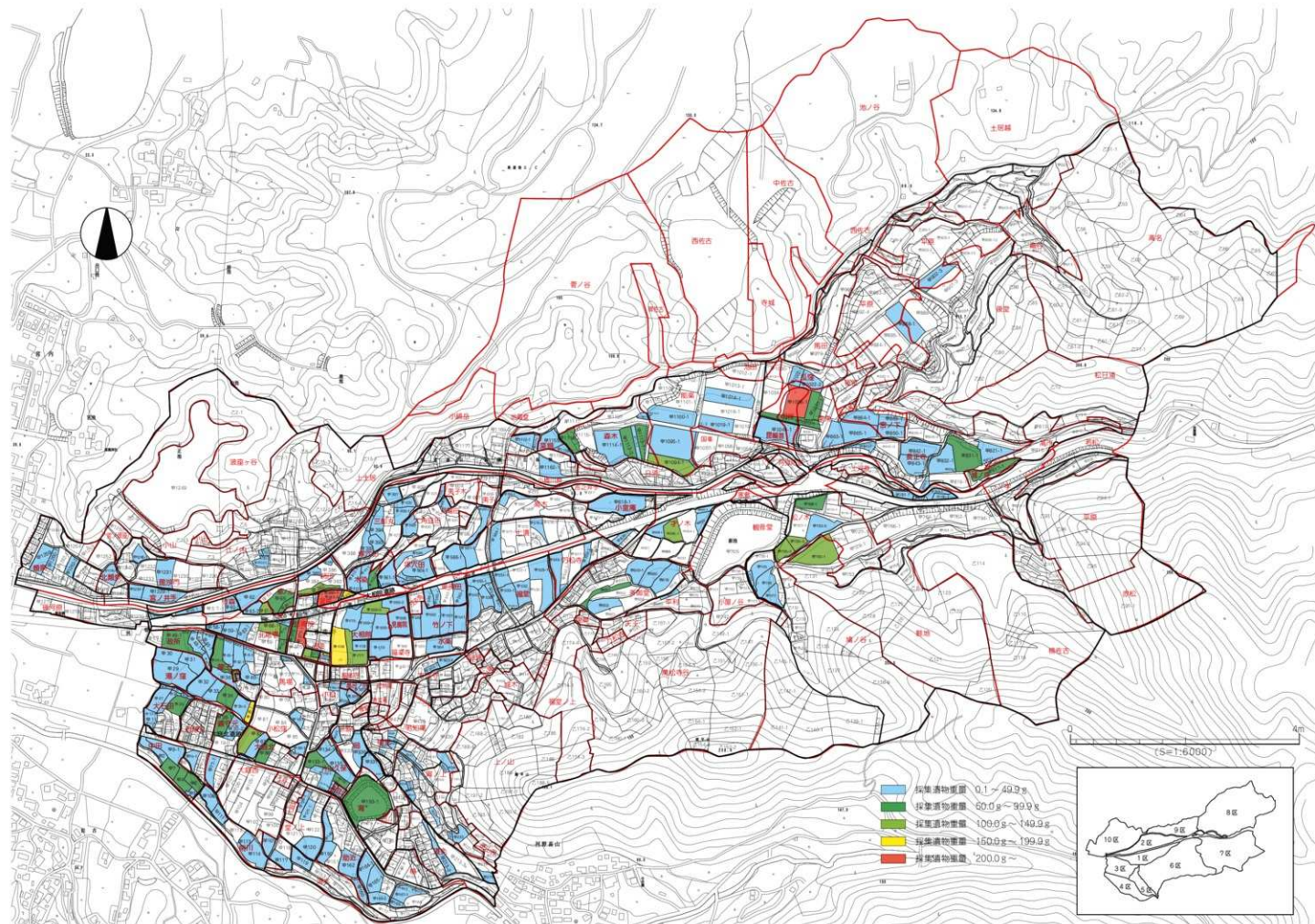
また、今回の調査では中世後期の善応寺院に関連するものは確認することができなかった。今後の発掘調査等に期待したい。

参考文献

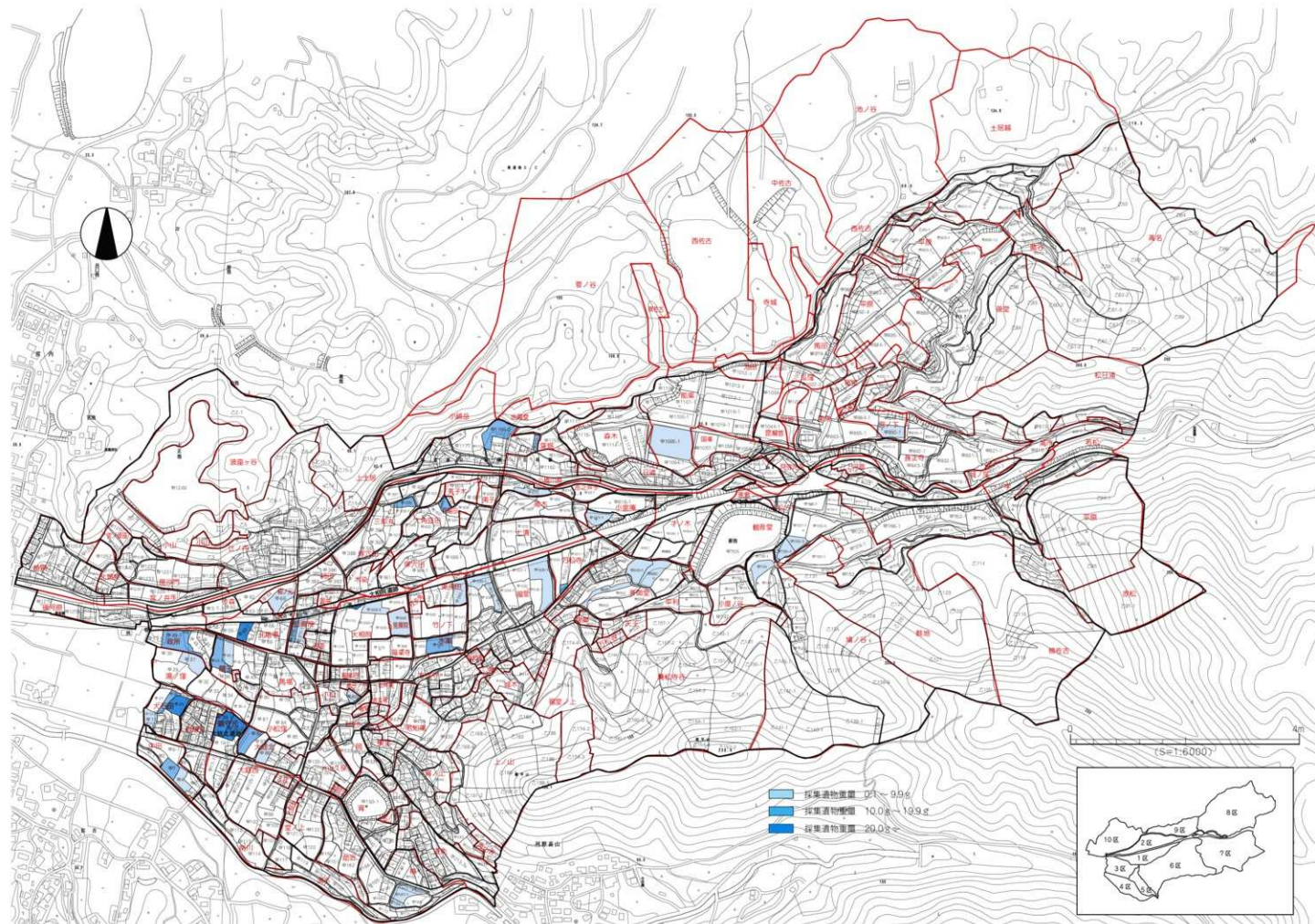
山本信夫 2000 「大宰府条坊跡 X V - 陶磁器分類編 -」 太宰府市教育委員会

三好裕之ほか 2004 「善応寺畦地遺跡 大相院遺跡 別府遺跡」財団法人愛媛県埋蔵文化財調査センター

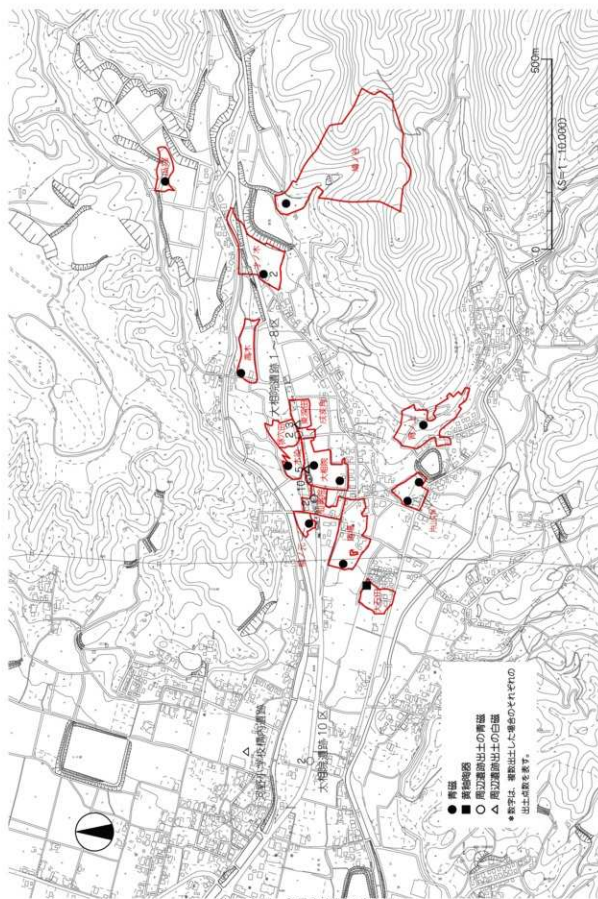
北山育美ほか 2004 「南斎院土居北遺跡 南江戸蘭目遺跡（2 次調査）」財団法人愛媛県埋蔵文化財調査センター



第 140 図 土師質土器 A の分布図



第 141 図 須恵質土器の分布図



第142図 貿易陶磁器の分布図

北条地区(善応寺)踏査

遺物一覧 - 凡例 -

(1) 以下の表は、北条地区踏査地採集遺物の計測値及び観察一覧である。

(2) 遺物観察表の各掲載について

法量欄 (): 推定復元値

調整欄 土製品の各部名称を略記した。

例) 口→口縁部、胴→胴部、底→底部、体→体部。

胎土・焼成欄 胎土欄では混和剤を略記した。

例) 石→石英、長→長石、金→金ウノンモ、密→精製土。

() の中の数値は混和剤粒子の大きさを示す。

例) 石・長(1~4) → 「1~4mm 大の石英・長石を含む」である。

焼成欄の略記について。◎→良好、○→良、△→不良。

表 34 1区採集遺物観察表(土製品)

番号	種類	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面/内面)	胎土 焼成	採集 地点
					外面	内面			
1	弥生土器	甕	底径 (5.0) 残高 2.4	平底の底部片。	マメツ	マメツ	にぶい赤褐色 にぶい赤褐色	石・長(1~3) ◎	甲 417
2	弥生土器	甕	底径 (5.4) 残高 4.1	平底の底部片。	ナデ	ナデ	暗灰色 にぶい黄褐色	石・長(1) ◎	甲 416
3	土師器	甕	残高 1.7	口縁部小片。はやや肥厚する。	マメツ	マメツ	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	石・長(1~2) ◎	甲 533-1
4	土師器	皿	底径 (5.6) 残高 1.7	底部は平底で底端部は丸みを持つ。	ナデ	ナデ	明黄褐色 明黄褐色	粗砂粒 ◎	甲 372-2
5	土師器	三足釜	残高 1.8	口縁部片。口縁端部に断面三角形の凸帯が貼付される。	ヨコナデ	ヨコナデ	にぶい褐色 にぶい褐色	石・長(1) ◎	甲 533-1
6	土師器	三足釜	残高 2.8	脚端部小片。	ナデ		にぶい黄褐色	石・長(1) 多 ◎	甲 372-2
7	瓦質土器	焙烙	口径 (19.6) 残高 2.3	口縁部片。口縁部は凸帯が貼付され段状となる。黒付着	ヨコナデ	ヨコナデ	灰黄色 黒色	密 ◎	甲 502-1

表 35 1区採集遺物観察表(石製品)

番号	器種	残存	材質	法量				備考
				長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	
8	刃器	完形	サヌカイト	2.8	1.6	0.3	1.9	測片を利用したもの。 採集地点甲535

表 36 2区採集遺物観察表(土製品)

番号	種類	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面/内面)	胎土 焼成	採集 地点
					外面	内面			
9	弥生土器	甕	残高 2.9	口縁部片。外反し口縁端部は面を持つ。	マメツ	マメツ	灰黄褐色 灰色	石・長(1~2) ◎	甲 412-1
10	土師器	坏	底径 (6.0) 残高 1.2	平底の底部小片。	ナデ	ナデ	にぶい褐色 にぶい褐色	石・長(1~2) 多 ◎	甲 382
11	須臾器	坏	残高 1.1	口縁部小片。端部は丸みを持つ。	回転ナデ	回転ナデ	灰白色 灰白色	密 ◎	甲 65
12	陶器	壺	残高 2.7	胴部小片。厚手。	カキ目	回転ナデ	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	石・長(1~2) ◎	甲 395-1
13	陶器	行平蓋	残高 0.9	口縁部片。「L」字状に折れ曲がる。内面のみ施釉。	回転ナデ	施釉	施釉に灰黄褐色 施釉 オリーブ黄色	密 ◎	甲 602-3
14	青磁	皿	底径 (6.0) 残高 1.2	見込みに御文と片切彫りの線文を持つ。外底の釉は掻き取られる。	◎ 施釉 ◎ 田楽ハケナズリ	施釉	施釉 灰白色 施釉 オリーブ灰色	密 ◎	甲 586-1

出土遺物観察表

表 37 3区採集遺物観察表 (土製品)

番号	種類	器種	法量 (cm)	形態・施文	調 整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	採集 地点
					外面	内面			
15	赤生土器	甕	底径 (60) 残高 39	平底の厚い底部片。	マメツ	ナデ	明赤褐色 明赤褐色	長 (1) ○	甲 35-1
16	土器部	皿	底径 (85) 残高 17	小片。	回転ナデ→ミガキ マメツ		橙色 橙色	長 (1) ○	甲 33
17	土器部	壺	残高 24	口縁部片。後を持ちやや内傾する。	ヨコナデ	ヨコナデ	明褐色 明褐色	石・長 (1) 多 ○	甲 82
18	土器部	高坏	残高 26	基部片。破面に制作過程での穿孔が 看取できる。	マメツ	マメツ	陶灰色 陶灰色	石・長 (1~2) ○	甲 82
19	黒色土器	塊	底径 (68) 残高 11	底部片。断面三角形の低い高台を持 つ。	ヨコナデ	ナデ	にぶい褐色 黒色	密 ○	甲 83
20	土器部	塊	残高 18	口縁部小片。薄手。	マメツ	マメツ	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	密 ○	甲 29
21	土器部	塊	口径 (10.0) 残高 1.6	口縁部片。端部がやや肥厚する。	ヨコナデ	ヨコナデ	黄褐色 黄褐色	密 ○	甲 35-1
22	土器部	皿	底径 (68) 残高 0.8	平底の底部片。	ヨコナデ	ヨコナデ	灰白色 灰白色	密 ○	甲 34
23	土器部	埴塔	残高 0.7	口縁部片。大きく外反する口縁部は 肥厚される。	ヨコナデ	ヨコナデ	灰褐色 にぶい褐色	白色・褐色粒 ○	甲 43-1
24	土器部	埴塔	残高 1.0	口縁部片。大きく外反する口縁部は 肥厚される。	ヨコナデ	ヨコナデ	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	石・長 (1) 多 ○	甲 88-1
25	土器部	三足釜	残高 6.1	脚部片。	マメツ		にぶい黄褐色	石・長 (1) 多 ○	甲 33
26	土器部	三足釜	残高 6.5	脚部片。	ナデ		にぶい黄褐色	石・長 (1) ○	甲 30
27	灰器部	坏	底径 (10.6) 残高 1.2	底部片。低い高台を持つ。高台端部 は外側で接地する。	◎ 回転ナデ ◎ 回転ヘラケズリ	回転ナデ	灰白色 灰白色	長 (微石粒) ○	甲 26
28	灰器部	坏蓋	残高 1.2	つまみ部片。	回転ナデ	ナデ	灰白色 灰白色	長 (1) ○	甲 11
29	灰器部	塊	口径 (12.8) 残高 3.0	口縁部片。口縁部がやや肥厚する。	ヨコナデ	ヨコナデ	灰色 灰白色	長 (1) ○	甲 11
30	灰器部	甕	残高 2.3	口縁部片。口縁部が肥厚し1条の 凹線を持つ。	マメツ	マメツ	灰白色 灰白色	白色粒 ○	甲 31
31	陶器	漆鉢	残高 3.8	口縁部片。口縁部に2条の凹線を持 つ。内面に指目が残る。	回転ナデ	回転ナデ	にぶい赤褐色 にぶい赤褐色	微砂粒 ○	甲 35-1
32	陶器	鉢	口径 (15.0) 残高 1.9	口縁部片。端部に断面三角形の凸帯 を持つ。全面施釉。	施釉	施釉	(胎土) 灰色 釉 オリーブ灰色	密 ○	甲 20-1
33	陶器	鉢?	底径 (10.4) 残高 0.9	底部小片。やや上げ底。外底とその周 辺のみ露胎。外面に甲殻な後を持つ。	◎ 施釉 ◎ 回転ヘラケズリ	施釉	胎土に赤褐色 (釉) 灰色	密 ○	甲 23
34	陶器	盤	残高 1.8	口縁部片。口縁部断面は方形。全面 施釉か。	施釉→剥離	施釉→剥離	(胎土) 黄灰色 (釉) 灰色	密 ○	甲 24
35	青磁	碗	残高 2.0	口縁部小片。全面施釉。	施釉	施釉	(胎土) 灰色 (釉) 灰色	密 ○	甲 44-1

北条地区（善応寺）踏査

表 38 3区採集遺物観察表（石製品）

番号	器種	残存	材質	法量				備考
				長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	
36	石匙	完形	サヌカイト	2.3	2.9	0.4	6.6	採集地点甲 20-1
37	スクレイパー	完形	サヌカイト	2.6	3.3	0.7	7.4	採集地点甲 48-1

表 39 4区採集遺物観察表（土製品）

番号	種類	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	採集 地点
					外面	内面			
1	土師器	三足釜	残高 3.9	脚部の接合部片。	ナデ		にぶい黄褐色	石・長 (1~4) ○	甲 167-1
2	灰土器	甕? 亀山	残高 3.8	胴部片。	格子タタキ	ナデ	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	微砂粒 ○	甲 167-1
3	灰土器	甕	底径 (5.4) 残高 1.4	底部片。円盤状の貼付高台を持つ。	マメツ	マメツ	オリーブ灰色	白色粒 ○	甲 169-1
4	陶器	鉢	口径 (11.0) 残高 2.0	口縁部片。端部がやや肥厚する。	施軸	施軸	(胎土) 灰色 軸 オリーブ灰色	密 ○	甲 114
5	磁器 (象付)	碗	口径 (14.0) 残高 1.3	口縁部小片。内面に一重歯線を持ち 外面には文様の一部が残る。	施軸	施軸	(胎土) 灰白色 (軸) 灰白色 (呉須) 青灰色	密 ○	甲 14-3
6	磁器 (象付)	碗	残高 4.0	口縁部片。楕円形。内外面に線描き による文様の一部が残る。	施軸	施軸	(胎土) 灰白色 (軸) 灰白色 (呉須) 明青色	密 ○	甲 162
7	磁器	皿	残高 1.1	底部片。見込に型打ちの菊文を有 する。	施軸	施軸	(胎土) 灰白色 (軸) 青白色	密 ○	甲 160

表 40 5区採集遺物観察表（土製品）

(1)

番号	種類	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	採集 地点
					外面	内面			
8	灰土器	甕	口径 (15.6) 残高 1.7	口縁部片。大きく外反する口縁部は 下方にやや拡張される。	マメツ	マメツ	にぶい黄褐色 にぶい橙褐色	石・長 (1~3) ○	甲 193-1
9	灰土器	甕	残高 3.5	頸部に斜格子文を持つ凸帯文が通 る。	マメツ	マメツ	にぶい褐色 にぶい褐色	石 (1) ○	甲 136
10	土師器	鍋	口径 (32.4) 残高 3.4	口縁部片。大きく外反する大型品と 思われる。	マメツ	マメツ	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	石・長 (1~2) ○	甲 133-1
11	陶器	播鉢	残高 3.9	口縁部片。注口部脇の部分。口縁部 に1条の凹線を持つ。	回転ナデ	回転ナデ	にぶい赤褐色 にぶい赤褐色	密 ○	甲 213-3
12	陶器	播鉢	口径 (28.6) 残高 3.4	口縁部片。播目の一部が残る。	回転ナデ	回転ナデ→脚目	灰赤色 にぶい赤褐色	石・長 (1~2) ○	甲 136
13	陶器	播鉢	残高 3.9	胴部片。8本1単位の播目が残る。	回転ナデ	回転ナデ→脚目	にぶい赤褐色 にぶい赤褐色	長 (1) ○	甲 133-1
14	陶器	播鉢	残高 2.4	胴部片。内面に播目が残る。	ナデ?	脚目	灰褐色 灰褐色	密 ○	甲 338-1
15	陶器	甕	残高 2.2	小型甕の胴部片。肩部に沈線文8条 以上を有する。	回転ナデ	回転ナデ	にぶい赤褐色 にぶい黄褐色	密 ○	甲 139
16	陶器	土瓶	底径 (8.6) 残高 1.2	底部片。上げ底の底部内面の一部に 軸が残る。	回転ナデ	回転ナデ	(胎土) 灰褐色 軸 オリーブ灰色	石・長 (1~2) ○	甲 135
17	磁器	仏飯 器?	口径 (5.2) 残高 2.2	外面中位に段を持つ。	施軸	施軸	(胎土) 灰白色 (軸) 灰白色	密 ○	甲 136

出土遺物観察表

5区採集遺物観察表 (土製品)

(2)

番号	種類	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	採集 地点
					外面	内面			
18	磁器	碗	口径 (10.8) 残高 2.5	口縁部小片。陶胎染付。口縁部外面に二重線、胴部に線描の文様の一部が残る。	施釉	施釉	(胎土) 灰色 (釉) 灰オリーブ色 (内面) 青灰色	密 ○	甲 213-3
19	磁器	碗	残高 1.7	口縁部小片。外面青磁釉。内面は染付。口縁部内面に四方摩文を有する。	施釉	施釉	(胎土) 灰白色 (釉) 灰オリーブ色 内面施釉 (内面) 青灰色	密 ○	甲 139
20	磁器 染付	皿	残高 2.5	口縁部片。口縁部内面に文様を有する。	施釉	施釉	(胎土) 灰白色 (釉) 灰白色 (内面) 青色	密 ○	甲 139
21	磁器 染付	小碗	底径 (2.8) 残高 1.4	底部片。高台外面に二重線を持つ。	施釉	施釉	(胎土) 灰白色 (釉) 明緑灰色 (内面) 青灰色	密 ○	甲 138-1
22	磁器 青磁	碗	残高 1.6	底部片。全体に厚く施釉され高台内の釉は蛇の目状に掻き取られる。	施釉	施釉	(胎土) 灰白色 (釉) オリーブ灰色	密 ○	甲 133-1

表 41 6区採集遺物観察表 (土製品)

番号	種類	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	採集 地点
					外面	内面			
23	土師器	甕か 火鉢	口径 (21.0) 残高 2.4	口縁部小片。	ヨコナデ	ヨコナデ	橙色 棕色	G・長 1~3 金 ○	甲 304
24	土師器	焙烙	残高 0.8	口縁部片。端部が肥厚しほぼ水平に伸びる。	ヨコナデ	ヨコナデ	暗灰黄色 灰黄色	石・長 (1) 金 ○	甲 216
25	陶器	罌鉢	残高 2.5	内面に耀目が残る。	マメツ	罌目	明赤褐色 明赤褐色	微砂粒 ○	甲 685-1
26	陶器	灯明 受皿	残高 2.0	脚付き。受け部は断面三角形。	施釉	施釉	(胎土) 灰白色 (釉) 浅黄色	密 ○	甲 521
27	陶器	灯明 受皿	底径 (4.0) 残高 1.6	受け部の上端が口縁より低い。	⑤ ナデ ⑥ 回転ナデ	施釉	(胎土) 灰白色 (釉) オリーブ灰色	密 ○	甲 521
28	陶器	灯明皿	口径 (10.6) 残高 1.8	口縁部小片。内面と口縁部外面に施釉される。	回転ナデ	施釉	(胎土) 灰白色 (釉) 浅黄色	密 ○	甲 321
29	陶器	粟か 密	残高 5.3	脣部片。外面脣部付近に凹線を施す。自然釉	回転ナデ	回転ナデ	灰褐色 灰色	密 ○	甲 678
30	陶器	土瓶か 行平	底径 (10.6) 残高 1.5	底部片。割り出しの平底。	回転ナデ	回転ナデ	明赤褐色 棕色	微砂粒 ○	甲 521
31	磁器	皿	口径 (9.2) 残高 2.0	丸みを帯びた体部。	施釉	施釉	(胎土) 灰白色 (釉) 灰白色	密 ○	甲 258
32	陶器	碗	底径 (5.2) 残高 1.8	底部片。費付及び高台内側露胎。	⑤ 施釉 ⑥ 回転ヘラケツク	施釉	(胎土) 灰色 (釉) 明緑灰色	密 △	甲 688-1
33	青磁	碗	底径 (4.8) 残高 1.7	底部片。高台費付のみ露胎。	施釉	施釉	(胎土) 灰白色 (釉) 明オリーブ灰色	密 ○	甲 688-1

表 42 7区採集遺物観察表 (土製品)

(1)

番号	種類	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面 内面)	胎土 焼成	採集 地点
					外面	内面			
34	弥生 土器	甕	残高 1.4	「く」字状に外反する口縁部片。	ヨコナデ	摩滅	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	石・長 (1~2) ○	甲 730-1
35	弥生 土器	甕	残高 2.7	頸部片。頸部に刺目凸帯文が貼付される。	ナデ ヨコナデ	ナデ	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	石・長 (1) ○	甲 730-1
36	土師器	三足釜	残高 3.0	口縁部片。口縁部は内湾し「コ」字状。口縁下に断面三角形の凸帯が貼付される。	ナデ	ナデ	にぶい褐色 にぶい褐色	石・長 (1) ○	甲 708-1

北条地区（善応寺）踏査

7区採集遺物観察表（土製品）

(2)

番号	種類	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	採集 地点
					外面	内面			
37	土師器	焙烙	残高 0.9	口縁部小片。外反し口縁部は肥厚する。	ナデ	ナデ	暗灰黄色 にぶい黄褐色	微砂粒 ○	甲 735-3
38	土師器	焙烙	残高 1.1	口縁部小片。ほぼ水平に伸びる。	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	石・長(1)金 ○	甲 746
39	灰磁器	壺	残高 1.4	底部片。高台部分を欠く。	回転ナデ	回転ナデ	灰白色 灰白色	微砂粒 ○	甲 735-3
40	鹿島窯 青磁	碗	底径 (4.8) 残高 2.4	底部片。厚い底部。高台内側のみ露胎。	回転ヘラケズリ	施釉	(胎土) 灰白色 釉 オリーブ灰色	密 ○	甲 745

表 43 8区採集遺物観察表（土製品）

番号	種類	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	採集 地点
					外面	内面			
41	赤生 土器	甕	底径 9.2 残高 6.2	上げ底の底部片。	マメツ (一部ミガキカ)	マメツ	橙色 にぶい橙色	石・長(1~5)金 ○	甲 1036-1
42	赤生 土器	甕	口径 (16.2) 残高 2.8	口縁部片。「く」字状に外反する口縁部は「コ」字状。	マメツ	マメツ	橙色 橙色	石・長(1~3)金 ○	甲 1020-1
43	土師器	三足釜	口径 (23.0) 残高 2.2	口縁部片。内湾する口縁端部は「コ」字状で口縁下に断面三角形の凸帯が貼付される。	ナデ ヨコナデ	ナデ	にぶい褐色 にぶい褐色	石・長(1~2) ○	甲 845-2
44	磁器 (染付)	碗	底径 (6.2) 残高 2.1	底部片。見込にわずかに文様の一部が残る。高台裏付のみ露胎。広東形。	施釉	施釉	(胎土) 灰白色 (釉) 灰白色 (乳濁) 青灰色	密 ○	甲 902-3
45	鹿島窯 青磁	碗	残高 2.7	体部片。外面に簡造弁文が施される。	施釉	施釉	(胎土) 灰白色 釉 オリーブ灰色	密 ○	甲 1022-1

表 44 9区採集遺物観察表（土製品）

番号	種類	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	採集 地点
					外面	内面			
46	土師器	三足釜	残高 6.4	脚部片。	ナデ		にぶい黄褐色	石・長(1~3) ○	甲 1116
47	土師器	三足釜	残高 2.0	口縁部片。内湾し端部は丸い。口縁下に断面三角形の凸帯が貼付される。	マメツ	マメツ	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	石・長(1~2) ○	甲 1014-1
48	灰磁器	片貝鉢	残高 2.6	口縁端部は「く」の字に内傾する。自然釉。	回転ナデ	回転ナデ	(胎土) 灰白色 釉 灰オリーブ色	白色粒 ○	甲 1169-2

表 45 10区採集遺物観察表（土製品）

番号	種類	器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	採集 地点
					外面	内面			
49	陶器	耀鉢	残高 1.8	胴部片。内面に耀目が残る。	マメツ	耀目	赤色 赤色	石・長(1~2) ○	甲 1246-1
50	磁器	碗?	残高 1.8	口縁部小片。全面施釉。	施釉	施釉	(胎土) 灰白色 (釉) 灰白色	密 ○	甲 1222-1
51	土製品	泥面子	長さ 2.0 幅 1.8 厚さ 0.8	円盤状の扁平玩具。表面に放射状の文様を施す。重さ2.4g	ナデ		灰黄褐色	微砂粒 ○	甲 1260-1

写真図版

写真図版データ

1. 踏査地の写真は、デジタルカメラで撮影した。
2. 巻頭カラーの墨書土器集合写真は、4×5判で撮影した。単色図版の遺物は、デジタルカメラで撮影した。

使用機材：

カメラ	トヨビュー45G
レンズ	ジンマー S 240mm F 5.6 他
ストロボ	コメット/CA32・CB2400
スタンド等	トヨ無影撮影台・ウエイトスタンド 101
フィルム	フジクロームプロビア 100F
デジタルカメラ	ニコン D90 AF マイクロニッコール 105mm F2.8D

3. 製 版：写真図版 175線
印 刷：オフセット印刷
用 紙：ニュー V マット 76.5kg

【参考】『埋文写真研究』 vol.1～20 『報告書制作ガイド』 『文化財写真研究』 vol.1～4

[大西 朋子]



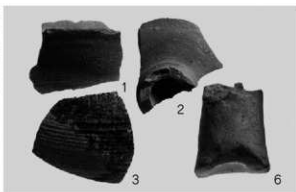
1. 向井公園土層検出状況



2. 向井公園出土遺物



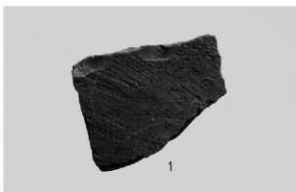
3. 北土居公園土層検出状況



4. 北土居公園出土遺物



5. 上野中相公園土層検出状況



6. 上野中相公園出土遺物



7. 余戸東竹の宮公園土層検出状況



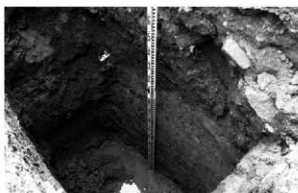
8. 余戸東竹の宮公園出土遺物



1. 富久公園土層検出状況



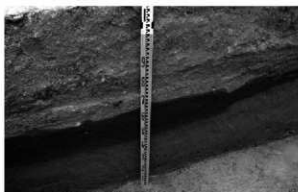
2. 富久公園出土遺物



3. 太山寺カシの木公園土層検出状況



4. 太山寺カシの木公園出土遺物



5. 堀江東公園土層検出状況



6. 堀江東公園出土遺物



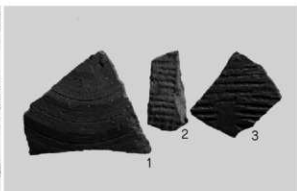
7. 堀江中央公園土層検出状況



8. 堀江中央公園出土遺物



1. 権現公園遺構検出状況



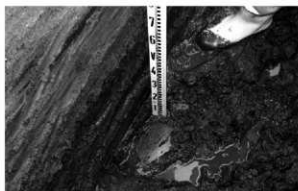
2. 権現公園出土遺物



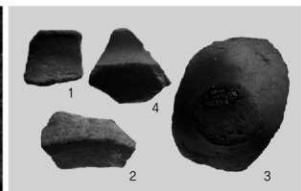
3. 谷町公園土層検出状況



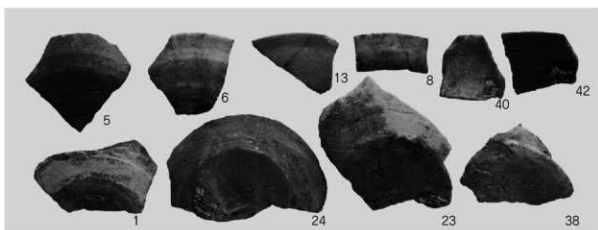
4. 谷町公園出土遺物



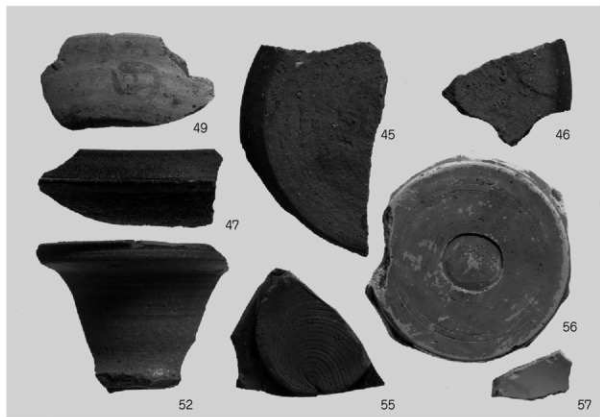
5. 吉藤公園遺物出土状況



6. 吉藤公園出土遺物 (1)



7. 吉藤公園出土遺物 (2)



1. 吉藤公園出土遺物 (3)



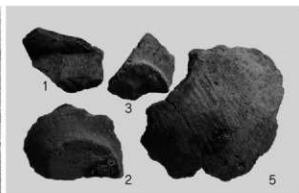
2. 萱町公園土層検出状況



3. 萱町公園出土遺物



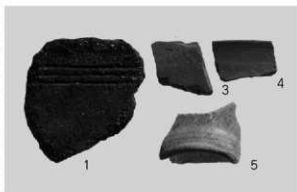
4. 木屋町公園遺構検出状況



5. 木屋町公園出土遺物



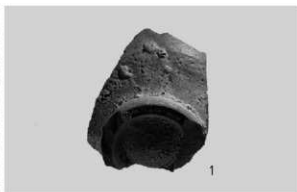
1. 日分公園遺構検出状況



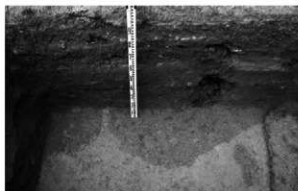
2. 日分公園出土遺物



3. 愛光公園土層検出状況



4. 愛光公園出土遺物



5. 新玉公園遺構検出状況



6. 新玉公園出土遺物



7. 幸町公園遺構検出状況



8. 幸町公園出土遺物



1. 松尾公園遺構検出状況



2. 安城寺西公園遺構検出状況



3. 姫原西公園遺構検出状況



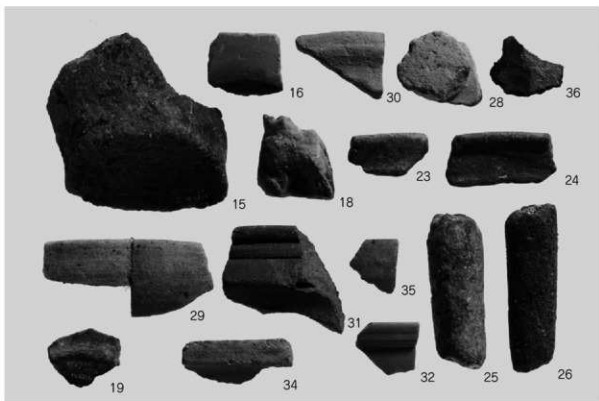
4. 三町三角公園遺構検出状況



5. 善応寺地区（西より）



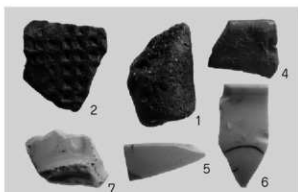
1. 1区·2区采集遗物



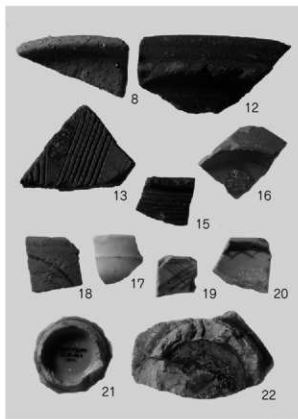
2. 3区采集遗物



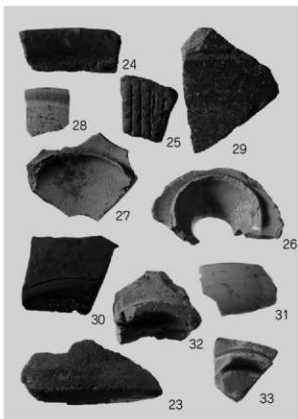
3. 2区采集遗物



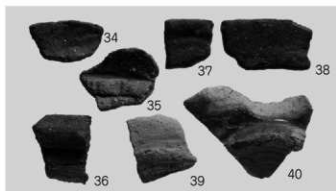
4. 4区采集遗物



1. 5区采集遗物



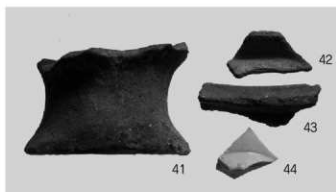
2. 6区采集遗物



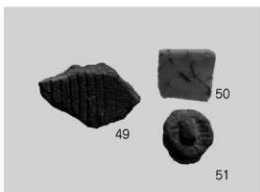
3. 7区采集遗物



4. 9区采集遗物



5. 8区采集遗物



6. 10区采集遗物

報 告 書 抄 録

ふりがな	まつやましなにいせきしょうさいふんぶちようさ
書名	松山市内遺跡詳細分布調査
副書名	市有公園試掘調査・北条地区（善応寺）踏査
巻次	
シリーズ名	松山市文化財調査報告書
シリーズ番号	第173集
編著者名	高尾和長・西村直人・大西朋子
編集機関	公益財団法人 松山市文化・スポーツ振興財団 埋蔵文化財センター
所在地	〒791-8032 愛媛県松山市南斎院町乙67番地6 TEL089-923-6363
発行年月日	西暦2014（平成26）年3月14日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 °	東経 °	調査期間	調査面積 (㎡)	調査 原因
		市町村	遺跡番号					
市有公園 試掘調査	まつやまし 松山市	38201				20071026 ～ 20110223	約507㎡	詳細 分布調査
北条地区 (善応寺) 踏査	まつやまし 松山市	38201		33°56'38" ～ 33°57'21"	132°47'13" ～ 132°48'39"	20091218 ～ 20120318	約0.6km ²	詳細 分布調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
市有公園 試掘調査		弥生 古墳 古代 中世			弥生土器 土師器、須恵器 墨書土器、緑釉陶器		須恵器に「田」の墨書	
北条地区 (善応寺) 踏査		弥生 中世 近世			弥生土器 土師器、須恵器、貿易陶磁器 国産陶磁器、石器		福建省系陶器	
要 約	<p>市有公園の試掘調査と北条地区の踏査を実施した。</p> <p>市有公園の試掘は97件行い、遺構は9件で検出し遺物は43件で出土した。特に、吉藤公園の第10層から墨書土器3点が出土し、その内の2点は「田」の字が明確に読みとれ大変貴重なものである。その他にも土師器、須恵器、緑釉陶器等が大量に出土している。吉藤公園周辺には寺院や役所など文字に関わる重要な施設が存在していたと想定され、周辺には関連する遺跡が広がると思われる。その他の公園からも遺構・遺物が検出され包蔵地以外に遺跡が広がる資料が得られた。</p> <p>北条地区踏査では、善応寺一帯において弥生時代から近世までの遺物を多数採集した。特に平成11年から14年にかけて発掘調査が実施された大相院遺跡4～7区の周辺において量、種類ともに豊富であり、当時の調査結果を裏付けるものとなった。周辺には広く遺跡が展開すると推測される。また、数点確認された中世前期の貿易陶磁器は、湯築城に移る前に同地を拠点とした河野氏の交流範囲を示すものである。</p>							

松山市文化財調査報告書 第173集

松山市内遺跡詳細分布調査

市有公園試掘調査・北条地区（善応寺）踏査

平成26年3月14日 発行

編集 公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団
埋蔵文化財センター

〒791 - 8032 松山市南斎院町乙67番地6

TEL (089) 923 - 6363

発行 松山市教育委員会

〒790 - 0003 松山市三番町六丁目6番地1

TEL (089) 948 - 6605

印刷 岡田印刷株式会社

〒790 - 0012 松山市湊町七丁目1番地8

TEL (089) 941 - 9111
